

# 人権問題に関する市民意識調査

## 結果報告書



平成28年10月  
五泉市企画政策課



## はじめに

五泉市では、人権尊重の意識を高めるため、人権啓発をはじめ様々な施策に取り組んでいます。

このたび、人権が尊重された差別や偏見のない社会の実現に向けて、「(仮称)五泉市人権教育・啓発推進計画」の策定をすることとなり、市民の皆さまの人権に関する意識などを把握し、計画策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施いたしました。

この調査にお寄せいただきました皆さまの貴重なご意見は、十分に検討させていただき、市民一人ひとりの人権が尊重され、偏見や差別のない明るい社会の実現に向けた取り組みを推進するため、有効に活用させていただきます。

この調査の実施、報告書の作成にあたり、貴重なご助言をいただきました五泉市人権問題市民意識調査検討委員会の皆さま並びに調査にご協力いただきました市民の皆さまに厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも当市の人権啓発推進施策に関し、一層のご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

平成28年10月

五泉市長 伊藤 勝美

## 目次

I 調査概要	1
II 調査結果の概要	4
1. 人権全般について	4
(1) 基本的人権について	4
(2) 人権や差別問題に対する関心について	7
(3) 関心のある人権や差別問題について	10
(4) 人権に関する被害経験について	14
(5) 人権が侵害されたときの対応について	18
2. 女性の人権について	22
(1) 女性の人権に対する問題意識について	22
(2) 女性の人権を守るために必要なこと	26
3. 子どもの人権について	30
(1) 子どもの人権に対する問題意識について	30
(2) 子どもの人権を守るために必要なこと	34
4. 高齢者の人権について	38
(1) 高齢者の人権に対する問題意識について	38
(2) 高齢者の人権を守るために必要なこと	42
5. 障がいのある人の人権について	46
(1) 障がいのある人の人権に対する問題意識について	46
(2) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと	50
6. 外国籍住民等の人権について	54
(1) 外国籍住民等の人権に対する問題意識について	54
(2) 外国籍住民等の人権を守るために必要なこと	58
7. 感染症患者の人権について	62
(1) 感染症患者の人権に対する問題意識について	62
(2) 感染症患者の人権を守るために必要なこと	66

8. インターネット上の人権について.....	70
(1) インターネット上の人権に対する問題意識について .....	70
(2) インターネット上の人権を守るために必要なこと .....	74
9. 新潟水俣病患者の人権について .....	78
(1) 新潟水俣病患者の人権に対する問題意識について.....	78
(2) 新潟水俣病患者の人権を守るために必要なこと .....	82
10. その他の人権について .....	86
(1) 犯罪被害者やその家族を守るために必要なこと .....	86
(2) 刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るために必要なこと .....	89
11. 同和問題について .....	92
(1) 同和地区（被差別部落）についての認知度 .....	92
(2) 被差別部落や同和問題を知った時期について.....	95
(3) 被差別部落や同和問題を知ったきっかけ.....	98
(4) 同和問題に対する意識について.....	101
(5) 被差別部落や同和問題に対する考え方 .....	105
(6) 身元調査に対する考え方 .....	108
12. 人権問題を解決する方策について .....	111
(1) 市が積極的に取り組む必要がある人権課題について .....	111
(2) 人権問題への理解、人権意識を高めるために必要な取り組みについて.....	116
13. 意見・要望.....	120
附属資料) 調査票様式 .....	129



# I 調査概要

## 1 調査の目的

人権問題に関する市民意識の実態を把握するとともに、「(仮称)五泉市人権教育・啓発推進計画」の策定における基礎資料とするため。

## 2 調査の設計

- (1) 調査地域 五泉市全域
- (2) 調査対象 満 18 歳以上の男女個人 (住民基本台帳より無作為抽出)
- (3) 標 本 数 1,000 (人)
- (4) 調査方法 配付・回収とも郵送による自記式のアンケート
- (5) 調査期間 平成 28 年 2 月 19 日 (金) ~ 3 月 4 日 (金)
- (6) 調査項目
  - ① 回答者の属性
  - ② 人権全般について
  - ③ 女性の人権について
  - ④ 子どもの人権について
  - ⑤ 高齢者の人権について
  - ⑥ 障がいのある人の人権について
  - ⑦ 外国籍住民等の人権について
  - ⑧ 感染症患者の人権について
  - ⑨ インターネット上の人権について
  - ⑩ 新潟水俣病患者の人権について
  - ⑪ 犯罪被害者やその家族の人権について
  - ⑫ 刑を終えて出所した人やその家族の人権について
  - ⑬ 同和問題について
  - ⑭ 人権問題を解決する方策について
  - ⑮ 意見・要望

## 3 回収状況

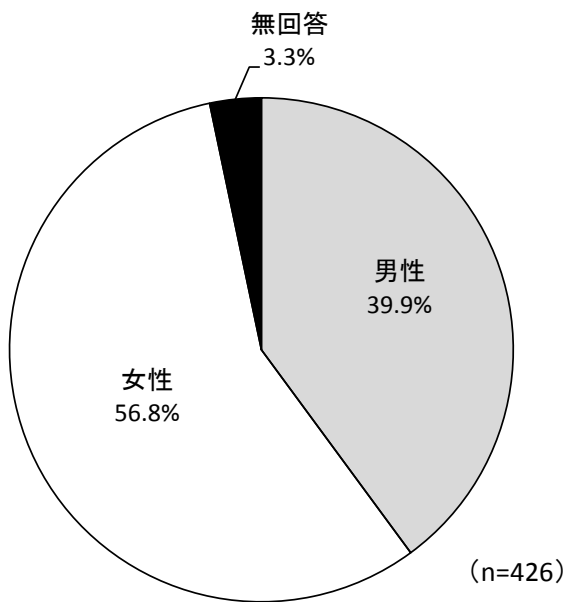
回 収 数	426
有効回収率	42.6%

## 4 集計・分析にあたって

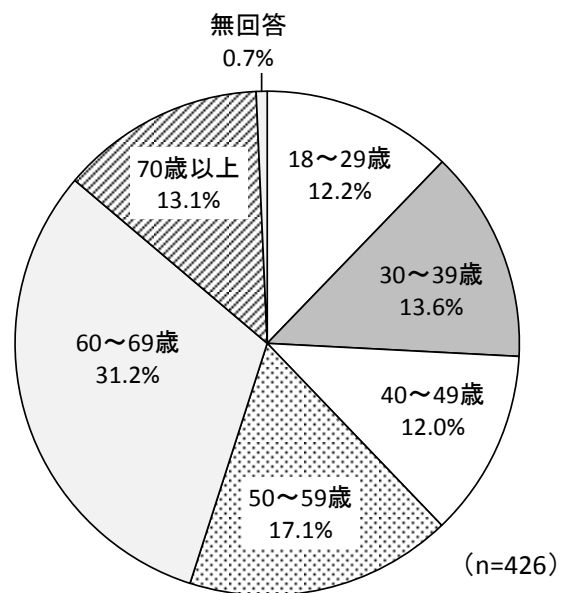
- (1) 比率は、原則として各質問の無回答を含む回収数に対する百分比 (%) で表している。
- (2) 百分比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位まで表している。  
そのため、百分比の合計が、100.0 にならない場合がある。
- (3) 複数回答では、比率の合計が 100% を超える。
- (4) 図表中の「n」とは回答者総数のことで、100% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

## 5 回答者の構成

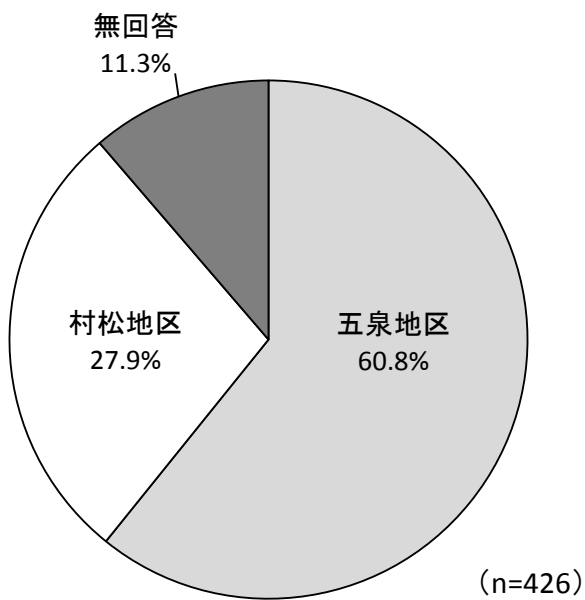
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住地区





## 回答者の構成

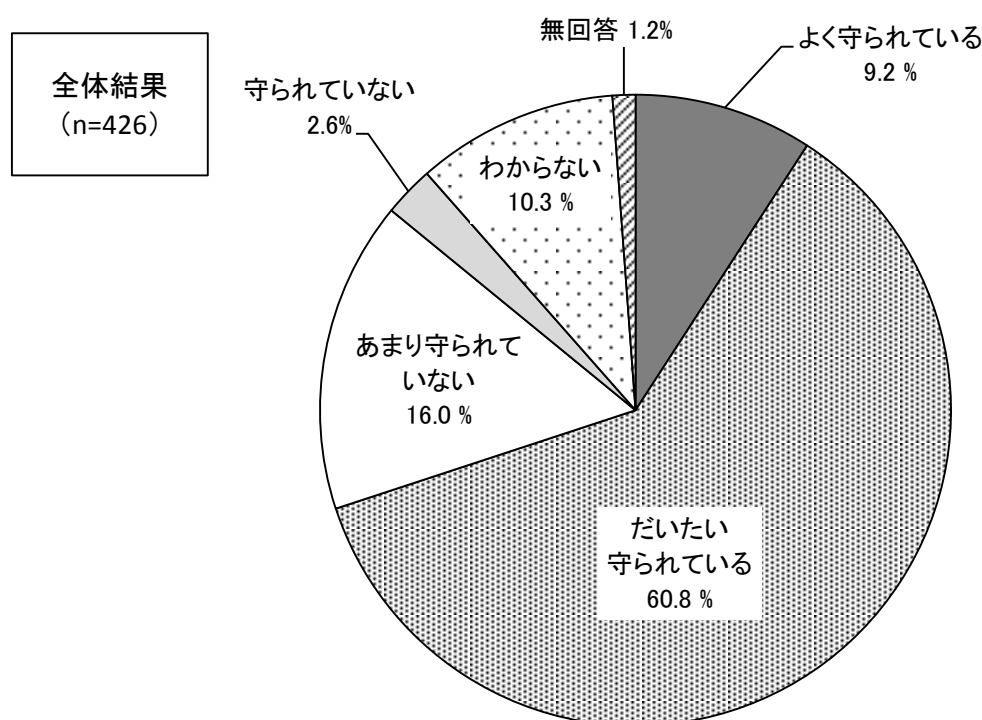
	合計	性別			年齢								居住地域		
		男性	女性	無回答	18   29 歳	30   39 歳	40   49 歳	50   59 歳	60   69 歳	70 歳以上	無回答	五泉地区	村松地区	無回答	
全体	426	39.9	56.8	3.3	12.2	13.6	12.0	17.1	31.2	13.1	0.7	60.8	27.9	11.3	
性別	男性	170	100.0	0.0	0.0	13.5	8.8	11.2	16.5	34.1	15.9	0.0	63.5	28.2	8.2
	女性	242	0.0	100.0	0.0	12.0	17.8	12.8	18.2	28.5	10.3	0.4	60.7	27.3	12.0
	無回答	14	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	7.1	7.1	42.9	28.6	14.3	28.6	35.7	35.7
年齢別	18～29歳	52	44.2	55.8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.6	23.1	17.3
	30～39歳	58	25.9	74.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.5	20.7	13.8
	40～49歳	51	37.3	60.8	2.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.8	29.4	11.8
	50～59歳	73	38.4	60.3	1.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	54.8	28.8	16.4
	60～69歳	133	43.6	51.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	62.4	32.3	5.3
	70歳以上	56	48.2	44.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	66.1	28.6	5.4
	無回答	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
地域別	五泉地区	259	41.7	56.8	1.5	12.0	14.7	11.6	15.4	32.0	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0
	村松地区	119	40.3	55.5	4.2	10.1	10.1	12.6	17.6	36.1	13.4	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	48	29.2	60.4	10.4	18.8	16.7	12.5	25.0	14.6	6.3	6.3	0.0	0.0	100.0
性別・年齢別	男 18～29歳	23	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.2	26.1	8.7
	30～39歳	15	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	26.7	6.7
	40～49歳	19	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.6	31.6	15.8
	50～59歳	28	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	60.7	25.0	14.3
	60～69歳	58	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	67.2	27.6	5.2
	70歳以上	27	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	63.0	33.3	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女 18～29歳	29	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.2	20.7	24.1
	30～39歳	43	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.1	18.6	16.3
	40～49歳	31	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.3	29.0	9.7
	50～59歳	44	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	52.3	31.8	15.9
	60～69歳	69	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	63.8	31.9	4.3
	70歳以上	25	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	68.0	28.0	4.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1. 人権全般について

#### (1) 基本的人権について

問4. 日本国憲法では、人間が生まれながらにして持っている侵すことのできない永久の権利として基本的人権が保障されています。あなたは、現在の日本で、基本的人権が守られていると思いますか。(1つだけに○)



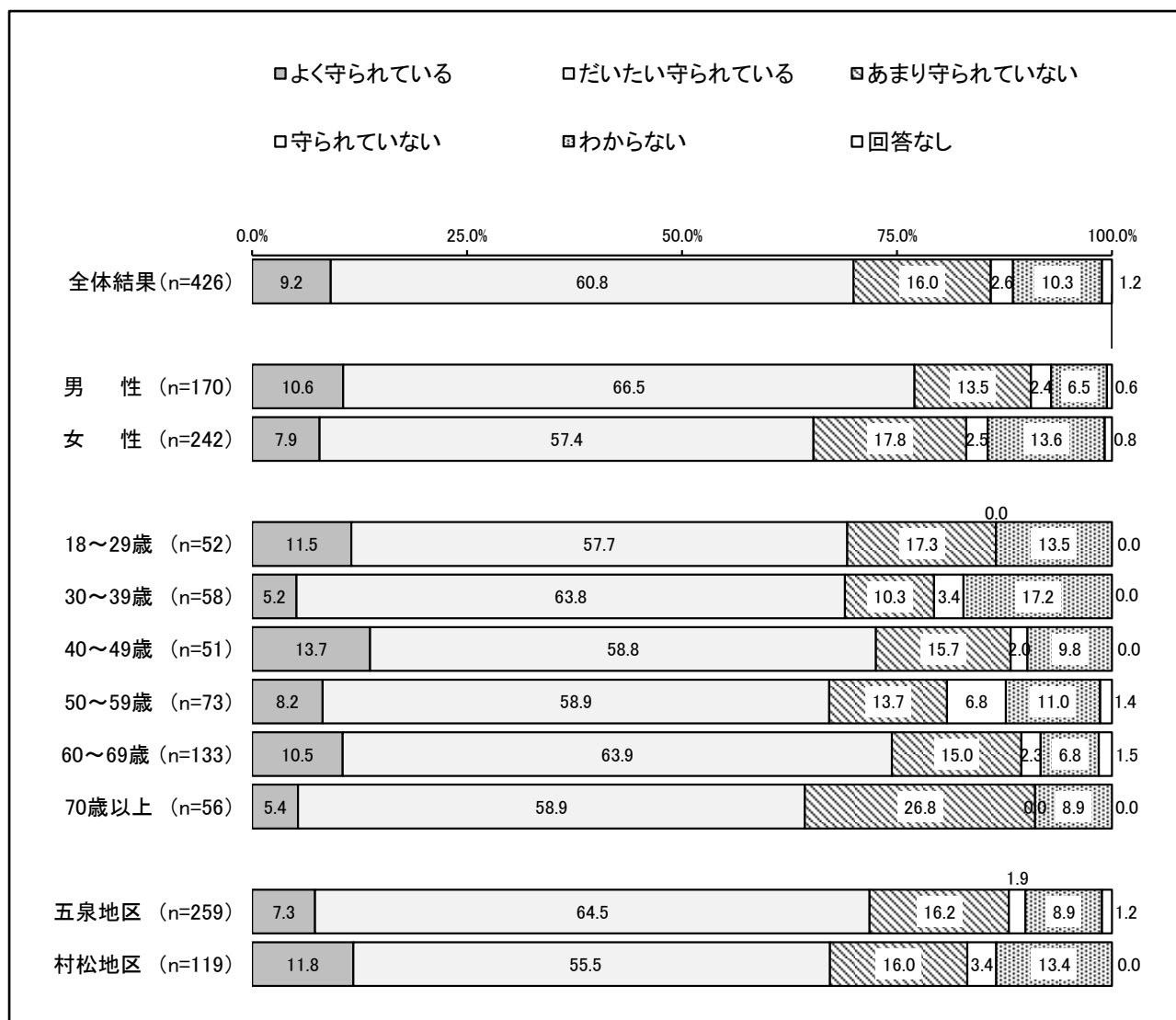
#### 【全体結果】

「よく守られている」が9.2%、「だいたい守られている」が60.8%となり、「よく守られている」と「だいたい守られている」の合計（以下、「守られている（計）」と表記）は70.0%で、7割を占める。

一方で、「あまり守られていない」が16.0%、「守られていない」が2.6%となり、「あまり守られていない」と「守られていない」の合計（以下、「守られていない（計）」と表記）は18.6%で、2割弱を占める。

また、「わからない」が10.3%となり、1割を占める。

## 基本的人権について



### 【性別】

「守られている（計）」は男性が 77.1%、女性が 65.3%となり、男性の方が 11 ポイントほど高くなっている。

一方で、「守られていない（計）」は男性が 15.9%、女性が 20.3%となり、女性の方が 4 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「守られている（計）」は 60 代（74.4%）と 40 代（72.5%）で 7 割を超え、その他の年代でも 6 割を超えている。

一方、「守られていない（計）」は 70 歳以上で最も高く 26.8%となり、50 代（20.5%）で 2 割となっている。

### 【地域別】

「守られている（計）」は五泉地区で 71.8%、村松地区で 67.3%となり、五泉地区の方が 4 ポイントほど高くなっている。なお、「守られていない」は地域による差は見られない。

## 基本的人権について

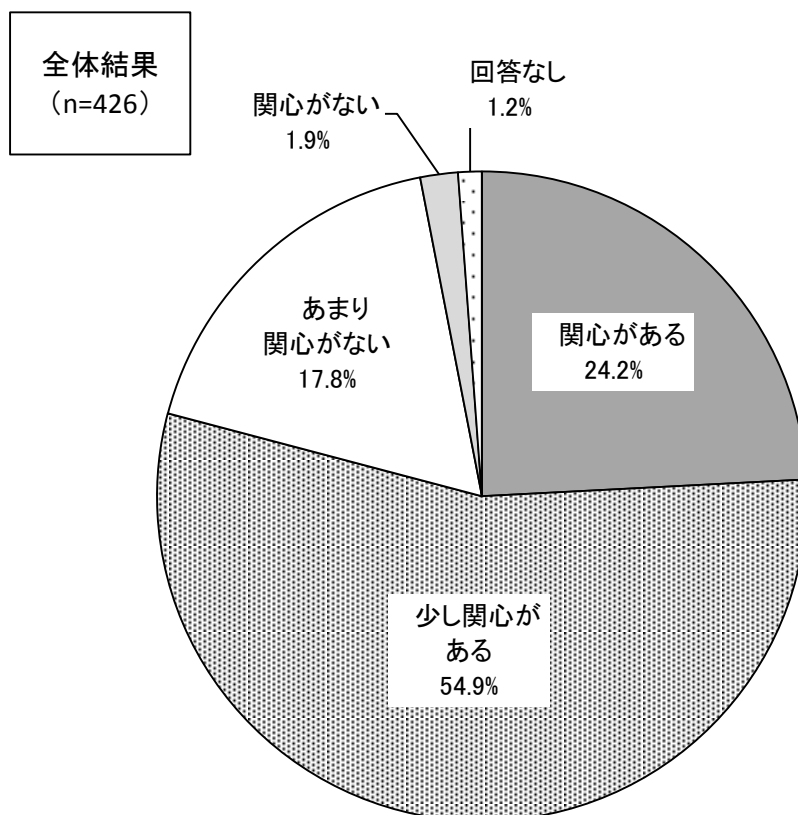
		合計	よく守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない	回答なし	「守られている(計)」	「守られていない(計)」
全体		426	9.2	60.8	16.0	2.6	10.3	1.2	70.0	18.6
性別	男性	170	10.6	66.5	13.5	2.4	6.5	0.6	77.1	15.9
	女性	242	7.9	57.4	17.8	2.5	13.6	0.8	65.3	20.3
	無回答	14	14.3	50.0	14.3	7.1	0.0	14.3	64.3	21.4
年齢別	18～29歳	52	11.5	57.7	17.3	0.0	13.5	0.0	69.2	17.3
	30～39歳	58	5.2	63.8	10.3	3.4	17.2	0.0	69.0	13.7
	40～49歳	51	13.7	58.8	15.7	2.0	9.8	0.0	72.5	17.7
	50～59歳	73	8.2	58.9	13.7	6.8	11.0	1.4	67.1	20.5
	60～69歳	133	10.5	63.9	15.0	2.3	6.8	1.5	74.4	17.3
	70歳以上	56	5.4	58.9	26.8	0.0	8.9	0.0	64.3	26.8
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	7.3	64.5	16.2	1.9	8.9	1.2	71.8	18.1
	村松地区	119	11.8	55.5	16.0	3.4	13.4	0.0	67.3	19.4
	無回答	48	12.5	54.2	14.6	4.2	10.4	4.2	66.7	18.8
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	60.9	13.0	0.0	8.7	0.0	78.3	13.0
	30～39歳	15	0.0	66.7	13.3	6.7	13.3	0.0	66.7	20.0
	40～49歳	19	15.8	57.9	15.8	5.3	5.3	0.0	73.7	21.1
	50～59歳	28	7.1	64.3	7.1	7.1	14.3	0.0	71.4	14.2
	60～69歳	58	12.1	75.9	10.3	0.0	0.0	1.7	88.0	10.3
	70歳以上	27	7.4	59.3	25.9	0.0	7.4	0.0	66.7	25.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	6.9	55.2	20.7	0.0	17.2	0.0	62.1	20.7
	30～39歳	43	7.0	62.8	9.3	2.3	18.6	0.0	69.8	11.6
	40～49歳	31	12.9	58.1	16.1	0.0	12.9	0.0	71.0	16.1
	50～59歳	44	9.1	54.5	18.2	6.8	9.1	2.3	63.6	25.0
	60～69歳	69	7.2	56.5	18.8	2.9	13.0	1.4	63.7	21.7
	70歳以上	25	4.0	56.0	28.0	0.0	12.0	0.0	60.0	28.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
新潟県(平成25年度調査)		378	10.1	64.8	16.1	3.2	4.5	1.3	74.9	19.3

※「守られている(計)」は、「よく守られている」と「だいたい守られている」を合計した割合。

「守られていない(計)」は、「あまり守られていない」と「守られていない」を合計した割合。

## (2) 人権や差別問題に対する関心について

問5. あなたは、人権や差別の問題に関心を持っていますか。

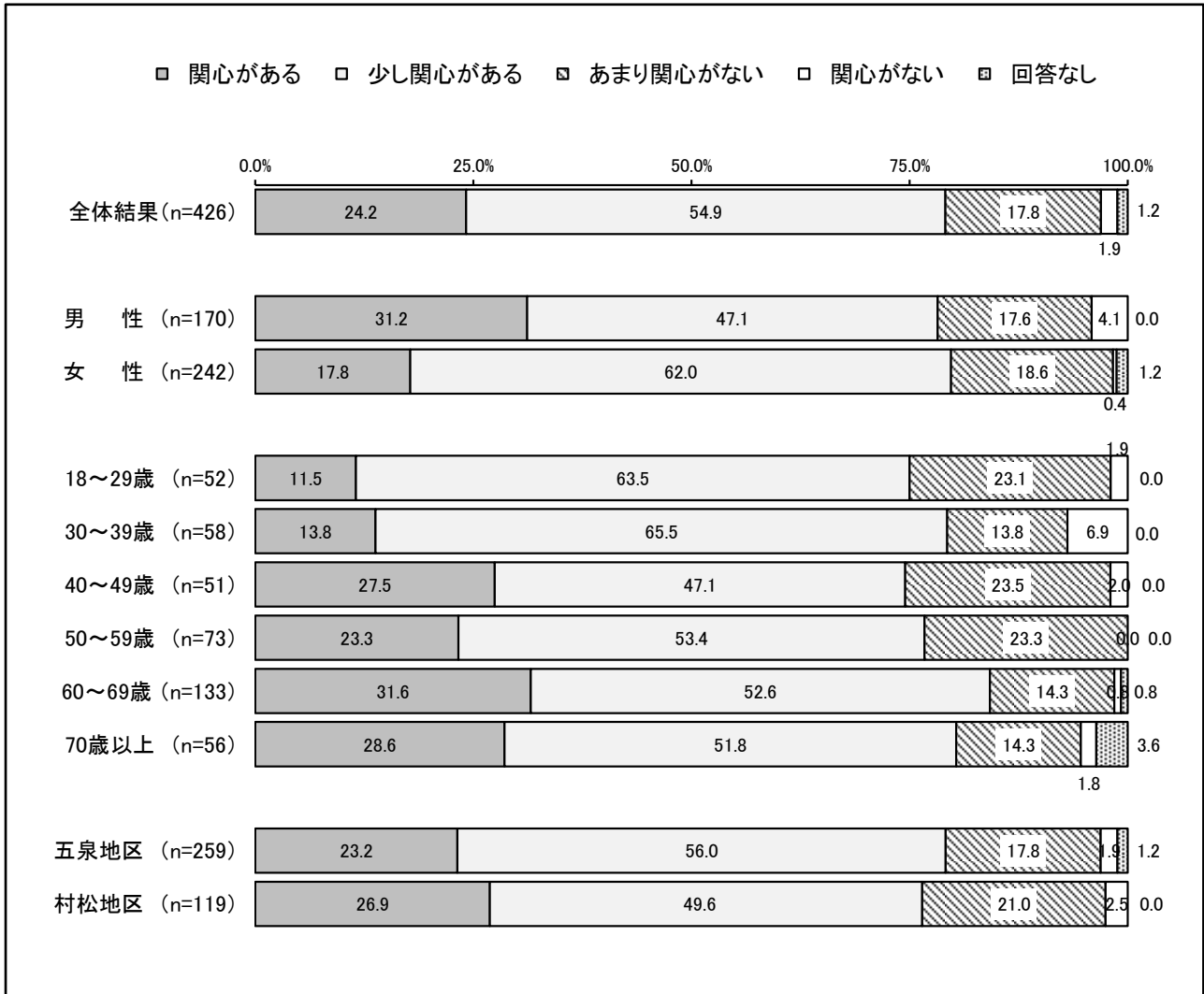


### 【全体結果】

「関心がある」が 24.2%、「少し関心がある」が 54.9%となり、「関心がある」と「少し関心がある」の合計（以下、「関心がある（計）」と表記）は 79.1%で、8割弱を占める。

一方で、「あまり関心がない」が 17.8%、「関心がない」が 1.9%となり、「あまり関心がない」と「関心がない」の合計（以下、「関心がない（計）」）は 19.7%で、2割弱となっている。

## 人権や差別問題に対する関心について



### 【性別】

「関心がある（計）」は男性が 78.3%、女性が 79.8%となり男女差は見られないが、「関心がある」については男性（31.2%）の方が女性（17.8%）よりも 13 ポイントほど高く、「少し関心がある」については女性（62.0%）の方が男性（47.1%）よりも 14 ポイントほど高くなっている。

「関心がない（計）」については、男女であまり差は見られない。

### 【年齢別】

「関心がある（計）」は 60 代（84.2%）、70 歳以上（80.4%）で 8 割を超えている。その他の年代では、7 割程度を占めている。

一方で、「関心がない（計）」は 18～29 歳（25.0%）、30 代（20.7%）、40 代（25.5%）、50 代（23.3%）で 2 割を超えている。

### 【地域別】

「関心がある（計）」は五泉地区（79.2%）、村松地区（76.5%）であまり差は見られない。

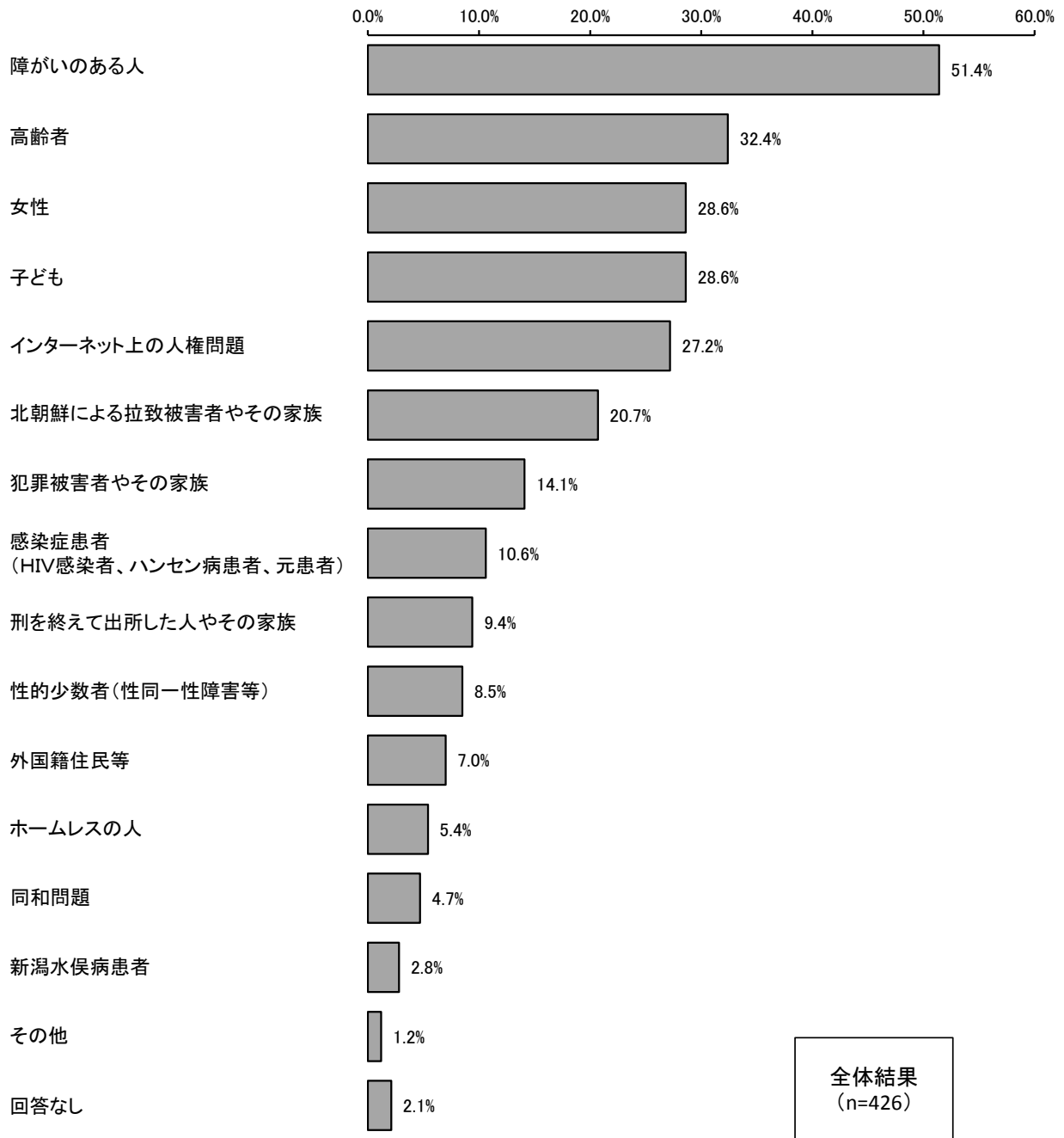
「関心がない（計）」は村松地区（23.5%）の方が、五泉地区（19.7%）よりもやや高くなっている。

## 人権や差別問題に対する関心について

		合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	関心がない	回答なし	「関心がある（計）」	「関心がない（計）」
全体		426	24.2	54.9	17.8	1.9	1.2	79.1	19.7
性別	男性	170	31.2	47.1	17.6	4.1	0.0	78.3	21.7
	女性	242	17.8	62.0	18.6	0.4	1.2	79.8	19.0
	無回答	14	50.0	28.6	7.1	0.0	14.3	78.6	7.1
年齢別	18～29歳	52	11.5	63.5	23.1	1.9	0.0	75.0	25.0
	30～39歳	58	13.8	65.5	13.8	6.9	0.0	79.3	20.7
	40～49歳	51	27.5	47.1	23.5	2.0	0.0	74.6	25.5
	50～59歳	73	23.3	53.4	23.3	0.0	0.0	76.7	23.3
	60～69歳	133	31.6	52.6	14.3	0.8	0.8	84.2	15.1
	70歳以上	56	28.6	51.8	14.3	1.8	3.6	80.4	16.1
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	23.2	56.0	17.8	1.9	1.2	79.2	19.7
	村松地区	119	26.9	49.6	21.0	2.5	0.0	76.5	23.5
	無回答	48	22.9	62.5	10.4	0.0	4.2	85.4	10.4
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	52.2	26.1	4.3	0.0	69.6	30.4
	30～39歳	15	26.7	46.7	6.7	20.0	0.0	73.4	26.7
	40～49歳	19	31.6	47.4	15.8	5.3	0.0	79.0	21.1
	50～59歳	28	21.4	46.4	32.1	0.0	0.0	67.8	32.1
	60～69歳	58	44.8	39.7	13.8	1.7	0.0	84.5	15.5
	70歳以上	27	25.9	59.3	11.1	3.7	0.0	85.2	14.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	6.9	72.4	20.7	0.0	0.0	79.3	20.7
	30～39歳	43	9.3	72.1	16.3	2.3	0.0	81.4	18.6
	40～49歳	31	25.8	48.4	25.8	0.0	0.0	74.2	25.8
	50～59歳	44	25.0	56.8	18.2	0.0	0.0	81.8	18.2
	60～69歳	69	15.9	66.7	15.9	0.0	1.4	82.6	15.9
	70歳以上	25	28.0	44.0	20.0	0.0	8.0	72.0	20.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		378	13.5	64.0	20.1	1.6	0.8	77.5	21.7

### (3) 関心のある人権や差別問題について

問6. あなたは、誰について（何について）の人権や差別の問題に関心がありますか。  
（3つまで○）



#### 【全体結果】

「障がいのある人」が 51.4%と最も高く、「高齢者」(32.4%)、「女性」(28.6%)、「子ども」(28.6%)と続いている。



### 【性別】

男性では、「障がいのある人」(55.3%)が最も高く、「高齢者」(34.7%)、「子ども」(27.6%)と続いている。

女性では、「障がいのある人」(48.8%)が最も高く、「女性」(37.6%)、「高齢者」(30.6%)と続いている。

### 【年齢別】

「障がいのある人」はいずれの年代でも4~5割となっており、「高齢者」は70歳以上(46.4%)、「子ども」は30代(43.1%)、「女性」は30代(60.3%)で最も高くなっている。

### 【地域別】

「障がいのある人」は五泉地区(51.4%)、村松地区(52.1%)ともに5割を超えている。

「高齢者」では五泉地区(34.7%)で3割を超え、「子ども」では村松地区(33.6%)で3割を超えている。

関心のある人権や差別問題について①

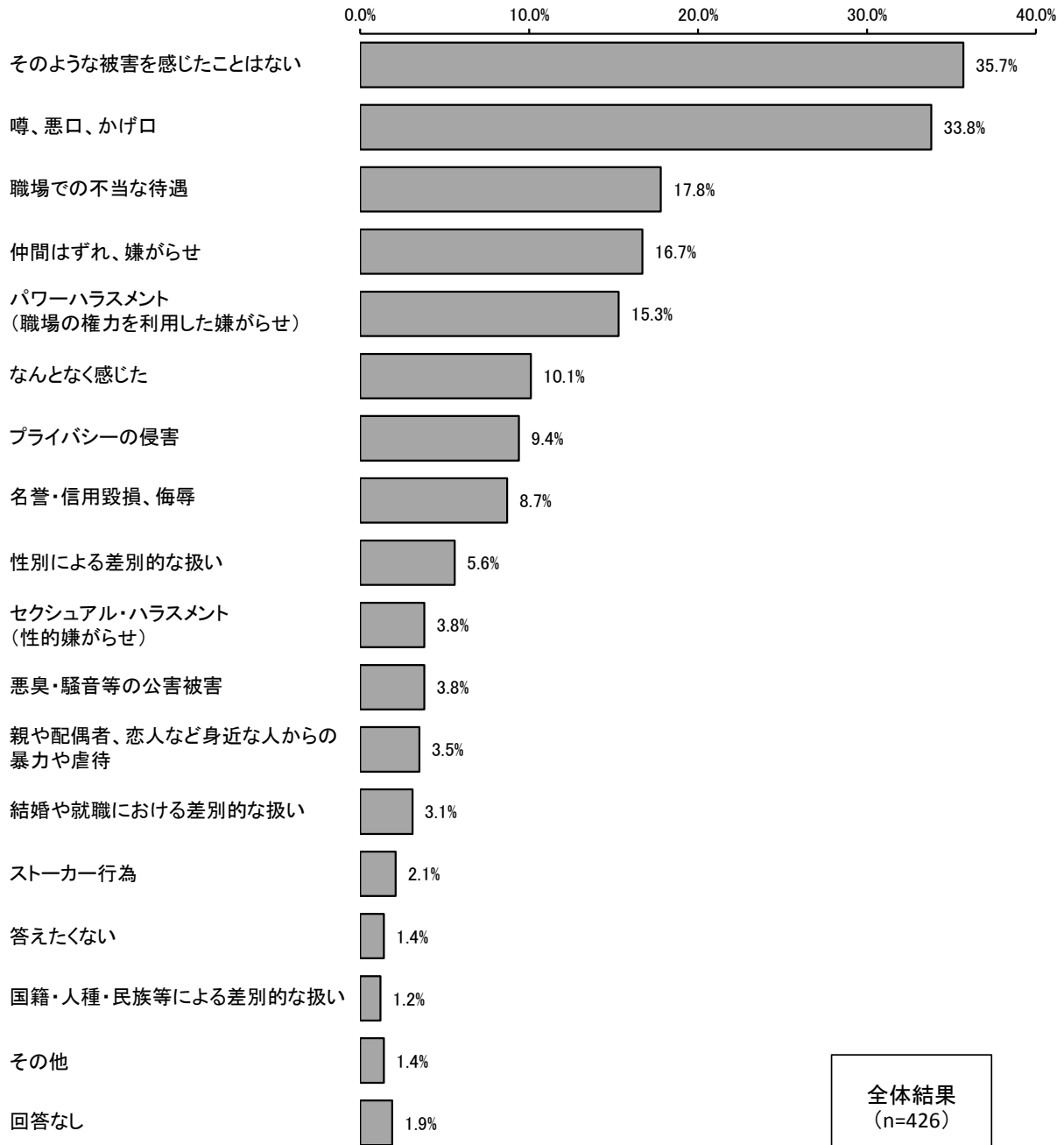
		合 計	女 性	子 ど も	高 齢 者	障 が い の あ る 人	同 和 問 題	外 国 籍 住 民 等	感 染 症 患 者 （ H I V 感 染 者 、 ハ ン セ ン 病 患 者 、 元 患 者 等 ）	イ ン タ ー ネ ッ ト 上 の 人 権 問 題
全 体		426	28.6	28.6	32.4	51.4	4.7	7.0	10.6	27.2
性 別	男 性	170	17.6	27.6	34.7	55.3	5.3	8.2	11.8	24.7
	女 性	242	37.6	29.8	30.6	48.8	4.5	6.2	9.1	28.9
	無回答	14	7.1	21.4	35.7	50.0	0.0	7.1	21.4	28.6
年 齢 別	18～29歳	52	32.7	25.0	19.2	53.8	9.6	19.2	11.5	30.8
	30～39歳	58	60.3	43.1	29.3	55.2	0.0	1.7	5.2	19.0
	40～49歳	51	29.4	21.6	21.6	56.9	9.8	11.8	17.6	35.3
	50～59歳	73	23.3	24.7	35.6	56.2	1.4	6.8	12.3	27.4
	60～69歳	133	22.6	30.1	34.6	45.9	4.5	5.3	9.0	28.6
	70歳以上	56	14.3	26.8	46.4	44.6	5.4	1.8	10.7	23.2
	無回答	3	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	29.3	25.5	34.7	51.4	3.9	5.4	10.0	27.0
	村松地区	119	21.8	33.6	21.8	52.1	4.2	9.2	9.2	29.4
	無回答	48	41.7	33.3	45.8	50.0	10.4	10.4	16.7	22.9
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	8.7	21.7	21.7	39.1	4.3	30.4	17.4	30.4
	30～39歳	15	53.3	46.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	13.3
	40～49歳	19	26.3	26.3	21.1	42.1	10.5	15.8	15.8	36.8
	50～59歳	28	3.6	21.4	35.7	60.7	0.0	7.1	17.9	28.6
	60～69歳	58	20.7	32.8	39.7	63.8	6.9	1.7	8.6	24.1
	70歳以上	27	7.4	18.5	44.4	48.1	7.4	3.7	11.1	14.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	51.7	27.6	17.2	65.5	13.8	10.3	6.9	31.0
	30～39歳	43	62.8	41.9	27.9	51.2	0.0	2.3	7.0	20.9
	40～49歳	31	32.3	19.4	22.6	64.5	9.7	9.7	16.1	35.5
	50～59歳	44	36.4	25.0	36.4	52.3	2.3	6.8	9.1	25.0
	60～69歳	69	24.6	29.0	29.0	31.9	2.9	7.2	8.7	31.9
	70歳以上	25	24.0	36.0	52.0	44.0	4.0	0.0	8.0	32.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		369	44.4	38.8	35.2	54.7	14.4	9.5	16.3	34.4

関心のある人権や差別問題について②

		合計	新潟水俣病患者	北朝鮮による拉致被害者やその家族	犯罪被害者やその家族	刑を終えて出所した人やその家族	性的少数者（性同一性障害等）	ホームレスの人	その他	回答なし
全体		426	2.8	20.7	14.1	9.4	8.5	5.4	1.2	2.1
性別	男性	170	2.4	19.4	15.3	10.6	5.3	7.6	2.4	0.6
	女性	242	3.3	21.1	13.6	7.4	10.7	3.3	0.4	3.3
	無回答	14	0.0	28.6	7.1	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0
年齢別	18～29歳	52	0.0	9.6	11.5	13.5	17.3	5.8	1.9	0.0
	30～39歳	58	1.7	5.2	8.6	3.4	20.7	1.7	0.0	1.7
	40～49歳	51	3.9	15.7	13.7	5.9	11.8	5.9	0.0	3.9
	50～59歳	73	2.7	23.3	11.0	11.0	2.7	5.5	2.7	2.7
	60～69歳	133	3.0	27.8	20.3	9.8	3.8	6.0	0.8	1.5
	70歳以上	56	5.4	30.4	12.5	8.9	1.8	7.1	1.8	3.6
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	3.5	20.5	16.6	9.3	8.9	4.2	0.0	1.9
	村松地区	119	0.8	20.2	12.6	7.6	7.6	7.6	4.2	2.5
	無回答	48	4.2	22.9	4.2	14.6	8.3	6.3	0.0	2.1
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	0.0	8.7	26.1	17.4	4.3	8.7	4.3	0.0
	30～39歳	15	0.0	6.7	0.0	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0
	40～49歳	19	0.0	15.8	10.5	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	28	0.0	17.9	14.3	17.9	0.0	10.7	3.6	3.6
	60～69歳	58	3.4	24.1	17.2	8.6	1.7	6.9	1.7	0.0
	70歳以上	27	7.4	29.6	14.8	3.7	3.7	11.1	3.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	0.0	10.3	0.0	10.3	27.6	3.4	0.0	0.0
	30～39歳	43	2.3	4.7	11.6	2.3	20.9	0.0	0.0	2.3
	40～49歳	31	6.5	16.1	16.1	3.2	9.7	9.7	0.0	6.5
	50～59歳	44	4.5	27.3	9.1	6.8	4.5	2.3	2.3	2.3
	60～69歳	69	2.9	27.5	24.6	11.6	5.8	4.3	0.0	2.9
	70歳以上	25	4.0	36.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		369	6.5	25.2	27.4	15.2	8.9	9.2	1.1	1.1

#### (4) 人権に関する被害経験について

問7. あなたは、これまでに次のような被害等によって「自己的人権が侵害された」と思ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



#### 【全体結果】

被害経験については、「噂、悪口、かげ口」(33.8%)が最も高く、「職場での不当な待遇」(17.8%)、「仲間はずれ、嫌がらせ」(16.7%)がこれに続く。

なお、「そのような被害を感じたことはない」(35.7%)は3割を超えている。

### 【性別】

男性は「そのような被害を感じたことはない」(41.2%)と最も高く、「噂、悪口、かげ口」(30.0%)、「職場での不当な待遇」(15.3%)がこれに続く。

女性は「噂、悪口、かげ口」(36.4%)が最も高く、「そのような被害を感じたことはない」(31.4%)、「職場での不当な待遇」(20.7%)がこれに続く。

### 【年齢別】

被害経験については、各年代とも「噂、悪口、かげ口」が最も高くなっている。

「職場での不当な待遇」は30代(32.8%)が最も高く、3割を超えている。また、「仲間はずれ、嫌がらせ」についても30代(31.0%)で3割を超えている。

「そのような被害を感じたことはない」は各年代とも割合が高くなっているが、特に40代(41.2%)で最も高く、4割を超えている。

### 【地域別】

被害経験については、各地区とも「噂、悪口、かげ口」(五泉地区 31.7%、村松地区 32.8%)が最も多くなっている。

続いて、「職場での不当な待遇」(五泉地区 16.6%、村松地区 19.3%)、「パワー・ハラスメント(職場の権力を利用した嫌がらせ)」(五泉地区 15.4%、村松地区 16.0%)となっている。

「そのような被害を感じたことはない」(五泉地区 37.1%、村松地区 36.1%)は、各地区とも3割を超えている。

人権に関する被害経験について①

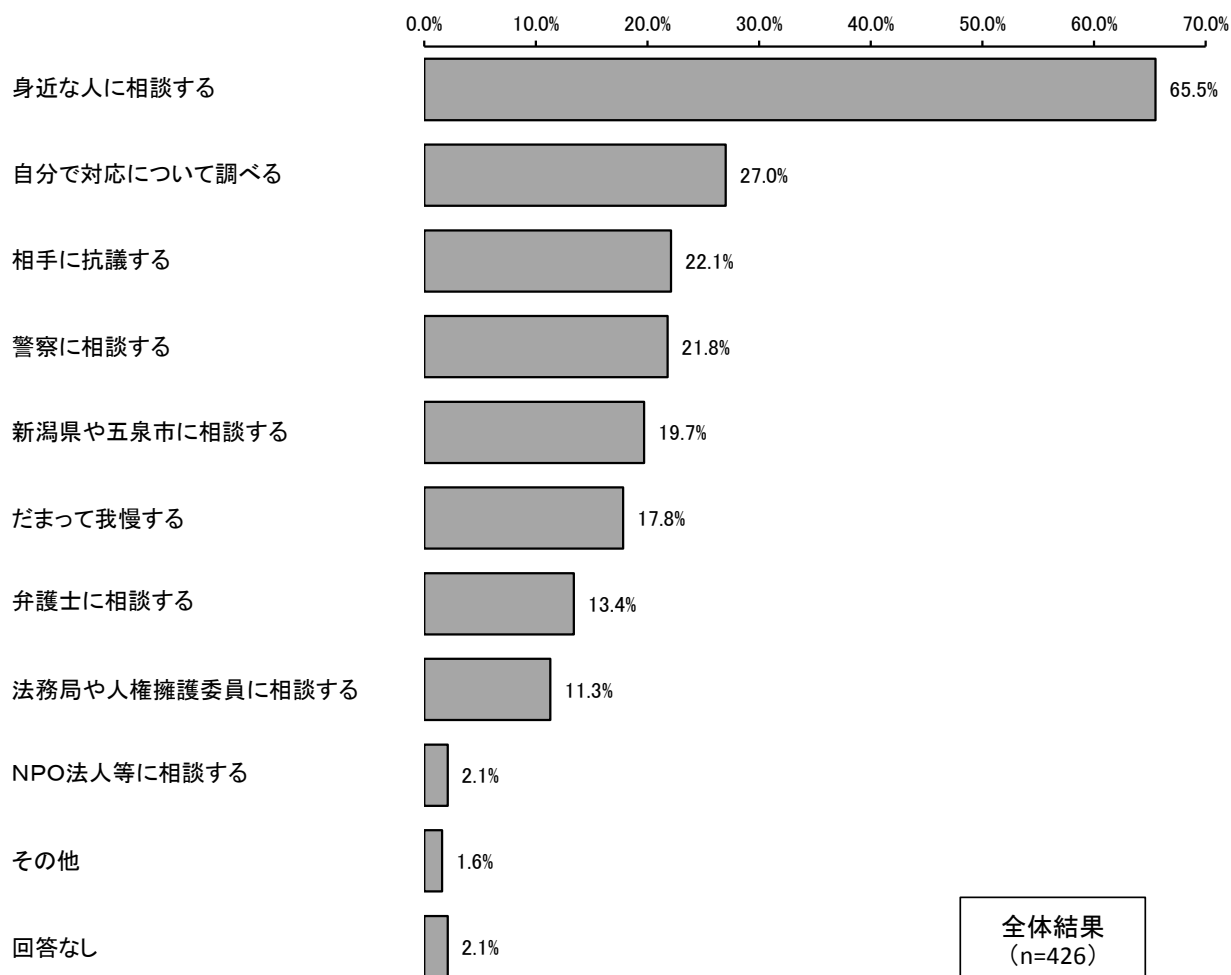
		合計	噂、悪口、かげ口	仲間はずれ、嫌がらせ	名誉・信用毀損、侮辱	職場での不当な待遇	結婚や就職における差別的な扱い	性別による差別的な扱い	国籍・人種・民族等による差別的な扱い	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラースメント（性的嫌がらせ）
全体		426	33.8	16.7	8.7	17.8	3.1	5.6	1.2	9.4	3.8
性別	男性	170	30.0	12.9	11.2	15.3	0.6	1.2	2.4	10.0	0.6
	女性	242	36.4	19.4	6.6	20.7	5.0	9.1	0.4	8.3	6.2
	無回答	14	35.7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0
年齢別	18～29歳	52	34.6	26.9	11.5	17.3	1.9	1.9	0.0	9.6	1.9
	30～39歳	58	50.0	31.0	10.3	32.8	10.3	17.2	0.0	13.8	13.8
	40～49歳	51	27.5	15.7	9.8	19.6	3.9	3.9	0.0	3.9	3.9
	50～59歳	73	31.5	16.4	9.6	21.9	5.5	5.5	1.4	11.0	5.5
	60～69歳	133	28.6	9.8	7.5	12.0	0.0	4.5	2.3	8.3	0.8
	70歳以上	56	35.7	8.9	5.4	10.7	0.0	1.8	1.8	8.9	0.0
	無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	31.7	15.1	8.5	16.6	2.3	5.8	1.2	8.5	3.1
	村松地区	119	32.8	11.8	6.7	19.3	3.4	5.0	0.0	6.7	3.4
	無回答	48	47.9	37.5	14.6	20.8	6.3	6.3	4.2	20.8	8.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	21.7	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0
	30～39歳	15	53.3	20.0	6.7	33.3	6.7	6.7	0.0	20.0	0.0
	40～49歳	19	31.6	21.1	21.1	36.8	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3
	50～59歳	28	25.0	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	60～69歳	58	25.9	10.3	12.1	8.6	0.0	1.7	5.2	6.9	0.0
	70歳以上	27	29.6	7.4	7.4	7.4	0.0	0.0	3.7	14.8	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	37.9	31.0	10.3	20.7	3.4	3.4	0.0	6.9	3.4
	30～39歳	43	48.8	34.9	11.6	32.6	11.6	20.9	0.0	11.6	18.6
	40～49歳	31	25.8	12.9	3.2	9.7	6.5	6.5	0.0	3.2	3.2
	50～59歳	44	34.1	20.5	11.4	27.3	9.1	9.1	2.3	11.4	9.1
	60～69歳	69	31.9	8.7	2.9	15.9	0.0	7.2	0.0	10.1	1.4
	70歳以上	25	40.0	12.0	0.0	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
新潟県（平成25年度調査）		110	44.5	37.3	10.0	38.2	-	12.7	-	10.0	11.8

## 人権に関する被害経験について②

		合計	パワー・ハラスメント（職場の権力を利用した嫌がらせ）	親や配偶者、恋人など身近な人からの暴力や虐待	ストーカー行為	悪臭・騒音等の公害被害	なんとなく感じた	答えたくない	その他の人権侵害	そのような被害を感じたことはない	回答なし
全体		426	15.3	3.5	2.1	3.8	10.1	1.4	1.4	35.7	1.9
性別	男性	170	12.9	2.4	0.0	3.5	9.4	2.4	1.8	41.2	1.8
	女性	242	17.8	4.5	3.7	4.1	10.3	0.8	0.8	31.4	2.1
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	42.9	0.0
年齢別	18～29歳	52	15.4	3.8	3.8	3.8	13.5	1.9	0.0	30.8	3.8
	30～39歳	58	20.7	10.3	1.7	1.7	1.7	0.0	1.7	24.1	0.0
	40～49歳	51	17.6	3.9	3.9	0.0	7.8	0.0	0.0	41.2	0.0
	50～59歳	73	23.3	5.5	4.1	4.1	9.6	2.7	0.0	34.2	0.0
	60～69歳	133	9.8	0.8	0.8	5.3	12.0	1.5	3.8	39.8	3.0
	70歳以上	56	10.7	0.0	0.0	5.4	14.3	1.8	0.0	39.3	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	15.4	1.9	1.9	4.2	9.7	1.9	0.8	37.1	1.5
	村松地区	119	16.0	2.5	0.8	3.4	10.9	0.8	1.7	36.1	3.4
	無回答	48	12.5	14.6	6.3	2.1	10.4	0.0	4.2	27.1	0.0
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	0.0	0.0	8.7	8.7	4.3	0.0	34.8	0.0
	30～39歳	15	20.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0
	40～49歳	19	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8	0.0
	50～59歳	28	10.7	0.0	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0	46.4	0.0
	60～69歳	58	8.6	1.7	0.0	3.4	10.3	1.7	5.2	46.6	3.4
	70歳以上	27	7.4	0.0	0.0	3.7	18.5	3.7	0.0	40.7	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	13.8	6.9	6.9	0.0	17.2	0.0	0.0	27.6	6.9
	30～39歳	43	20.9	9.3	2.3	2.3	2.3	0.0	2.3	23.3	0.0
	40～49歳	31	12.9	3.2	6.5	0.0	9.7	0.0	0.0	45.2	0.0
	50～59歳	44	31.8	9.1	6.8	4.5	9.1	2.3	0.0	27.3	0.0
	60～69歳	69	11.6	0.0	1.4	7.2	13.0	1.4	1.4	33.3	2.9
	70歳以上	25	16.0	0.0	0.0	8.0	12.0	0.0	0.0	36.0	4.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
新潟県（平成25年度調査）		110	-	9.1	0.9	9.1	-	2.7	5.5	-	37.3

## (5) 人権が侵害されたときの対応について

問8. もし、あなたの人権が侵害されたとしたら、どのような対応をしますか。  
(あてはまるものすべてに○)



### 【全体結果】

「身近な人に相談する」(65.5%)が最も高く、「自分で対応について調べる」(27.0%)、「相手に抗議する」(22.1%)が続いている。

なお、「だまって我慢する」(17.8%)は2割弱となっている。



### 【性別】

「身近な人に相談する」は男性が 51.8%、女性が 76.9%であり、女性の方が男性よりも 25 ポイントほど高くなっている。

「自分で対応について調べる」は男性（35.3%）で 3 割を超え、女性（21.9%）よりも 13 ポイントほど高くなっている。

また、「相手に抗議する」についても、男性（31.8%）で 3 割を超え、女性（15.7%）よりも 16 ポイントほど高くなっている。

「だまって我慢する」は、女性（19.8%）の方が男性（15.9%）よりもやや高くなっている。

### 【年齢別】

「身近な人に相談する」はいずれの年代でも 6 割を超え、最も高くなっている。

「自分で対応について調べる」は 30 代（31.0%）、40 代（35.3%）、50 代（31.5%）で 3 割を超えている。

「新潟県や五泉市に相談する」では、70 歳以上（33.9%）で 3 割を超えている。

「だまって我慢する」では、18～29 歳（32.7%）、30 代（31.0%）で 3 割を超えている。

### 【地域別】

五泉地区、村松地区ともに、「身近な人に相談する」（五泉地区 68.7%、村松地区 57.1%）が最も高くなっている。

「自分で対応について調べる」は村松地区（31.9%）の方が五泉地区（26.3%）よりも 5 ポイントほど高くなっている。

人権が侵害されたときの対応について①

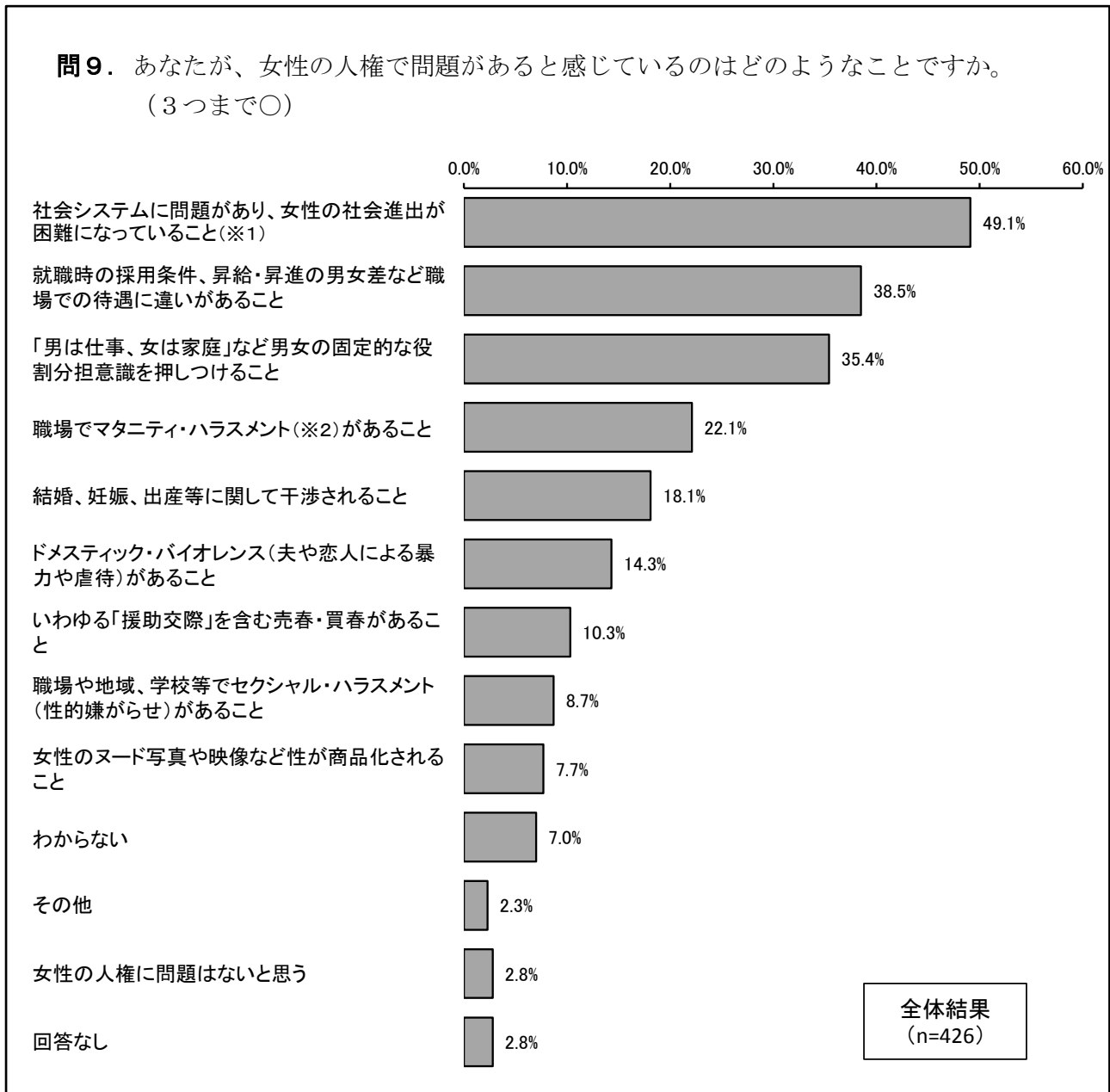
		合計	身近な人に相談する	新潟県や五泉市に相談する	警察に相談する	弁護士に相談する	法務局や人権擁護委員に相談する	NPO法人等に相談する	相手に抗議する	自分で対応について調べる
全体		426	65.5	19.7	21.8	13.4	11.3	2.1	22.1	27.0
性別	男性	170	51.8	17.6	19.4	17.1	12.4	2.9	31.8	35.3
	女性	242	76.9	21.1	22.7	9.9	10.3	1.7	15.7	21.9
	無回答	14	35.7	21.4	35.7	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3
年齢別	18～29歳	52	63.5	3.8	11.5	7.7	5.8	1.9	13.5	21.2
	30～39歳	58	63.8	15.5	20.7	10.3	3.4	1.7	22.4	31.0
	40～49歳	51	68.6	11.8	19.6	5.9	5.9	0.0	17.6	35.3
	50～59歳	73	69.9	19.2	20.5	13.7	16.4	4.1	19.2	31.5
	60～69歳	133	63.2	24.1	24.8	19.5	15.0	2.3	29.3	25.6
	70歳以上	56	64.3	33.9	26.8	14.3	14.3	1.8	19.6	19.6
	無回答	3	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	68.7	20.8	22.4	12.7	11.2	1.5	22.8	26.3
	村松地区	119	57.1	18.5	21.8	16.0	11.8	3.4	23.5	31.9
	無回答	48	68.8	16.7	18.8	10.4	10.4	2.1	14.6	18.8
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	43.5	4.3	13.0	4.3	4.3	0.0	21.7	34.8
	30～39歳	15	26.7	6.7	26.7	13.3	0.0	6.7	33.3	33.3
	40～49歳	19	52.6	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	31.6	47.4
	50～59歳	28	60.7	14.3	10.7	17.9	14.3	3.6	28.6	46.4
	60～69歳	58	58.6	24.1	24.1	24.1	19.0	3.4	41.4	31.0
	70歳以上	27	48.1	29.6	25.9	22.2	14.8	3.7	22.2	25.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	79.3	3.4	10.3	10.3	6.9	3.4	6.9	10.3
	30～39歳	43	76.7	18.6	18.6	9.3	4.7	0.0	18.6	30.2
	40～49歳	31	80.6	12.9	25.8	6.5	6.5	0.0	9.7	25.8
	50～59歳	44	77.3	22.7	27.3	11.4	18.2	4.5	13.6	22.7
	60～69歳	69	71.0	23.2	23.2	13.0	11.6	1.4	20.3	23.2
	70歳以上	25	84.0	44.0	28.0	4.0	12.0	0.0	20.0	12.0
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 人権が侵害されたときの対応について②

		合 計	だ ま っ て 我 慢 す る	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	17.8	1.6	2.1
性 別	男 性	170	15.9	2.4	2.4
	女 性	242	19.8	1.2	2.1
	無回答	14	7.1	0.0	0.0
年 齢 別	18～29歳	52	32.7	1.9	0.0
	30～39歳	58	31.0	3.4	1.7
	40～49歳	51	19.6	2.0	0.0
	50～59歳	73	21.9	0.0	1.4
	60～69歳	133	8.3	1.5	3.8
	70歳以上	56	7.1	1.8	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	17.4	1.9	1.9
	村松地区	119	18.5	1.7	2.5
	無回答	48	18.8	0.0	2.1
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	30.4	0.0	0.0
	30～39歳	15	40.0	13.3	6.7
	40～49歳	19	21.1	5.3	0.0
	50～59歳	28	17.9	0.0	3.6
	60～69歳	58	5.2	1.7	1.7
	70歳以上	27	7.4	0.0	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	34.5	3.4	0.0
	30～39歳	43	27.9	0.0	0.0
	40～49歳	31	19.4	0.0	0.0
	50～59歳	44	22.7	0.0	0.0
	60～69歳	69	11.6	1.4	5.8
	70歳以上	25	8.0	4.0	4.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0

## 2. 女性の人権について

### (1) 女性の人権に対する問題意識について



※1 社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること：育児、家事、高齢者介護などを男女が共同で担うことができる就労環境や社会制度の整備が不十分であること。

※2 マタニティ・ハラスメント：妊娠や出産をしたことが業務上支障をきたすという理由による精神的・肉体的な嫌がらせ。

### 【全体結果】

「社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること」(49.1%)が最も高く、「就職時の採用条件、昇給・昇進の男女差など職場での待遇に違いがあること」(38.5%)、「『男は仕事、女は家庭』など男女の固定的な役割分担意識を押し付けること」(35.4%)が続いている。

### 【性別】

「社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること」が、男性(45.3%)、女性(50.8%)ともに最も高くなっており、女性の方が男性よりも5ポイントほど高くなっている。

「就職時の採用条件、昇給・昇進の男女差など職場での待遇に違いがあること」は男性(38.8%)、女性(38.4%)であまり差は見られない。

「『男は仕事、女は家庭』など男女の固定的な役割分担意識を押し付けること」は、男性(31.8%)、女性(38.0%)ともに3割を超えているが、女性の方が男性よりも6ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること」はいずれの年代においても最も高く、特に30代(60.3%)では6割を超えている。

「就職時の採用条件、昇給・昇進の男女差など職場での待遇に違いがあること」は、30代(50.0%)で最も高く、18~29歳(40.4%)、50代(43.8%)で4割を超えている。

「『男は仕事、女は家庭』など男女の固定的な役割分担意識を押し付けること」は、30代(44.8%)で4割を超えている。

### 【地域別】

「社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること」は、五泉地区(52.5%)の方が、村松地区(39.5%)よりも13ポイント高くなっている。

「『男は仕事、女は家庭』など男女の固定的な役割分担意識を押し付けること」は、五泉地区(39.0%)の方が、村松地区(28.6%)よりも10ポイントほど高くなっている。

女性の人権に対する問題意識について①

		合計	「家庭」な役割分担のこと	「男は仕事、女は家事」など男女の固定意識を押しつけること	職場での待遇に違いがあること	就業時の採用条件、昇給・昇進の男女差など	社会システムに問題があり、女性が進出が困難になっていること（※1）	オレステイク（※2）・ドメスティック・バイオレンス（※3）があること	職場でマタニティ・ハラメント（※4）があること	結婚、妊娠、出産等に干渉されること
全体		426	35.4	38.5	49.1	14.3	8.7	22.1	18.1	
性別	男性	170	31.8	38.8	45.3	17.1	10.0	20.0	12.4	
	女性	242	38.0	38.4	50.8	12.0	7.9	24.0	22.7	
	無回答	14	35.7	35.7	64.3	21.4	7.1	14.3	7.1	
年齢別	18～29歳	52	38.5	40.4	46.2	9.6	7.7	25.0	30.8	
	30～39歳	58	44.8	50.0	60.3	10.3	12.1	34.5	36.2	
	40～49歳	51	33.3	39.2	39.2	9.8	5.9	17.6	15.7	
	50～59歳	73	35.6	43.8	47.9	21.9	12.3	28.8	19.2	
	60～69歳	133	30.8	36.1	51.1	15.8	6.8	15.8	9.8	
	70歳以上	56	35.7	21.4	44.6	12.5	8.9	17.9	7.1	
	無回答	3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	
地域別	五泉地区	259	39.0	39.0	52.5	15.4	7.3	22.8	18.5	
	村松地区	119	28.6	37.8	39.5	12.6	10.9	20.2	14.3	
	無回答	48	33.3	37.5	54.2	12.5	10.4	22.9	25.0	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	34.8	39.1	56.5	13.0	8.7	13.0	13.0	
	30～39歳	15	40.0	60.0	46.7	6.7	0.0	26.7	20.0	
	40～49歳	19	36.8	42.1	26.3	15.8	5.3	15.8	10.5	
	50～59歳	28	32.1	35.7	35.7	25.0	14.3	21.4	21.4	
	60～69歳	58	27.6	41.4	55.2	20.7	10.3	20.7	6.9	
	70歳以上	27	29.6	22.2	37.0	11.1	14.8	22.2	11.1	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	41.4	41.4	37.9	6.9	6.9	34.5	44.8	
	30～39歳	43	46.5	46.5	65.1	11.6	16.3	37.2	41.9	
	40～49歳	31	29.0	35.5	45.2	6.5	6.5	19.4	19.4	
	50～59歳	44	36.4	47.7	54.5	20.5	11.4	34.1	18.2	
	60～69歳	69	34.8	33.3	47.8	10.1	2.9	11.6	13.0	
	70歳以上	25	44.0	24.0	48.0	12.0	4.0	12.0	4.0	
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
新潟県（平成25年度調査）		216	48.1	50.0	71.8	15.7	7.9	-	-	

※1 社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること：育児、家事、高齢者介護などを男女が共同で担うことができる就労環境や社会制度の整備が不十分であること。

※2 ドメスティック・バイオレンス：夫や恋人による暴力や虐待

※3 セクシャル・ハラメント：性的嫌がらせ

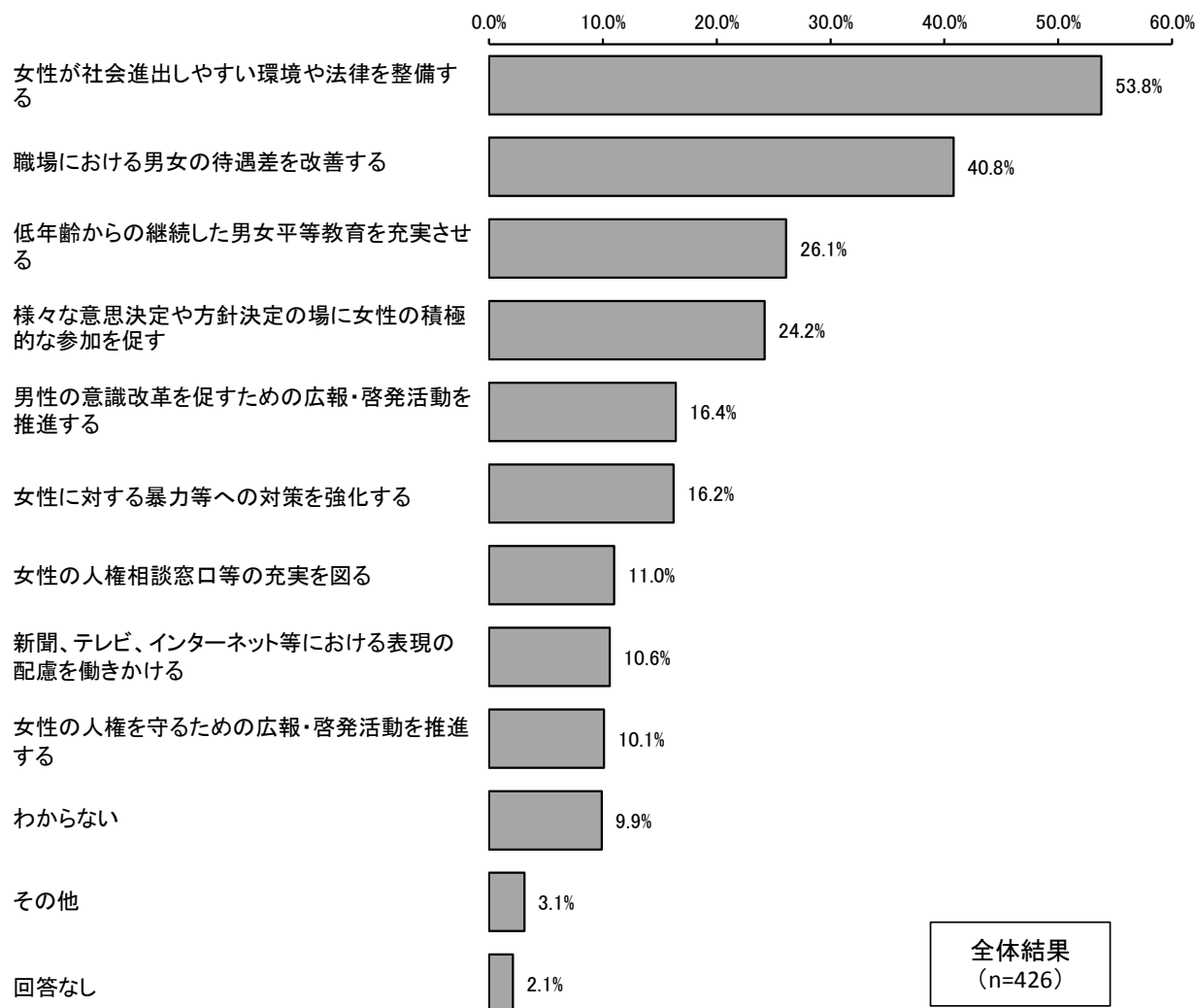
※4 マタニティ・ハラメント：妊娠や出産をしたことが業務上支障をきたすという理由による精神的・肉体的な嫌がらせ

女性の人権に対する問題意識について②

		合計	女性のヌード写真や映像などが商品化されること	いわゆる「援交」を含む売春・買春があること	わからない	その他	女性の人権に問題はないと思う	回答なし
全体		426	7.7	10.3	7.0	2.3	2.8	2.8
性別	男性	170	6.5	10.6	10.0	3.5	4.1	2.9
	女性	242	8.7	9.5	5.0	1.7	1.7	2.5
	無回答	14	7.1	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1
年齢別	18～29歳	52	1.9	1.9	3.8	0.0	1.9	1.9
	30～39歳	58	1.7	5.2	3.4	6.9	3.4	0.0
	40～49歳	51	13.7	17.6	7.8	2.0	3.9	2.0
	50～59歳	73	5.5	4.1	5.5	1.4	1.4	1.4
	60～69歳	133	8.3	17.3	9.8	1.5	1.5	3.0
	70歳以上	56	14.3	8.9	8.9	3.6	7.1	8.9
	無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	6.9	11.2	6.2	2.3	0.4	2.7
	村松地区	119	10.9	10.1	9.2	3.4	5.9	1.7
	無回答	48	4.2	6.3	6.3	0.0	8.3	6.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	15	6.7	6.7	6.7	20.0	6.7	0.0
	40～49歳	19	10.5	21.1	10.5	0.0	10.5	0.0
	50～59歳	28	3.6	10.7	10.7	0.0	3.6	3.6
	60～69歳	58	8.6	13.8	10.3	3.4	0.0	3.4
	70歳以上	27	7.4	3.7	11.1	3.7	11.1	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4
	30～39歳	43	0.0	4.7	2.3	2.3	2.3	0.0
	40～49歳	31	16.1	16.1	6.5	3.2	0.0	3.2
	50～59歳	44	6.8	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0
	60～69歳	69	8.7	20.3	8.7	0.0	1.4	2.9
	70歳以上	25	20.0	8.0	8.0	4.0	4.0	8.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		216	8.3	5.6	-	3.2	-	2.8

## (2) 女性の人権を守るために必要なこと

問 10. 女性の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



### 【全体結果】

「女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する」(53.8%)が最も高く、「職場における男女の待遇差を改善する」(40.8%)、「低年齢からの継続した男女平等教育を充実させる」(26.1%)が続いている。



### 【性別】

男女とも、「女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する」（男性 51.2%、女性 55.4%）が最も高くなっている。

「職場における男女の待遇差を改善する」は男性（44.7%）の方が、女性（38.4%）よりも6ポイントほど高くなっている。

「様々な意思決定や方針決定の場に女性の積極的な参加を促す」（男性 20.6%、女性 26.4%）、「女性の人権相談窓口等の充実を図る」（男性 7.6%、女性 13.2%）はともに、女性の方が5ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

いずれの年代でも「女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する」が最も高く、特に30代（69.0%）では7割弱となっている。

「職場における男女の待遇差を改善する」は、18～29歳（53.8%）、30代（50.0%）で5割を超えている。

### 【地域別】

各地区ともに、「女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する」（五泉地区 56.8%、村松地区 50.4%）が最も高くなっている。

「さまざまな意思決定や方針決定の場に女性の積極的な参加を促す」は、五泉地区（27.8%）の方が村松地区（18.5%）よりも9ポイントほど高くなっている。

女性の人権を守るために必要なこと①

		合計	女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する	職場における男女の待遇差を改善する	様々な意思決定の場に女性の積極的な参加を促す	様々な意思決定や方針	低年齢からの継続した男女平等教育を充実させる	女性に対する暴力等への対策を強化する	女性の権利を啓発活動を進める	男性の意識改革を促すための啓発活動を進める
全体		426	53.8	40.8	24.2	26.1	16.2	10.1	16.4	
性別	男性	170	51.2	44.7	20.6	27.1	18.8	9.4	18.2	
	女性	242	55.4	38.4	26.4	25.6	14.5	10.3	15.7	
	無回答	14	57.1	35.7	28.6	21.4	14.3	14.3	7.1	
年齢別	18～29歳	52	57.7	53.8	19.2	13.5	13.5	7.7	5.8	
	30～39歳	58	69.0	50.0	27.6	25.9	10.3	10.3	22.4	
	40～49歳	51	41.2	25.5	17.6	21.6	13.7	15.7	17.6	
	50～59歳	73	50.7	43.8	21.9	30.1	15.1	8.2	19.2	
	60～69歳	133	49.6	41.4	28.6	30.1	19.5	8.3	17.3	
	70歳以上	56	58.9	26.8	25.0	25.0	21.4	10.7	14.3	
	無回答	3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	
地域別	五泉地区	259	56.8	40.5	27.8	26.3	17.0	7.7	19.3	
	村松地区	119	50.4	42.9	18.5	25.2	16.0	10.9	12.6	
	無回答	48	45.8	37.5	18.8	27.1	12.5	20.8	10.4	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	52.2	56.5	21.7	21.7	8.7	0.0	0.0	
	30～39歳	15	66.7	53.3	13.3	33.3	13.3	20.0	33.3	
	40～49歳	19	31.6	21.1	15.8	21.1	10.5	21.1	15.8	
	50～59歳	28	50.0	50.0	32.1	17.9	17.9	3.6	32.1	
	60～69歳	58	51.7	50.0	24.1	34.5	24.1	8.6	19.0	
	70歳以上	27	55.6	29.6	7.4	25.9	25.9	11.1	11.1	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	62.1	51.7	17.2	6.9	17.2	13.8	10.3	
	30～39歳	43	69.8	48.8	32.6	23.3	9.3	7.0	18.6	
	40～49歳	31	45.2	25.8	16.1	22.6	16.1	12.9	19.4	
	50～59歳	44	52.3	40.9	15.9	38.6	13.6	11.4	11.4	
	60～69歳	69	49.3	34.8	33.3	27.5	15.9	7.2	17.4	
	70歳以上	25	60.0	24.0	40.0	24.0	16.0	12.0	16.0	
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	

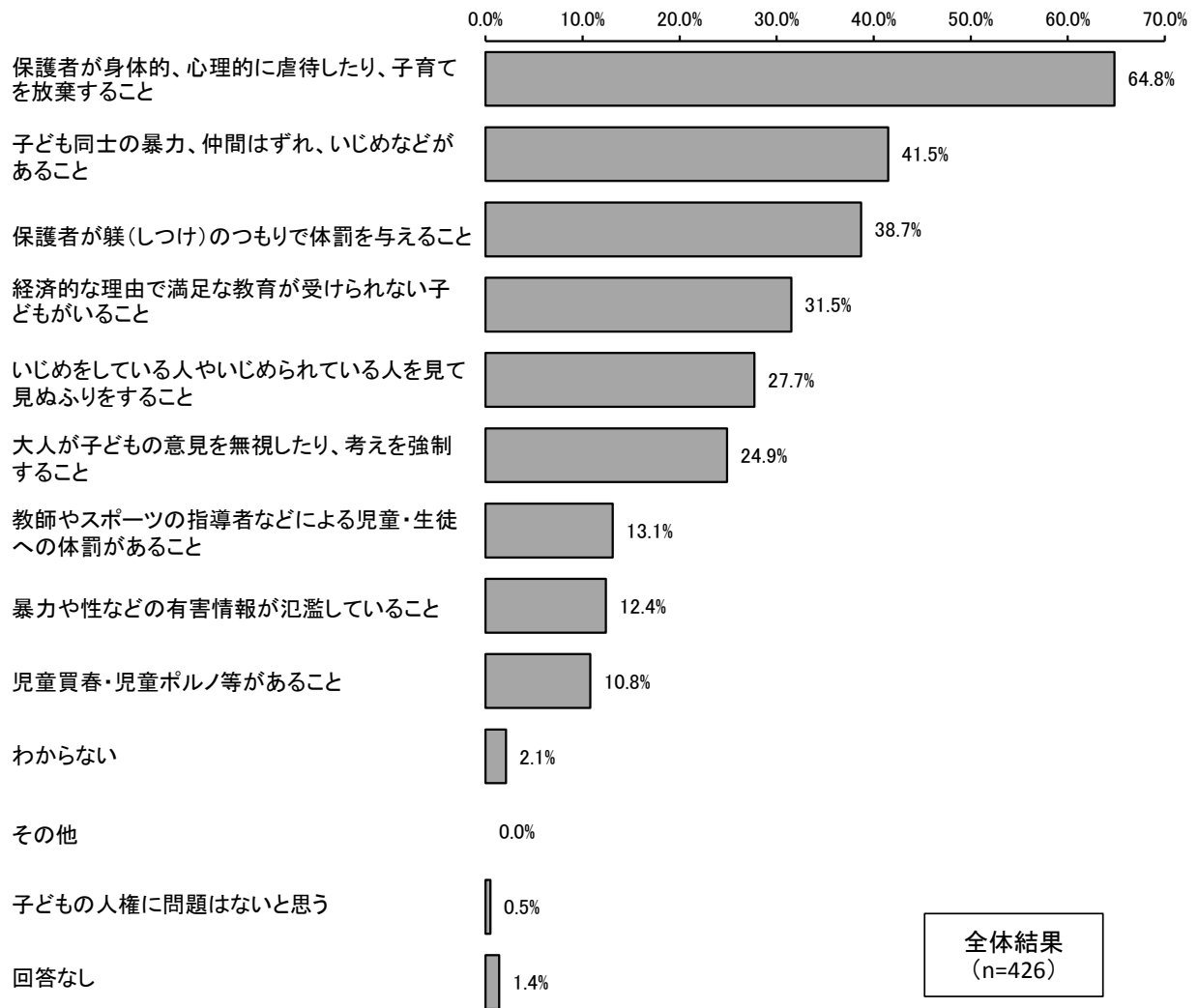
女性の人権を守るために必要なこと②

		合計	女性の人権相談窓口等の充実を図る	新聞、テレビ、インターネット等に働きかける表	わからない	その他	回答なし
全体		426	11.0	10.6	9.9	3.1	2.1
性別	男性	170	7.6	8.8	10.6	4.1	1.8
	女性	242	13.2	12.0	9.1	2.5	2.1
	無回答	14	14.3	7.1	14.3	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	9.6	5.8	11.5	5.8	3.8
	30～39歳	58	15.5	5.2	5.2	5.2	0.0
	40～49歳	51	9.8	15.7	13.7	3.9	2.0
	50～59歳	73	12.3	16.4	6.8	2.7	2.7
	60～69歳	133	9.0	10.5	9.8	1.5	1.5
	70歳以上	56	12.5	8.9	14.3	1.8	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	12.4	9.3	8.1	2.7	2.3
	村松地区	119	6.7	15.1	10.9	4.2	0.0
	無回答	48	14.6	6.3	16.7	2.1	6.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	13.0	4.3	8.7	8.7	4.3
	30～39歳	15	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
	40～49歳	19	5.3	10.5	26.3	5.3	0.0
	50～59歳	28	7.1	10.7	7.1	0.0	3.6
	60～69歳	58	8.6	8.6	6.9	3.4	0.0
	70歳以上	27	7.4	11.1	18.5	3.7	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	6.9	6.9	13.8	3.4	3.4
	30～39歳	43	20.9	4.7	7.0	4.7	0.0
	40～49歳	31	12.9	19.4	6.5	3.2	3.2
	50～59歳	44	15.9	20.5	6.8	4.5	0.0
	60～69歳	69	7.2	11.6	10.1	0.0	2.9
	70歳以上	25	20.0	8.0	12.0	0.0	4.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 子どもの人権について

#### (1) 子どもの人権に対する問題意識について

問 11. あなたが、子どもの人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。  
(3つまで○)



#### 【全体結果】

「保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること」(64.8%)が最も高く、6割を超えている。

続いて、「子ども同士の暴力、仲間はずれ、いじめなどがあること」(41.5%)、「保護者が躰(しつけ)のつもりで体罰を与えること」(38.7%)となっている。

### 【性別】

「保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること」は、女性（70.7%）の方が男性（57.6%）よりも13ポイントほど高くなっている。

また、「保護者が躰（しつけ）のつもりで体罰を与えること」は、女性（45.0%）の方が男性（30.6%）よりも14ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること」はいずれの年代でも最も高く、特に40代（72.5%）では7割を超えている。

「子ども同士の暴力、仲間はずれ、いじめなどがあること」は、40代（43.1%）、50代（45.2%）、60代（46.6%）で4割を超えている。

「保護者が躰（しつけ）のつもりで体罰を与えること」は、50代（47.9%）で最も高く、18～29歳（40.4%）で4割を超えている。

### 【地域別】

各地区とも、「保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること」（五泉地区66.4%、村松地区63.0%）が最も高くなっている。

「子ども同士の暴力、仲間はずれ、いじめなどがあること」は、村松地区（46.2%）の方が五泉地区（37.8%）よりも8ポイントほど高くなっている。

子ども的人権に対する問題意識について①

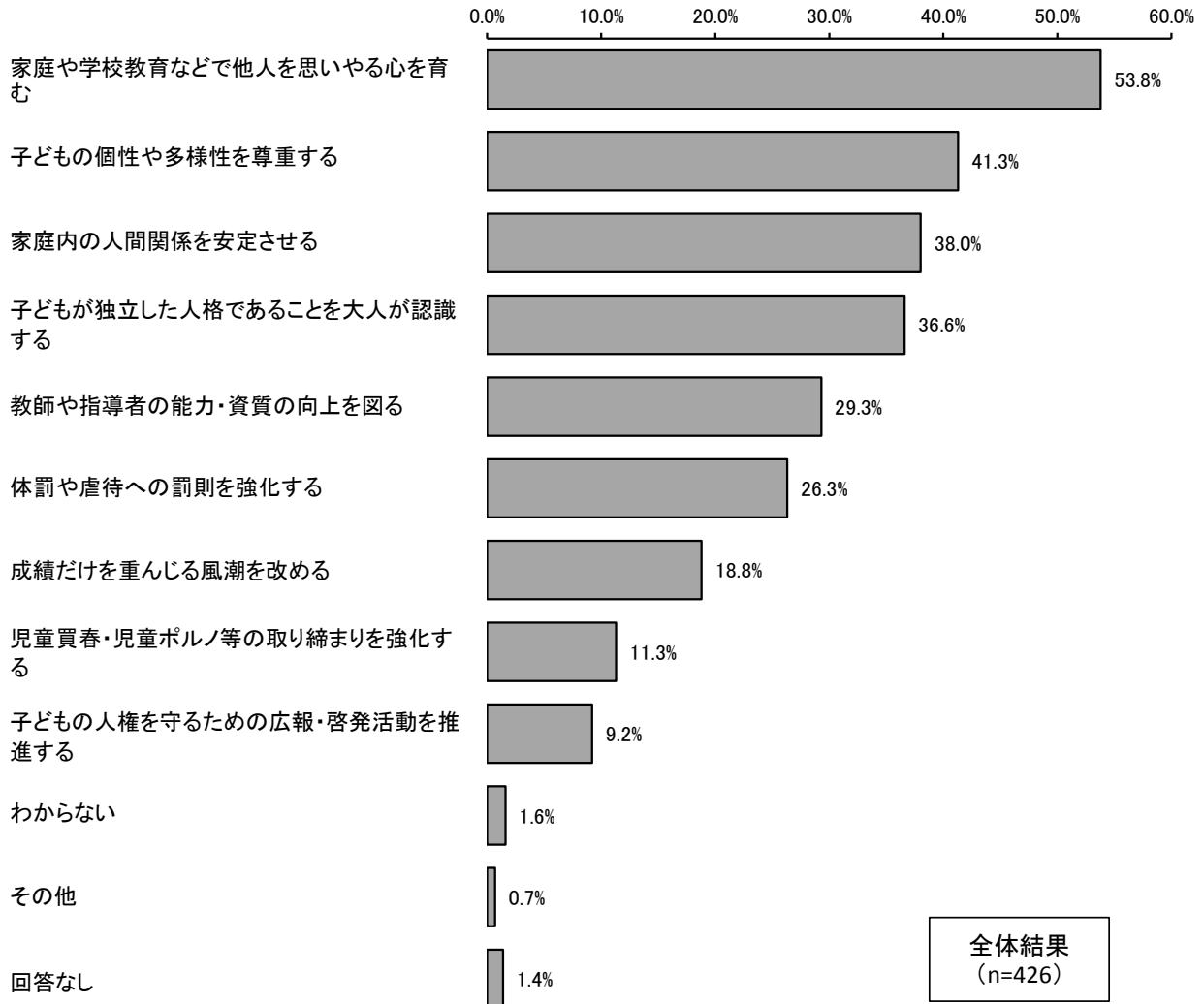
		合計	保護者が躰（しつけ） のつもりで体罰を与 ること	保護者が身体的、心理 的に虐待したり、子育 てを放棄すること	大人が子どもの意見を強 制したり、考えを強 無視すること	子ども同士の暴力、仲 間は、いじめなど があること	いじめを受けている人 や見ぬふりをしている人 と見て見ぬふりをしている こと	教師やスポーツの指導 者などによる児童・生 徒への体罰があること	経済的な理由で満足な 教育が受けられない子 どもがいること
全体		426	38.7	64.8	24.9	41.5	27.7	13.1	31.5
性別	男性	170	30.6	57.6	28.2	42.4	29.4	15.9	30.6
	女性	242	45.0	70.7	23.6	40.1	26.0	12.0	30.6
	無回答	14	28.6	50.0	7.1	57.1	35.7	0.0	57.1
年齢別	18～29歳	52	40.4	69.2	34.6	38.5	21.2	15.4	34.6
	30～39歳	58	32.8	67.2	29.3	34.5	29.3	19.0	29.3
	40～49歳	51	35.3	72.5	25.5	43.1	17.6	11.8	37.3
	50～59歳	73	47.9	69.9	26.0	45.2	26.0	9.6	31.5
	60～69歳	133	39.1	60.2	15.8	46.6	33.1	12.0	28.6
	70歳以上	56	32.1	55.4	32.1	33.9	30.4	14.3	32.1
	無回答	3	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
地域別	五泉地区	259	38.6	66.4	25.1	37.8	26.3	17.4	32.0
	村松地区	119	37.8	63.0	23.5	46.2	31.9	8.4	31.1
	無回答	48	41.7	60.4	27.1	50.0	25.0	2.1	29.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	60.9	43.5	30.4	21.7	21.7	43.5
	30～39歳	15	26.7	40.0	26.7	46.7	33.3	26.7	33.3
	40～49歳	19	26.3	68.4	36.8	36.8	21.1	5.3	42.1
	50～59歳	28	35.7	57.1	35.7	53.6	25.0	7.1	25.0
	60～69歳	58	29.3	60.3	19.0	44.8	39.7	17.2	25.9
	70歳以上	27	33.3	51.9	22.2	37.0	22.2	18.5	25.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	48.3	75.9	27.6	44.8	20.7	10.3	27.6
	30～39歳	43	34.9	76.7	30.2	30.2	27.9	16.3	27.9
	40～49歳	31	41.9	74.2	19.4	45.2	16.1	16.1	35.5
	50～59歳	44	56.8	77.3	20.5	40.9	25.0	11.4	34.1
	60～69歳	69	47.8	63.8	14.5	44.9	27.5	8.7	29.0
	70歳以上	25	32.0	60.0	44.0	28.0	40.0	12.0	28.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
新潟県（平成25年度調査）		245	40.4	41.6	32.2	44.9	31.4	11.8	-

子どもの人権に対する問題意識について②

		合計	暴力や性などの有害情報 が氾濫していること	児童買春・児童ポルノ 等があること	わからない	その他	子どもの人権に問題はない と思う	回答なし
全体		426	12.4	10.8	2.1	0.0	0.5	1.4
性別	男性	170	11.8	12.4	2.4	0.0	1.2	1.2
	女性	242	13.2	9.5	2.1	0.0	0.0	1.2
	無回答	14	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	7.7	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	58	13.8	12.1	1.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	51	3.9	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	73	4.1	8.2	2.7	0.0	0.0	2.7
	60～69歳	133	16.5	11.3	2.3	0.0	0.8	3.0
	70歳以上	56	25.0	5.4	5.4	0.0	1.8	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	13.9	10.0	1.5	0.0	0.8	1.5
	村松地区	119	12.6	10.1	2.5	0.0	0.0	0.8
	無回答	48	4.2	16.7	4.2	0.0	0.0	2.1
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	15	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	28	7.1	14.3	3.6	0.0	0.0	3.6
	60～69歳	58	13.8	10.3	1.7	0.0	1.7	1.7
	70歳以上	27	22.2	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	3.4	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	43	16.3	9.3	2.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	6.5	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	44	2.3	4.5	2.3	0.0	0.0	2.3
	60～69歳	69	18.8	11.6	2.9	0.0	0.0	2.9
	70歳以上	25	32.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		245	-	15.1	-	2.4	-	4.9

## (2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問 12. 子どもの人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



### 【全体結果】

「家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む」(53.8%)が最も高く、「子どもの個性や多様性を尊重する」(41.3%)、「家庭内の人間関係を安定させる」(38.0%)が続いている。



### 【性別】

男女ともに、「家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む」（男性 54.1%、女性 52.9%）が最も高く、5割を超えている。

「家庭内の人間関係を安定させる」は、女性（41.3%）の方が男性（33.5%）よりも、7ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む」は60代（60.9%）、70歳以上（62.5%）で6割を超えている。

「子どもの個性や多様性を尊重する」は、18～29歳（53.8%）、70歳以上（53.6%）で5割を超えている。

「家庭内の人間関係を安定させる」は、40代（52.9%）で5割を超えている。

### 【地域別】

「家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む」は、五泉地区（54.1%）、村松地区（54.6%）ともに5割を超えている。

「子どもが独立した人格であることを大人が認識する」は、五泉地区（40.5%）の方が村松地区（27.7%）よりも12ポイントほど高くなっている。

子どもの人権を守るために必要なこと①

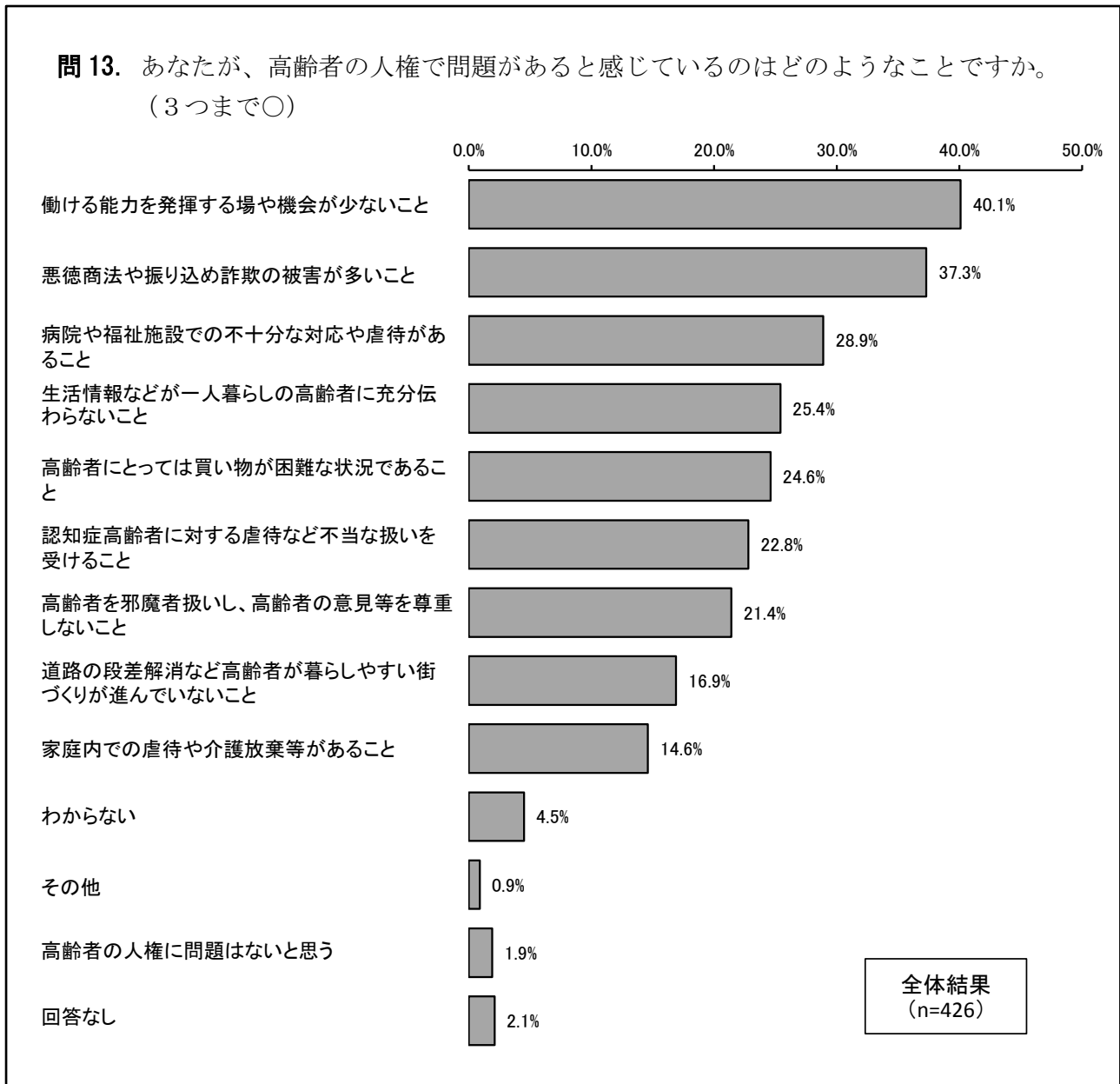
		合計	子どもの個性や多様性を尊重する	体罰や虐待への罰則を強化する	子どもが独立した人格であることを大人が認識する	家庭内の人間関係を安定させる	他を家庭や学校教育などで人を思いやる心を育てる	成績だけを重んじる風潮を改める	教師や指導者の能力・資質の向上を図る
全体		426	41.3	26.3	36.6	38.0	53.8	18.8	29.3
性別	男性	170	42.4	26.5	37.6	33.5	54.1	22.9	30.0
	女性	242	40.9	26.9	35.5	41.3	52.9	16.1	28.5
	無回答	14	35.7	14.3	42.9	35.7	64.3	14.3	35.7
年齢別	18～29歳	52	53.8	40.4	30.8	38.5	32.7	21.2	23.1
	30～39歳	58	41.4	27.6	44.8	46.6	51.7	8.6	27.6
	40～49歳	51	29.4	27.5	35.3	52.9	41.2	21.6	31.4
	50～59歳	73	37.0	38.4	31.5	31.5	58.9	26.0	21.9
	60～69歳	133	38.3	15.0	37.6	34.6	60.9	17.3	39.1
	70歳以上	56	53.6	19.6	41.1	32.1	62.5	19.6	23.2
	無回答	3	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	42.9	24.3	40.5	37.5	54.1	19.7	30.1
	村松地区	119	38.7	29.4	27.7	37.8	54.6	19.3	31.9
	無回答	48	39.6	29.2	37.5	41.7	50.0	12.5	18.8
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	52.2	34.8	43.5	34.8	34.8	30.4	26.1
	30～39歳	15	26.7	33.3	20.0	46.7	46.7	13.3	33.3
	40～49歳	19	21.1	26.3	52.6	36.8	36.8	42.1	26.3
	50～59歳	28	39.3	39.3	28.6	35.7	57.1	25.0	17.9
	60～69歳	58	44.8	20.7	36.2	29.3	67.2	17.2	39.7
	70歳以上	27	55.6	14.8	44.4	29.6	55.6	18.5	25.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	55.2	44.8	20.7	41.4	31.0	13.8	20.7
	30～39歳	43	46.5	25.6	53.5	46.5	53.5	7.0	25.6
	40～49歳	31	35.5	29.0	25.8	61.3	41.9	9.7	32.3
	50～59歳	44	34.1	38.6	31.8	29.5	59.1	27.3	25.0
	60～69歳	69	34.8	11.6	37.7	39.1	56.5	17.4	37.7
	70歳以上	25	52.0	24.0	36.0	36.0	68.0	20.0	20.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

## 子どもの人権を守るために必要なこと②

		合計	子どもの人権を 推進する ための広報・啓 発活動	児童買春・児童ポ ルノの取り締まりを 強化する	わからない	その他	回答なし
全体		426	9.2	11.3	1.6	0.7	1.4
性別	男性	170	8.2	12.4	1.2	0.0	1.2
	女性	242	9.9	9.9	2.1	1.2	1.2
	無回答	14	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	7.7	1.9	0.0	1.9	0.0
	30～39歳	58	6.9	12.1	3.4	1.7	0.0
	40～49歳	51	7.8	13.7	2.0	2.0	0.0
	50～59歳	73	9.6	8.2	1.4	0.0	2.7
	60～69歳	133	9.8	11.3	1.5	0.0	3.0
	70歳以上	56	12.5	19.6	1.8	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	8.9	9.7	1.2	0.8	1.5
	村松地区	119	7.6	13.4	2.5	0.8	0.8
	無回答	48	14.6	14.6	2.1	0.0	2.1
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	15	20.0	26.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	28	3.6	14.3	3.6	0.0	3.6
	60～69歳	58	5.2	8.6	0.0	0.0	1.7
	70歳以上	27	11.1	18.5	3.7	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	10.3	0.0	0.0	3.4	0.0
	30～39歳	43	2.3	7.0	4.7	2.3	0.0
	40～49歳	31	3.2	16.1	3.2	3.2	0.0
	50～59歳	44	13.6	4.5	0.0	0.0	2.3
	60～69歳	69	13.0	13.0	2.9	0.0	2.9
	70歳以上	25	16.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 4. 高齢者の人権について

### (1) 高齢者の人権に対する問題意識について



#### 【全体結果】

「働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと」(40.1%)が最も高く、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害が多いこと」(37.3%)、「病院や福祉施設での不十分な対応や虐待があること」(28.9%)が続いている。

### 【性別】

「働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと」は男性（40.0%）、女性（40.5%）ともに4割となっている。

「高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見等を尊重しないこと」（男性24.7%、女性19.0%）は男性の方が5ポイントほど高くなっている。

「病院や福祉施設での不十分な対応や虐待があること」（男性25.3%、女性30.6%）、「家庭内での虐待や介護放棄等があること」（男性11.2%、女性16.9%）は、いずれも女性の方が5ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと」は50代（49.3%）、60代（43.6%）で4割を超えている。

「悪徳商法や振り込め詐欺の被害が多いこと」は18～29歳（42.3%）、70歳以上（48.2%）で4割を超えている。

「病院や福祉施設での不十分な対応や虐待があること」は18～29歳（48.1%）で4割を超えている。

### 【地域別】

「働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと」は、村松地区（43.7%）の方が五泉地区（38.6%）よりも5ポイントほど高くなっている。

「悪徳商法や振り込め詐欺の被害が多いこと」は、五泉地区（40.9%）の方が村松地区（30.3%）よりも10ポイントほど高くなっている。

## 高齢者の人権に対する問題意識について①

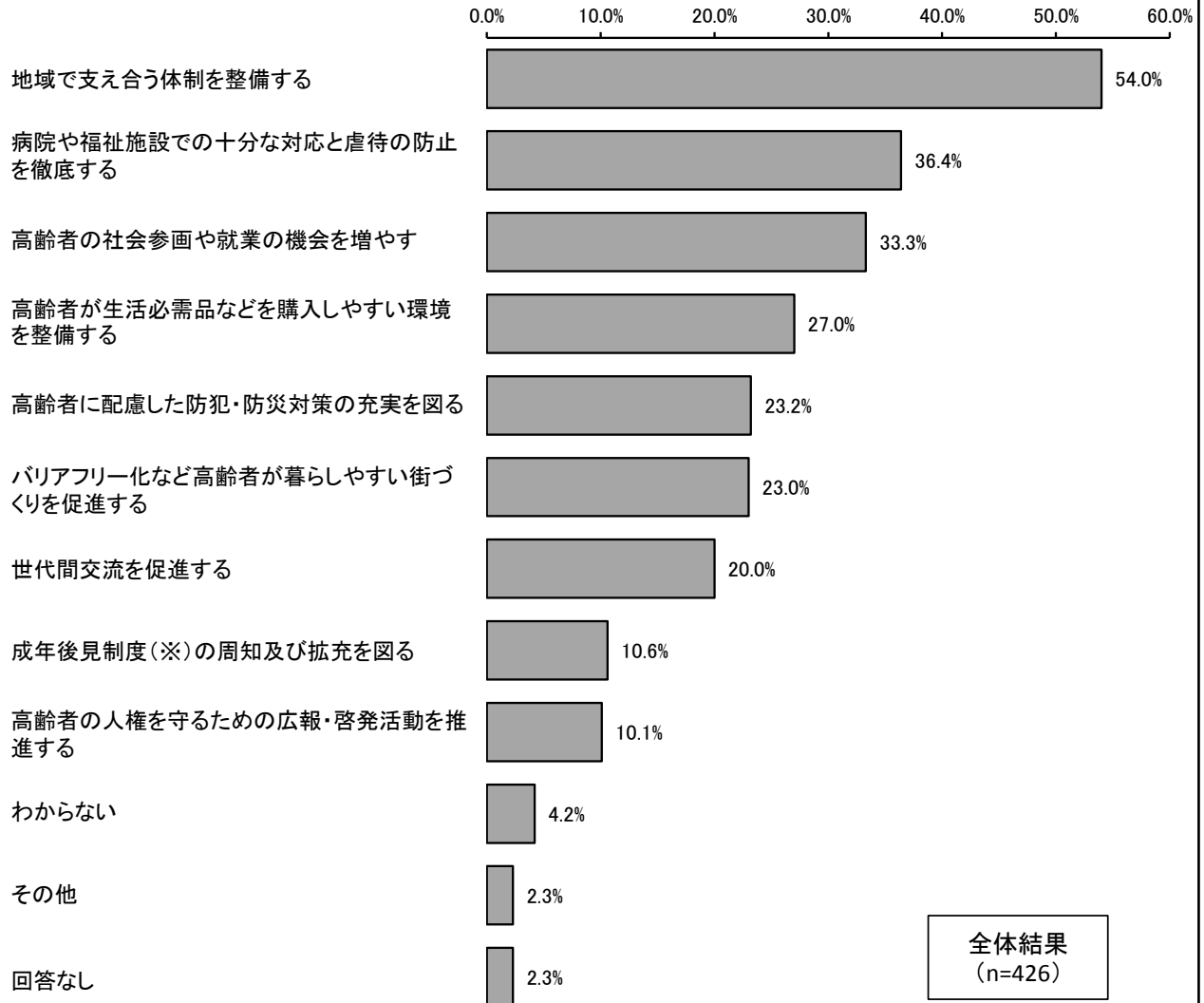
		合 計	働ける能力を 発揮する機会が 少ないこと	悪徳商法や振り込め 詐欺の被害が多いこと	道路の段差解消など高 齢者が暮らしやすい街 づくりが進んでいない こと	高齢者にとって買い 物が困難な状況である こと	高齢者を邪魔者扱い し、高齢者の意見等を 尊重しないこと	病院や福祉施設での不 十分な対応や虐待があ ること	認知症高齢者に対する 虐待など不当な扱いを 受けること
全 体		426	40.1	37.3	16.9	24.6	21.4	28.9	22.8
性 別	男 性	170	40.0	37.1	16.5	24.1	24.7	25.3	20.6
	女 性	242	40.5	37.2	17.8	24.4	19.0	30.6	24.4
	無回答	14	35.7	42.9	7.1	35.7	21.4	42.9	21.4
年 齢 別	18～29歳	52	26.9	42.3	19.2	17.3	26.9	48.1	21.2
	30～39歳	58	37.9	31.0	17.2	20.7	27.6	36.2	29.3
	40～49歳	51	37.3	33.3	11.8	21.6	15.7	29.4	25.5
	50～59歳	73	49.3	38.4	20.5	23.3	12.3	21.9	24.7
	60～69歳	133	43.6	33.1	14.3	26.3	23.3	27.1	18.0
	70歳以上	56	39.3	48.2	21.4	37.5	19.6	16.1	23.2
	無回答	3	0.0	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3
地 域 別	五泉地区	259	38.6	40.9	19.7	22.8	21.6	30.5	25.5
	村松地区	119	43.7	30.3	12.6	31.1	16.8	22.7	18.5
	無回答	48	39.6	35.4	12.5	18.8	31.3	35.4	18.8
性 別・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	21.7	43.5	13.0	13.0	21.7	47.8	13.0
	30～39歳	15	46.7	20.0	6.7	20.0	40.0	26.7	33.3
	40～49歳	19	26.3	42.1	5.3	15.8	21.1	21.1	21.1
	50～59歳	28	57.1	42.9	32.1	25.0	17.9	14.3	14.3
	60～69歳	58	39.7	29.3	17.2	22.4	31.0	29.3	25.9
	70歳以上	27	44.4	48.1	14.8	44.4	14.8	11.1	14.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	31.0	41.4	24.1	20.7	31.0	48.3	27.6
	30～39歳	43	34.9	34.9	20.9	20.9	23.3	39.5	27.9
	40～49歳	31	41.9	29.0	16.1	25.8	9.7	35.5	29.0
	50～59歳	44	43.2	36.4	13.6	22.7	9.1	25.0	29.5
	60～69歳	69	46.4	37.7	11.6	27.5	17.4	24.6	13.0
	70歳以上	25	40.0	44.0	32.0	28.0	28.0	16.0	32.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		244	29.9	41.0	18.0	27.0	14.3	25.0	14.3

## 高齢者の人権に対する問題意識について②

		合計	家庭内での虐待や介護放棄等があること	生活情報などが一人暮らしの高齢者に十分伝わらないこと	わからない	その他	高齢者の人権に問題はないと思う	回答なし
全体		426	14.6	25.4	4.5	0.9	1.9	2.1
性別	男性	170	11.2	25.9	3.5	0.0	4.1	1.8
	女性	242	16.9	24.8	5.0	1.7	0.4	2.5
	無回答	14	14.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳	52	15.4	15.4	0.0	0.0	3.8	0.0
	30～39歳	58	13.8	20.7	6.9	0.0	3.4	0.0
	40～49歳	51	15.7	27.5	3.9	3.9	3.9	0.0
	50～59歳	73	15.1	27.4	6.8	1.4	0.0	4.1
	60～69歳	133	18.0	28.6	3.0	0.8	0.0	4.5
	70歳以上	56	5.4	25.0	7.1	0.0	3.6	0.0
	無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	16.6	21.6	3.5	0.8	1.2	2.7
	村松地区	119	12.6	29.4	5.0	0.8	4.2	1.7
	無回答	48	8.3	35.4	8.3	2.1	0.0	0.0
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	8.7	17.4	0.0	0.0	8.7	0.0
	30～39歳	15	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	40～49歳	19	5.3	36.8	10.5	0.0	10.5	0.0
	50～59歳	28	7.1	28.6	7.1	0.0	0.0	3.6
	60～69歳	58	20.7	24.1	1.7	0.0	0.0	3.4
	70歳以上	27	3.7	37.0	3.7	0.0	3.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	20.7	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	43	16.3	25.6	9.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	19.4	22.6	0.0	6.5	0.0	0.0
	50～59歳	44	20.5	27.3	6.8	2.3	0.0	4.5
	60～69歳	69	17.4	30.4	2.9	1.4	0.0	5.8
	70歳以上	25	4.0	16.0	12.0	0.0	4.0	0.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		244	9.4	11.1	-	2.9	-	7.8

## (2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 14. 高齢者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



※成年後見制度：認知症や知的障がい、精神障がいなどにより物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るため、援助者（「成年後見人」等）を選んで法律的に支援する制度のこと。

### 【全体結果】

「地域で支え合う体制を整備する」（54.0%）が最も高く、「病院や福祉施設での十分な対応と虐待の防止を徹底する」（36.4%）、「高齢者の社会参画や就業の機会を増やす」（33.3%）が続いている。



### 【性別】

「地域で支え合う体制を整備する」は男性（57.6%）、女性（50.8%）いずれも 5 割を超えているが、男性の方が 6 ポイントほど高くなっている。

「世代間交流を促進する」では、女性（23.1%）の方が男性（14.7%）よりも 8 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「地域で支え合う体制を整備する」は、いずれの年代でも高くなっているが、70 歳以上（60.7%）で最も高く 6 割を超え、60 代（59.4%）、50 代（57.5%）で 5 割を超えている。

「病院や福祉施設での十分な対応と虐待の防止を徹底する」は、30 代以上では 3 割となっているが、18～29 歳（44.2%）では 4 割を超えている。

### 【地域別】

「地域で支え合う体制を整備する」（五泉地区 57.5%、村松地区 48.7%）、「高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実を図る」（五泉地区 25.5%、村松地区 16.8%）は、ともに五泉地区の方が 8 ポイントほど高くなっている。

「高齢者が生活必需品などを購入しやすい環境を整備する」は、村松地区（32.8%）の方が五泉地区（25.1%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。

## 高齢者の人権を守るために必要なこと①

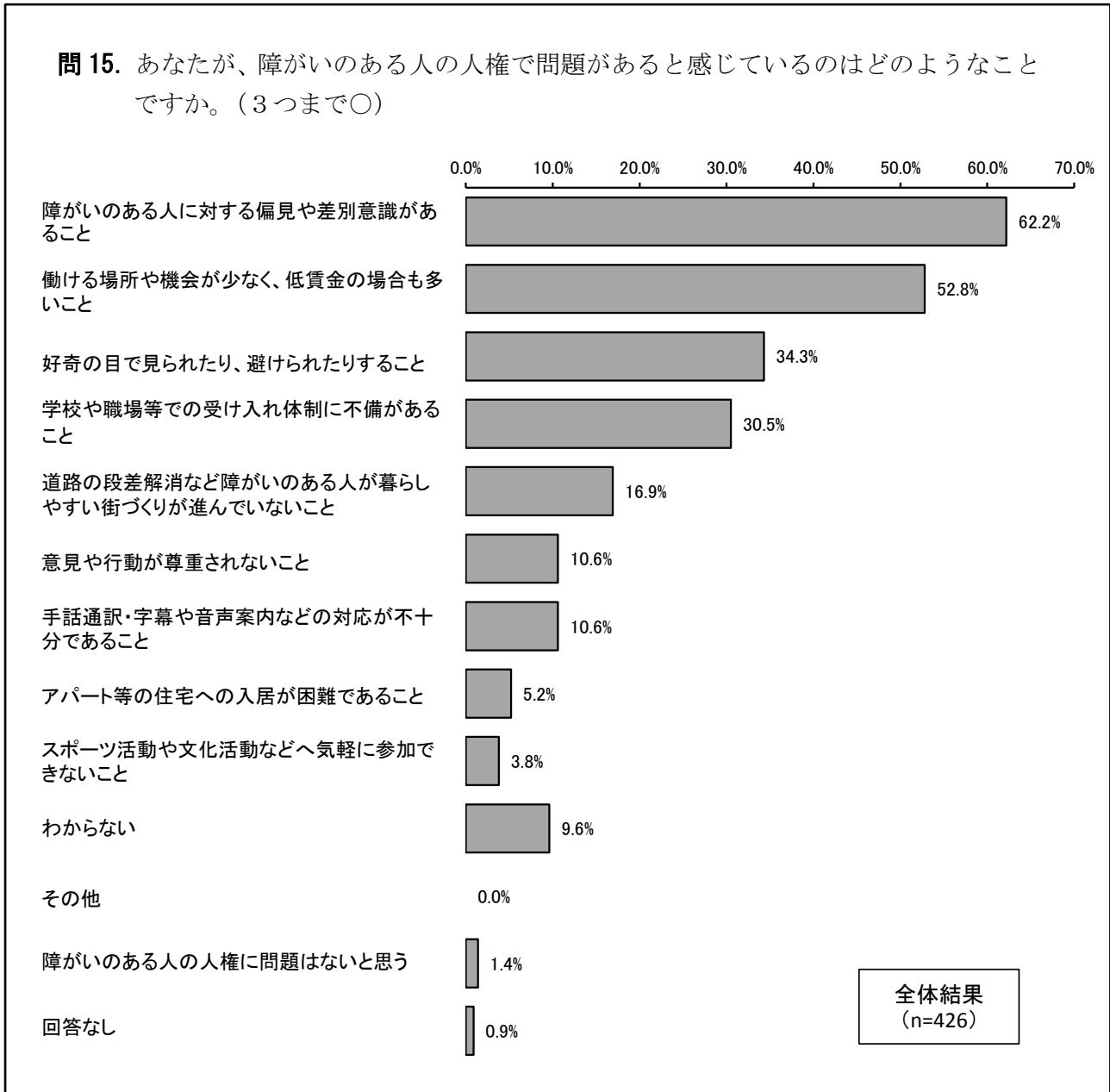
		合計	高齢者の社会参画や就業の機会を増やす	地域で支え合う体制を整備する	高齢者が暮らしやすい街づくりを促進する	バリアフリー化など	高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実を図る	高齢者が生活必需品などを購入しやすい環境を整備する	病院や福祉施設での十分な対応と虐待の防止を徹底する	成年後見制度の周知及び拡充を図る
全体		426	33.3	54.0	23.0	23.2	27.0	36.4	10.6	
性別	男性	170	35.9	57.6	23.5	20.6	27.6	35.3	10.6	
	女性	242	31.8	50.8	23.1	25.2	26.4	36.8	10.7	
	無回答	14	28.6	64.3	14.3	21.4	28.6	42.9	7.1	
年齢別	18～29歳	52	23.1	48.1	36.5	21.2	19.2	44.2	9.6	
	30～39歳	58	34.5	48.3	27.6	17.2	25.9	37.9	15.5	
	40～49歳	51	35.3	39.2	15.7	31.4	23.5	35.3	13.7	
	50～59歳	73	37.0	57.5	24.7	27.4	27.4	37.0	15.1	
	60～69歳	133	36.8	59.4	18.8	15.0	27.1	34.6	4.5	
	70歳以上	56	28.6	60.7	21.4	37.5	35.7	30.4	12.5	
	無回答	3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	
地域別	五泉地区	259	32.4	57.5	24.7	25.5	25.1	34.7	11.2	
	村松地区	119	37.0	48.7	17.6	16.8	32.8	33.6	10.9	
	無回答	48	29.2	47.9	27.1	27.1	22.9	52.1	6.3	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	21.7	52.2	39.1	17.4	13.0	34.8	17.4	
	30～39歳	15	46.7	26.7	13.3	26.7	26.7	33.3	26.7	
	40～49歳	19	26.3	36.8	15.8	21.1	26.3	31.6	15.8	
	50～59歳	28	42.9	75.0	21.4	28.6	28.6	28.6	7.1	
	60～69歳	58	39.7	63.8	22.4	10.3	31.0	41.4	6.9	
	70歳以上	27	33.3	63.0	25.9	33.3	33.3	33.3	3.7	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	24.1	44.8	34.5	24.1	24.1	51.7	3.4	
	30～39歳	43	30.2	55.8	32.6	14.0	25.6	39.5	11.6	
	40～49歳	31	38.7	38.7	16.1	38.7	22.6	38.7	12.9	
	50～59歳	44	34.1	47.7	27.3	27.3	27.3	40.9	20.5	
	60～69歳	69	33.3	56.5	14.5	20.3	23.2	29.0	1.4	
	70歳以上	25	28.0	52.0	20.0	40.0	40.0	24.0	24.0	
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	

## 高齢者の人権を守るために必要なこと②

		合 計	世 代 間 交 流 を 促 進 す る	高 齢 者 の 人 権 を 守 る た め の 広 報 ・ 啓 発 活 動 を 推 進 す る	わ か ら な い	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	20.0	10.1	4.2	2.3	2.3
性 別	男 性	170	14.7	11.8	2.4	2.9	2.4
	女 性	242	23.1	8.7	5.4	2.1	2.5
	無回答	14	28.6	14.3	7.1	0.0	0.0
年 齢 別	18～29歳	52	17.3	7.7	3.8	5.8	1.9
	30～39歳	58	20.7	6.9	5.2	3.4	0.0
	40～49歳	51	23.5	9.8	3.9	3.9	0.0
	50～59歳	73	11.0	4.1	2.7	4.1	2.7
	60～69歳	133	25.6	11.3	3.8	0.0	5.3
	70歳以上	56	16.1	21.4	7.1	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	21.2	11.2	3.9	2.7	2.7
	村松地区	119	19.3	7.6	4.2	2.5	1.7
	無回答	48	14.6	10.4	6.3	0.0	2.1
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	21.7	0.0	0.0	4.3	4.3
	30～39歳	15	6.7	13.3	0.0	13.3	0.0
	40～49歳	19	21.1	15.8	5.3	5.3	0.0
	50～59歳	28	10.7	3.6	3.6	3.6	3.6
	60～69歳	58	13.8	10.3	1.7	0.0	3.4
	70歳以上	27	14.8	29.6	3.7	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	13.8	13.8	6.9	6.9	0.0
	30～39歳	43	25.6	4.7	7.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	22.6	6.5	3.2	3.2	0.0
	50～59歳	44	11.4	4.5	2.3	4.5	2.3
	60～69歳	69	36.2	11.6	4.3	0.0	7.2
	70歳以上	25	16.0	12.0	12.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 5. 障がいのある人の人権について

### (1) 障がいのある人の人権に対する問題意識について



#### 【全体結果】

「障がいのある人に対する偏見や差別意識があること」(62.2%)が最も高く、「働ける場所や機会が少なく、低賃金の場合も多いこと」(52.8%)、「好奇の目で見られたり、避けられたりすること」(34.3%)が続いている。

### 【性別】

「障がいのある人に対する偏見や差別意識があること」（男性 61.8%、女性 62.4%）は、男女ともに 6 割を超えている。

「働ける場所や機会が少なく、低賃金の場合も多いこと」は、男性（56.5%）の方が女性（49.6%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「障がいのある人に対する偏見や差別意識があること」は、18 歳～60 代で 6 割を超えているが、特に 50 代（72.6%）では 7 割を超えている。

「働ける場所や機会が少なく、低賃金の場合も多いこと」は、30 代（60.3%）が最も高く、6 割を超えている。

「好奇の目で見られたり、避けられたりすること」は、18 歳～29 歳（40.4%）、30 代（44.8%）で 4 割を超えている。

### 【地域別】

各地区とも、「障がいのある人に対する偏見や差別意識があること」（五泉地区 64.5%、村松地区 60.5%）が最も高い。

「好奇の目で見られたり、避けられたりすること」は五泉地区（36.3%）の方が村松地区（29.4%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。

「道路の段差解消など障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいないこと」は五泉地区（18.5%）の方が村松地区（12.6%）よりも 6 ポイントほど高くなっている。

障がいのある人の人権に対する問題意識について①

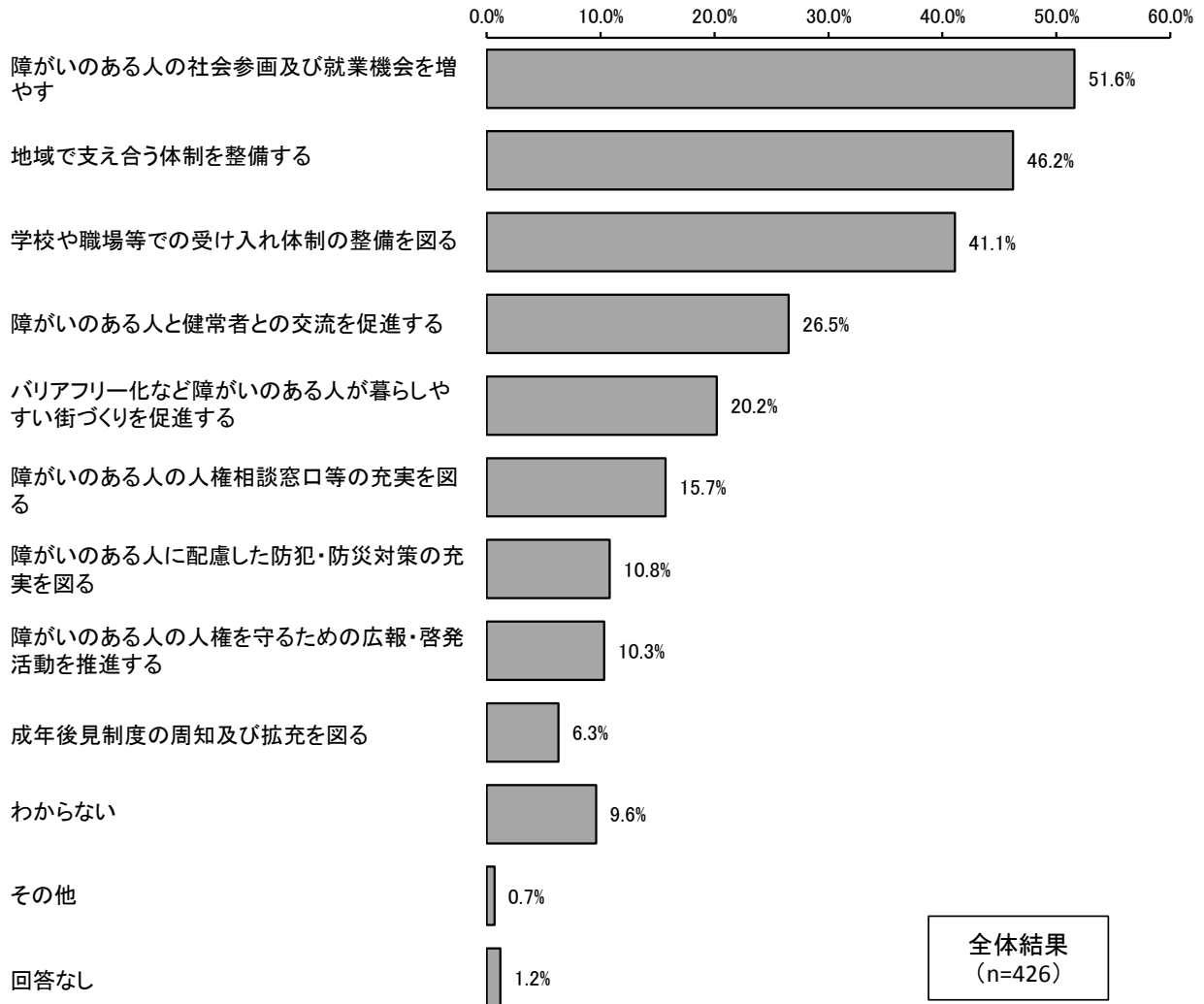
		合計	多く働く機会が少 なく、低賃金の場 合も	障がいの差別に 対する偏見や差別 意識があること	道路の段差解消な ど障がいのある人 が暮らしにくいこ と	学校や職場等での 体制に不備がある こと	好奇心で見られ たり避けられたり すること	スポーツ活動や文 化活動など気軽に 参加できないこと	意見や行動が尊重 されないこと
全体		426	52.8	62.2	16.9	30.5	34.3	3.8	10.6
性別	男性	170	56.5	61.8	17.1	32.4	33.5	4.1	10.6
	女性	242	49.6	62.4	17.4	29.3	35.1	2.9	10.3
	無回答	14	64.3	64.3	7.1	28.6	28.6	14.3	14.3
年齢別	18～29歳	52	28.8	63.5	13.5	23.1	40.4	5.8	11.5
	30～39歳	58	60.3	63.8	15.5	32.8	44.8	0.0	8.6
	40～49歳	51	49.0	66.7	15.7	31.4	31.4	3.9	9.8
	50～59歳	73	56.2	72.6	19.2	20.5	38.4	6.8	8.2
	60～69歳	133	59.4	60.2	18.0	39.1	28.6	3.0	11.3
	70歳以上	56	51.8	46.4	17.9	26.8	26.8	1.8	14.3
	無回答	3	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	56.0	64.5	18.5	30.1	36.3	3.5	10.4
	村松地区	119	51.3	60.5	12.6	31.1	29.4	1.7	10.1
	無回答	48	39.6	54.2	18.8	31.3	35.4	10.4	12.5
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	39.1	17.4	26.1	39.1	8.7	4.3
	30～39歳	15	60.0	60.0	20.0	26.7	40.0	0.0	13.3
	40～49歳	19	47.4	68.4	10.5	26.3	36.8	0.0	15.8
	50～59歳	28	64.3	75.0	21.4	17.9	39.3	10.7	14.3
	60～69歳	58	63.8	67.2	17.2	48.3	29.3	3.4	8.6
	70歳以上	27	59.3	51.9	14.8	25.9	25.9	0.0	11.1
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	27.6	82.8	10.3	20.7	41.4	3.4	17.2
	30～39歳	43	60.5	65.1	14.0	34.9	46.5	0.0	7.0
	40～49歳	31	48.4	64.5	19.4	35.5	25.8	6.5	6.5
	50～59歳	44	52.3	70.5	18.2	20.5	36.4	4.5	4.5
	60～69歳	69	55.1	55.1	18.8	31.9	30.4	2.9	14.5
	70歳以上	25	40.0	36.0	24.0	28.0	28.0	0.0	12.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		279	62.7	40.9	35.8	32.3	24.0	7.9	7.5

障がいのある人の人権に対する問題意識について②

		合計	手話通訳・字幕や音声案内などの対応が十分であること	アパート等の住宅への入居が困難であること	わからない	その他	障がいのある人の人権に問題はないと思う	回答なし
全体		426	10.6	5.2	9.6	0.0	1.4	0.9
性別	男性	170	11.2	6.5	7.1	0.0	1.8	0.6
	女性	242	9.9	4.1	12.0	0.0	1.2	0.8
	無回答	14	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	17.3	1.9	11.5	0.0	1.9	0.0
	30～39歳	58	13.8	6.9	3.4	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	51	9.8	2.0	7.8	0.0	3.9	0.0
	50～59歳	73	6.8	2.7	9.6	0.0	0.0	1.4
	60～69歳	133	10.5	6.0	8.3	0.0	0.0	1.5
	70歳以上	56	7.1	10.7	19.6	0.0	5.4	1.8
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	10.4	6.2	8.9	0.0	0.4	0.4
	村松地区	119	9.2	1.7	10.1	0.0	3.4	0.8
	無回答	48	14.6	8.3	12.5	0.0	2.1	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0
	30～39歳	15	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	10.5	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0
	50～59歳	28	7.1	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	58	8.6	6.9	5.2	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	27	14.8	7.4	14.8	0.0	3.7	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	17.2	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	43	14.0	7.0	4.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	9.7	0.0	9.7	0.0	3.2	0.0
	50～59歳	44	6.8	0.0	13.6	0.0	0.0	2.3
	60～69歳	69	10.1	5.8	11.6	0.0	0.0	1.4
	70歳以上	25	0.0	12.0	28.0	0.0	8.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		279	6.1	5.4	-	1.4	-	5.4

(2) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問 16. 障がいのある人の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



【全体結果】

「障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす」(51.6%)が最も高く、「地域で支え合う体制を整備する」(46.2%)、「学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る」(41.1%)と続いている。



### 【性別】

男女ともに「障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす」（男性 51.2%、女性 52.1%）と最も高くなっている。

「学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る」は、男性（42.9%）の方が女性（38.8%）よりも4ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす」では、30代（58.6%）、50代（56.2%）、60代（57.9%）、70歳以上（50.0%）で5割を超えている。

「地域で支え合う体制を整備する」では、30代（55.2%）、60代（51.9%）で5割を超えている。

「学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る」では、50代（42.5%）、60代（46.6%）で4割を超えている。

### 【地域別】

各地区とも「障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす」（五泉地区 54.1%、村松地区 52.1%）が最も高くなっている。

「バリアフリー化など障がいのある人が暮らしやすい街づくりを促進する」では、五泉地区（22.0%）の方が村松地区（15.1%）よりも7ポイントほど高くなっている。

「地域で支え合う体制を整備する」（五泉地区 47.5%、村松地区 43.7%）は五泉地区の方がやや高く、「学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る」（五泉地区 39.8%、村松地区 42.9%）では村松地区の方がやや高くなっている。

障がいのある人の人権を守るために必要なこと①

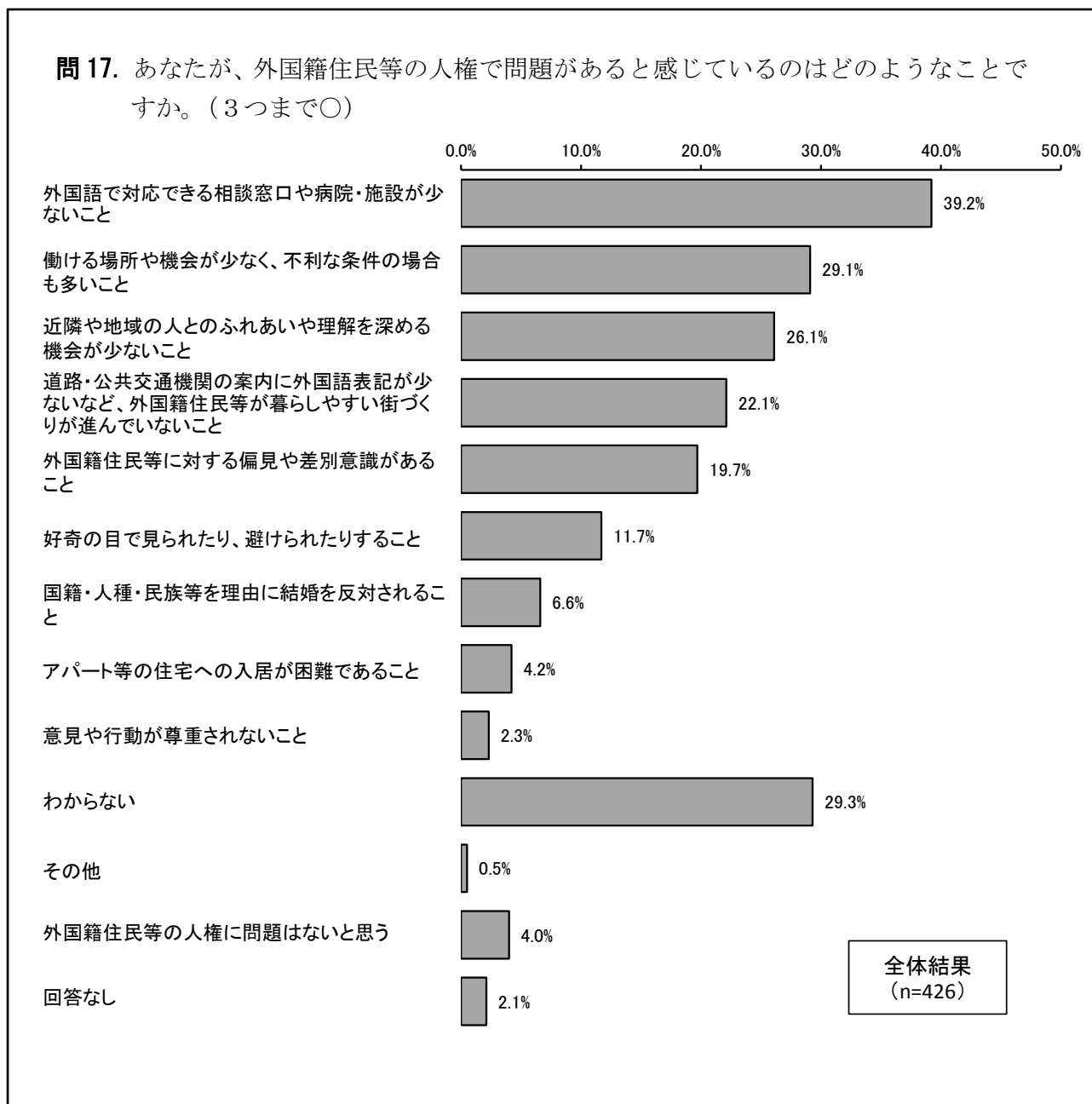
		合計	障がいの ある人の 社会 参加の 機会を 増やす	地域で 支え合 う体制 を整備 する	バリア フリー 化など 障がい のある 人が暮 らす街 づくり を促進 する	障がい のある 人に配 慮した 防犯・ 防災 対策の 充実を 図る	学校や 職場等 での受 け入れ 体制の 整備を 図る	障がい のある 人と健 常者の 交流を 促進す る	成年後 見制度 の周知 及び拡 充を図 る
全体		426	51.6	46.2	20.2	10.8	41.1	26.5	6.3
性別	男性	170	51.2	47.6	21.2	10.6	42.9	26.5	8.2
	女性	242	52.1	45.0	19.4	11.2	38.8	26.9	5.4
	無回答	14	50.0	50.0	21.4	7.1	57.1	21.4	0.0
年齢別	18～29歳	52	30.8	38.5	23.1	3.8	32.7	21.2	9.6
	30～39歳	58	58.6	55.2	15.5	6.9	37.9	36.2	6.9
	40～49歳	51	47.1	39.2	17.6	11.8	37.3	29.4	9.8
	50～59歳	73	56.2	43.8	28.8	16.4	42.5	24.7	2.7
	60～69歳	133	57.9	51.9	16.5	9.8	46.6	25.6	6.8
	70歳以上	56	50.0	39.3	21.4	14.3	39.3	23.2	3.6
	無回答	3	0.0	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	54.1	47.5	22.0	11.6	39.8	27.0	7.3
	村松地区	119	52.1	43.7	15.1	9.2	42.9	24.4	4.2
	無回答	48	37.5	45.8	22.9	10.4	43.8	29.2	6.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	26.1	26.1	4.3	34.8	17.4	13.0
	30～39歳	15	60.0	60.0	6.7	13.3	33.3	33.3	6.7
	40～49歳	19	36.8	36.8	15.8	10.5	26.3	31.6	10.5
	50～59歳	28	46.4	57.1	28.6	17.9	50.0	28.6	3.6
	60～69歳	58	63.8	55.2	19.0	10.3	51.7	25.9	10.3
	70歳以上	27	55.6	40.7	25.9	7.4	40.7	25.9	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	34.5	48.3	20.7	3.4	31.0	24.1	6.9
	30～39歳	43	58.1	53.5	18.6	4.7	39.5	37.2	7.0
	40～49歳	31	51.6	38.7	19.4	12.9	45.2	25.8	9.7
	50～59歳	44	63.6	34.1	27.3	15.9	36.4	22.7	2.3
	60～69歳	69	52.2	49.3	14.5	10.1	43.5	26.1	4.3
	70歳以上	25	44.0	40.0	20.0	24.0	28.0	20.0	4.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0

障がいのある人の人権を守るために必要なこと②

		合計	障がいのある人の人権に関する相談窓口等の充実を図る	障がいのある人の人権を守るための広報・啓発活動を進める	わからない	その他	回答なし
全体		426	15.7	10.3	9.6	0.7	1.2
性別	男性	170	14.7	11.2	7.6	0.6	1.2
	女性	242	16.5	10.3	11.6	0.8	0.8
	無回答	14	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	13.5	11.5	17.3	1.9	0.0
	30～39歳	58	17.2	6.9	3.4	1.7	0.0
	40～49歳	51	15.7	7.8	9.8	2.0	0.0
	50～59歳	73	17.8	8.2	5.5	0.0	0.0
	60～69歳	133	13.5	12.8	8.3	0.0	2.3
	70歳以上	56	19.6	12.5	17.9	0.0	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	17.0	10.4	9.3	0.8	0.4
	村松地区	119	13.4	5.0	10.9	0.8	2.5
	無回答	48	14.6	22.9	8.3	0.0	2.1
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	8.7	17.4	0.0	0.0
	30～39歳	15	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0
	50～59歳	28	14.3	7.1	3.6	0.0	0.0
	60～69歳	58	13.8	10.3	5.2	0.0	0.0
	70歳以上	27	18.5	18.5	11.1	0.0	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	10.3	13.8	17.2	3.4	0.0
	30～39歳	43	20.9	7.0	4.7	2.3	0.0
	40～49歳	31	16.1	3.2	9.7	0.0	0.0
	50～59歳	44	20.5	9.1	6.8	0.0	0.0
	60～69歳	69	13.0	15.9	11.6	0.0	2.9
	70歳以上	25	20.0	8.0	28.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 6. 外国籍住民等の人権について

### (1) 外国籍住民等の人権に対する問題意識について



#### 【全体結果】

「外国語で対応できる相談窓口や病院・施設が少ないこと」(39.2%)が最も高く、「働ける場所や機会が少なく、不利な条件の場合も多いこと」(29.1%)、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」(26.1%)が続いている。

なお、「わからない」(29.3%)との回答が、3割近くとなっている。

### 【性別】

男女ともに「外国語で対応できる相談窓口や病院・施設が少ないこと」(男性 42.4%、女性 36.0%) が最も高くなっているが、男性の方が女性よりも 6 ポイントほど高くなっている。

「好奇の目で見られたり、避けられたりすること」(男性 18.2%、女性 7.4%) では男性の方が 10 ポイントほど高くなり、また「外国籍住民等に対する偏見や差別意識があること」(男性 23.5%、女性 17.4%) は男性の方が 6 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」(男性 20.0%、女性 36.8%) では女性が 3 割を超え、男性よりも 16 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「外国語で対応できる相談窓口や病院・施設が少ないこと」では 30 代 (55.2%) が最も高く 5 割を超えており、18~29 歳 (40.4%)、50 代 (42.5%) は 4 割を超えている。

「働ける場所や機会が少なく、不利な条件の場合も多いこと」では 30 代 (36.2%)、50 代 (37.0%) で 3 割を超え、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」では 60 代 (38.3%) で 3 割を超えている。

「国籍・人種・民族等を理由に結婚を反対されること」では、30 代以降は 1 割に満たないが、18~29 歳 (21.2%) では 2 割を超えている。

「わからない」は、70 歳以上 (44.6%) で 4 割を超え、40 代 (37.3%)、50 代 (30.1%)、60 代 (30.1%) で 3 割を超えている。

### 【地域別】

「働ける場所や機会が少なく、不利な条件の場合も多いこと」では、五泉地区 (31.7%) の方が村松地区 (24.4%) よりも 7 ポイントほど高くなっている。

外国籍住民等の人権に対する問題意識について①

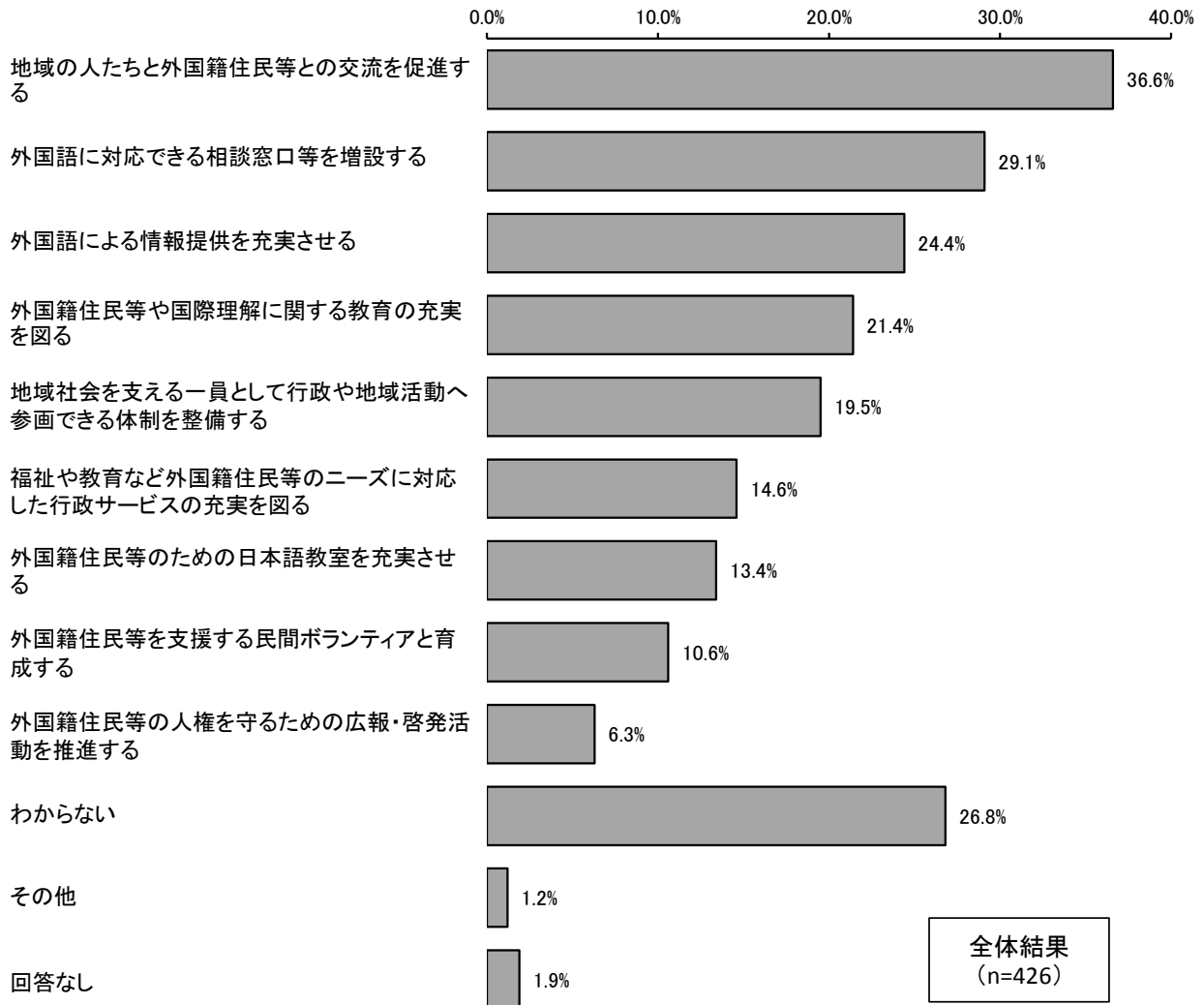
		合計	働ける場所や機会が少なく、 不利な条件の場合も多いこと	外国語で対応できる相談窓口 や病院・施設が少ないこと	道路・公共交通機関の案内が 外国人等が暮らしやすい街 づくりが進んでいないこと	外国籍住民等に対する偏見や 差別意識があること	好奇の目で見られたり、避け られたりすること	近隣や地域の人のふれあい や理解を深める機会が少ない こと	意見や行動が尊重されないこ と
全体		426	29.1	39.2	22.1	19.7	11.7	26.1	2.3
性別	男性	170	28.2	42.4	24.7	23.5	18.2	25.3	2.9
	女性	242	28.5	36.0	19.8	17.4	7.4	26.4	2.1
	無回答	14	50.0	57.1	28.6	14.3	7.1	28.6	0.0
年齢別	18～29歳	52	28.8	40.4	23.1	13.5	17.3	19.2	1.9
	30～39歳	58	36.2	55.2	25.9	24.1	12.1	25.9	1.7
	40～49歳	51	21.6	25.5	19.6	23.5	7.8	15.7	0.0
	50～59歳	73	37.0	42.5	21.9	26.0	11.0	23.3	2.7
	60～69歳	133	29.3	39.1	23.3	13.5	10.5	38.3	3.0
	70歳以上	56	17.9	30.4	16.1	25.0	12.5	16.1	3.6
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
地域別	五泉地区	259	31.7	39.8	23.9	21.6	11.6	26.3	1.9
	村松地区	119	24.4	39.5	20.2	18.5	11.8	26.1	2.5
	無回答	48	27.1	35.4	16.7	12.5	12.5	25.0	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	43.5	26.1	13.0	30.4	21.7	4.3
	30～39歳	15	20.0	53.3	26.7	13.3	6.7	20.0	0.0
	40～49歳	19	31.6	21.1	10.5	26.3	21.1	10.5	0.0
	50～59歳	28	42.9	53.6	35.7	28.6	25.0	25.0	3.6
	60～69歳	58	29.3	41.4	25.9	20.7	10.3	37.9	1.7
	70歳以上	27	14.8	40.7	18.5	37.0	22.2	14.8	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	31.0	37.9	20.7	13.8	6.9	17.2	0.0
	30～39歳	43	41.9	55.8	25.6	27.9	14.0	27.9	2.3
	40～49歳	31	12.9	25.8	25.8	19.4	0.0	19.4	0.0
	50～59歳	44	34.1	36.4	13.6	25.0	2.3	22.7	2.3
	60～69歳	69	27.5	34.8	20.3	8.7	11.6	37.7	4.3
	70歳以上	25	16.0	16.0	12.0	12.0	4.0	16.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		124	37.1	45.2	44.4	17.7	12.1	31.5	6.5

外国籍住民等の人権に対する問題意識について②

		合計	国籍・人種・民族等を理由に結婚を反対されること	アパート等の住宅への入居が困難であること	わからない	その他	外国籍住民等の人権に問題はないと思う	回答なし
全体		426	6.6	4.2	29.3	0.5	4.0	2.1
性別	男性	170	7.6	4.7	20.0	0.6	7.1	2.9
	女性	242	5.8	3.7	36.8	0.4	2.1	1.2
	無回答	14	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	21.2	0.0	19.2	1.9	1.9	1.9
	30～39歳	58	8.6	5.2	15.5	1.7	1.7	0.0
	40～49歳	51	3.9	0.0	37.3	0.0	13.7	0.0
	50～59歳	73	5.5	2.7	30.1	0.0	2.7	0.0
	60～69歳	133	3.8	6.0	30.1	0.0	1.5	4.5
	70歳以上	56	1.8	8.9	44.6	0.0	7.1	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	6.6	4.2	28.6	0.8	2.7	1.9
	村松地区	119	5.0	3.4	28.6	0.0	6.7	1.7
	無回答	48	10.4	6.3	35.4	0.0	4.2	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3
	30～39歳	15	6.7	6.7	26.7	6.7	0.0	0.0
	40～49歳	19	5.3	0.0	31.6	0.0	21.1	0.0
	50～59歳	28	3.6	3.6	14.3	0.0	7.1	0.0
	60～69歳	58	5.2	6.9	24.1	0.0	3.4	3.4
	70歳以上	27	3.7	7.4	18.5	0.0	14.8	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	17.2	0.0	31.0	3.4	3.4	0.0
	30～39歳	43	9.3	4.7	11.6	0.0	2.3	0.0
	40～49歳	31	3.2	0.0	41.9	0.0	9.7	0.0
	50～59歳	44	4.5	2.3	40.9	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	69	2.9	5.8	36.2	0.0	0.0	4.3
	70歳以上	25	0.0	8.0	76.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		124	-	5.6	-	0.8	-	3.2

## (2) 外国籍住民の人権を守るために必要なこと

問 18. 外国籍住民等の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



### 【全体結果】

「地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する」(36.6%)が最も高く、「外国語に対応できる相談窓口等を増設する」(29.1%)、「外国語による情報提供を充実させる」(24.4%)と続いている。

なお、「わからない」との回答は26.8%となり、2割を超えている。



### 【性別】

「地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する」（男性 40.0%、女性 33.5%）、「外国語に対応できる相談窓口等を増設する」（男性 32.4%、女性 26.4%）は、ともに男性の方が 6 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」（男性 21.2%、女性 31.8%）は女性の方が 10 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する」は 70 歳以上（41.1%）が最も高く、4 割を超えている。

「外国語による情報提供を充実させる」では 30 代（41.4%）が最も高く、4 割を超えている。

なお、「わからない」は、40 代（37.3%）、70 歳以上（37.5%）で 3 割を超えている。

### 【地域別】

各地区ともに「地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する」（五泉地区 38.2%、村松地区 33.6%）が最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区より 4 ポイントほど高くなっている。

「外国籍住民等や国際理解に関する教育の充実を図る」は、五泉地区（24.3%）の方が村松地区（17.6%）よりも 6 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」は、村松地区（30.3%）の方が五泉地区（24.7%）よりも 5 ポイントほど高くなっている。

外国籍住民の人権を守るために必要なこと①

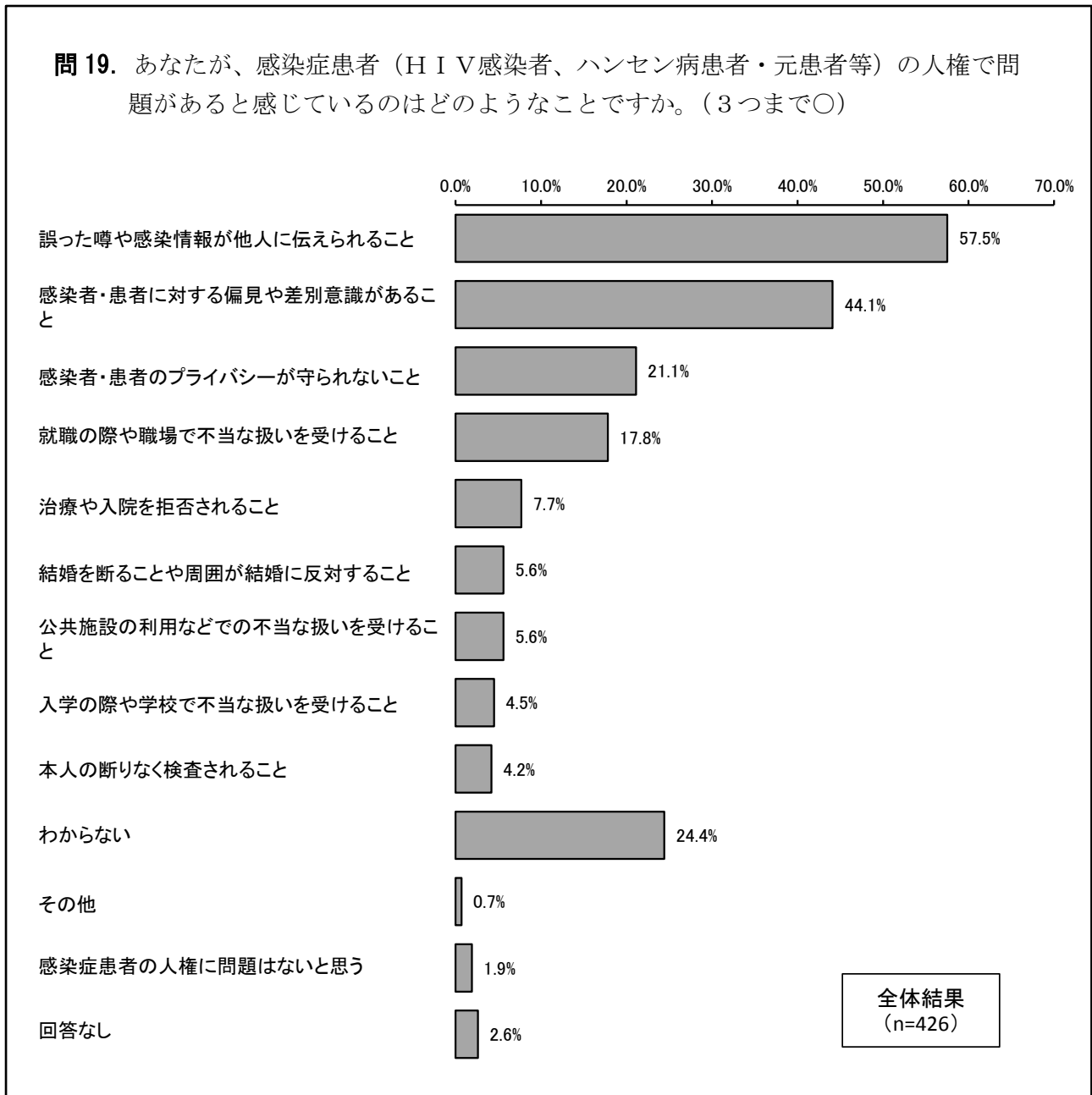
		合計	地域の住民等との交流を促進	外国籍住民等や国際理解を図る	外国語による情報提供を充実させる	外国語に対応できる相談窓口等を増設する	地域社会を支える一員として行政や地域活動を整備する	福祉や教育など外国籍住民等のニーズに対応した行政サービスの充実を図る	外国籍住民等を支援する民間ボランティアを育成する
全体		426	36.6	21.4	24.4	29.1	19.5	14.6	10.6
性別	男性	170	40.0	21.8	23.5	32.4	18.8	17.6	10.6
	女性	242	33.5	21.5	25.6	26.4	19.0	12.0	9.5
	無回答	14	50.0	14.3	14.3	35.7	35.7	21.4	28.6
年齢別	18～29歳	52	30.8	28.8	34.6	25.0	13.5	15.4	3.8
	30～39歳	58	37.9	34.5	41.4	29.3	24.1	12.1	5.2
	40～49歳	51	27.5	15.7	23.5	31.4	13.7	7.8	3.9
	50～59歳	73	37.0	24.7	23.3	32.9	19.2	16.4	12.3
	60～69歳	133	38.3	20.3	18.8	24.8	23.3	18.8	15.0
	70歳以上	56	41.1	5.4	12.5	35.7	14.3	10.7	16.1
	無回答	3	100.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	38.2	24.3	23.6	29.7	20.5	14.7	10.8
	村松地区	119	33.6	17.6	27.7	27.7	16.0	14.3	10.1
	無回答	48	35.4	14.6	20.8	29.2	22.9	14.6	10.4
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	30.4	43.5	30.4	8.7	13.0	8.7
	30～39歳	15	0.0	20.0	26.7	40.0	13.3	13.3	6.7
	40～49歳	19	31.6	15.8	10.5	26.3	15.8	5.3	5.3
	50～59歳	28	53.6	28.6	28.6	35.7	17.9	21.4	7.1
	60～69歳	58	46.6	22.4	20.7	31.0	24.1	25.9	15.5
	70歳以上	27	48.1	11.1	14.8	33.3	22.2	11.1	11.1
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	31.0	27.6	27.6	20.7	17.2	17.2	0.0
	30～39歳	43	51.2	39.5	46.5	25.6	27.9	11.6	4.7
	40～49歳	31	25.8	16.1	29.0	32.3	12.9	6.5	3.2
	50～59歳	44	27.3	22.7	20.5	31.8	18.2	13.6	15.9
	60～69歳	69	31.9	17.4	18.8	18.8	21.7	14.5	13.0
	70歳以上	25	28.0	0.0	8.0	40.0	8.0	4.0	16.0
	無回答	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 外国籍住民の人権を守るために必要なこと②

		合計	外国籍住民等のための日本語教室を充実させる	外国籍住民等の人権を守るための広報・啓発活動を推進する	わからない	その他	回答なし
全体		426	13.4	6.3	26.8	1.2	1.9
性別	男性	170	17.1	5.9	21.2	2.4	2.4
	女性	242	11.6	7.0	31.8	0.4	1.2
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	23.1	7.7	19.2	3.8	1.9
	30～39歳	58	13.8	1.7	17.2	1.7	0.0
	40～49歳	51	5.9	5.9	37.3	2.0	0.0
	50～59歳	73	15.1	8.2	26.0	1.4	0.0
	60～69歳	133	12.0	4.5	26.3	0.0	4.5
	70歳以上	56	10.7	12.5	37.5	0.0	1.8
	無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	14.3	6.9	24.7	1.5	1.2
	村松地区	119	9.2	4.2	30.3	0.8	2.5
	無回答	48	18.8	8.3	29.2	0.0	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	4.3	8.7	4.3	4.3
	30～39歳	15	26.7	0.0	26.7	6.7	0.0
	40～49歳	19	5.3	5.3	42.1	5.3	0.0
	50～59歳	28	17.9	7.1	17.9	3.6	0.0
	60～69歳	58	12.1	3.4	17.2	0.0	3.4
	70歳以上	27	18.5	14.8	25.9	0.0	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	17.2	10.3	27.6	3.4	0.0
	30～39歳	43	9.3	2.3	14.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	6.5	6.5	35.5	0.0	0.0
	50～59歳	44	13.6	9.1	31.8	0.0	0.0
	60～69歳	69	13.0	5.8	34.8	0.0	4.3
	70歳以上	25	4.0	12.0	56.0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 7. 感染症患者の人権について

### (1) 感染症患者の人権に対する問題意識について



#### 【全体結果】

問題意識については、「誤った噂や感染情報が他人に伝えられること」(57.5%)が最も高く、「感染者・患者に対する偏見や差別意識があること」(44.1%)、「感染者・患者のプライバシーが守られないこと」(21.1%)が続いている。

なお、「わからない」との回答が24.4%と2割を超えている。

### 【性別】

男女とも「誤った噂や感染情報が他人に伝えられること」（男性 52.9%、女性 60.3%）が最も高くなっているが、女性の方が男性よりも 7 ポイントほど高くなっている。

「感染症・患者のプライバシーが守られないこと」は、男性（24.7%）の方が女性（19.0%）よりも 5 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」（男性 24.1%、女性 25.6%）は、男女とも 2 割を超えている。

### 【年齢別】

「誤った噂や感染情報が他人に伝えられること」は各年代とも高くなっているが、特に 30 代（67.2%）で最も高く、18～29 歳（61.5%）、50 代（60.3%）で 6 割を超えている。

「感染者・患者に対する偏見や差別意識があること」では 30 代（50.0%）で最も高く 5 割となり、18～29 歳（42.3%）、50 代（47.9%）、60 代（45.1%）では 4 割を超えている。

なお、「わからない」は、18 歳～30 代では 2 割に満たないが、40 代以降で 2 割～3 割弱となっている。

### 【地域別】

地区による顕著な差は見られない。

両地区とも、「誤った噂や感染情報が他人に伝えられること」（五泉地区 59.1%、村松地区 57.1%）が最も高く、続いて「感染者・患者に対する偏見や差別意識があること」（五泉地区 45.6%、村松地区 42.9%）となっている。

なお、「わからない」は五泉地区（23.9%）、村松地区（26.1%）ともに 2 割を超えている。

感染症患者の人権に対する問題意識について①

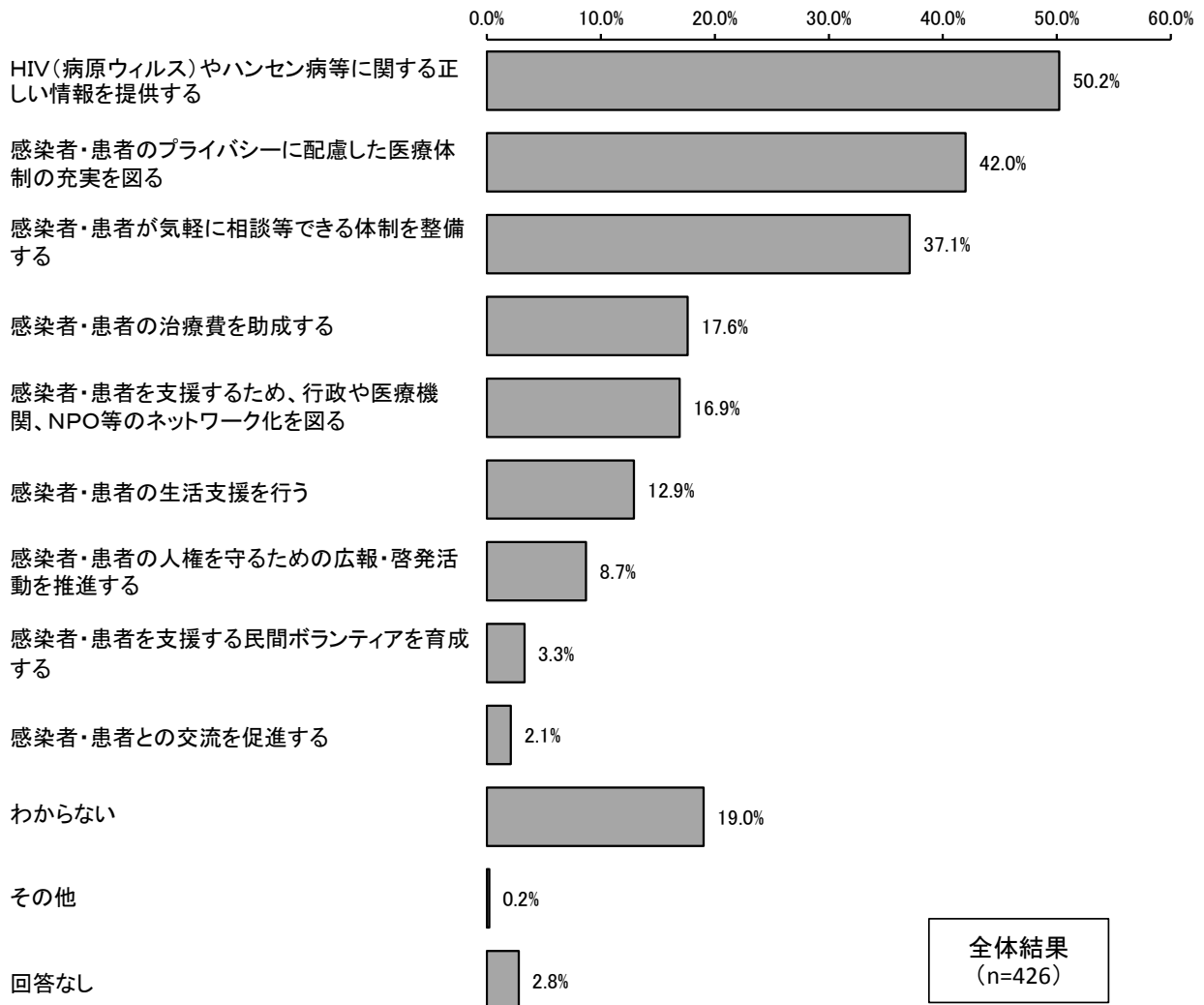
		合計	感染者・患者のプライバシーが守られないこと	誤った噂や感染情報が他人に伝えられること	就職の際や職場で不当な扱いを受けること	入学の際や学校で不当な扱いを受けること	治療や入院を拒否されること	感染者・患者に対する偏見や差別意識があること	結婚を断ることや周囲が結婚に反対すること
全体		426	21.1	57.5	17.8	4.5	7.7	44.1	5.6
性別	男性	170	24.7	52.9	19.4	4.7	8.2	42.9	6.5
	女性	242	19.0	60.3	16.9	4.5	7.4	44.2	5.4
	無回答	14	14.3	64.3	14.3	0.0	7.1	57.1	0.0
年齢別	18～29歳	52	23.1	61.5	13.5	1.9	3.8	42.3	11.5
	30～39歳	58	20.7	67.2	24.1	5.2	8.6	50.0	6.9
	40～49歳	51	13.7	52.9	17.6	3.9	7.8	35.3	2.0
	50～59歳	73	21.9	60.3	19.2	4.1	12.3	47.9	4.1
	60～69歳	133	20.3	55.6	18.0	4.5	6.8	45.1	5.3
	70歳以上	56	26.8	48.2	12.5	7.1	5.4	39.3	5.4
	無回答	3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0
地域別	五泉地区	259	22.0	59.1	18.5	3.9	7.3	45.6	6.2
	村松地区	119	21.0	57.1	17.6	5.9	7.6	42.9	3.4
	無回答	48	16.7	50.0	14.6	4.2	10.4	39.6	8.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	60.9	8.7	4.3	8.7	39.1	8.7
	30～39歳	15	20.0	40.0	20.0	6.7	13.3	40.0	6.7
	40～49歳	19	15.8	36.8	21.1	5.3	5.3	36.8	0.0
	50～59歳	28	25.0	57.1	21.4	3.6	14.3	42.9	10.7
	60～69歳	58	27.6	62.1	25.9	5.2	6.9	51.7	6.9
	70歳以上	27	25.9	40.7	11.1	3.7	3.7	33.3	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	20.7	62.1	17.2	0.0	0.0	44.8	13.8
	30～39歳	43	20.9	76.7	25.6	4.7	7.0	53.5	7.0
	40～49歳	31	9.7	64.5	12.9	3.2	9.7	32.3	3.2
	50～59歳	44	20.5	61.4	18.2	4.5	11.4	50.0	0.0
	60～69歳	69	15.9	50.7	13.0	4.3	7.2	40.6	4.3
	70歳以上	25	32.0	52.0	12.0	12.0	8.0	40.0	8.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

## 感染症患者の人権に対する問題意識について②

		合計	本人の断りなく検査されること	公共施設の利用などでの不当な扱いを受けること	わからない	その他	感染症患者の人権に問題はないと思う	回答なし
全体		426	4.2	5.6	24.4	0.7	1.9	2.6
性別	男性	170	3.5	5.3	24.1	0.0	4.1	2.9
	女性	242	4.5	5.8	25.6	1.2	0.4	1.7
	無回答	14	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3
年齢別	18～29歳	52	1.9	5.8	19.2	0.0	5.8	1.9
	30～39歳	58	8.6	6.9	17.2	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	51	2.0	3.9	27.5	2.0	2.0	0.0
	50～59歳	73	2.7	4.1	23.3	1.4	1.4	2.7
	60～69歳	133	3.8	6.0	27.8	0.0	0.0	4.5
	70歳以上	56	7.1	7.1	28.6	1.8	5.4	3.6
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	3.9	4.6	23.9	0.4	1.5	2.7
	村松地区	119	1.7	6.7	26.1	1.7	1.7	1.7
	無回答	48	12.5	8.3	22.9	0.0	4.2	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	4.3	4.3	17.4	0.0	8.7	0.0
	30～39歳	15	13.3	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	0.0	5.3	31.6	0.0	5.3	0.0
	50～59歳	28	0.0	3.6	25.0	0.0	3.6	3.6
	60～69歳	58	3.4	3.4	19.0	0.0	0.0	3.4
	70歳以上	27	3.7	11.1	33.3	0.0	11.1	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	0.0	6.9	20.7	0.0	3.4	3.4
	30～39歳	43	7.0	7.0	14.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	3.2	3.2	25.8	3.2	0.0	0.0
	50～59歳	44	4.5	4.5	22.7	2.3	0.0	2.3
	60～69歳	69	4.3	7.2	36.2	0.0	0.0	2.9
	70歳以上	25	8.0	4.0	28.0	4.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (2) 感染症患者の人権を守るために必要なこと

問 20. 感染症患者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



### 【全体結果】

「HIV（病原ウィルス）やハンセン病等に関する正しい情報を提供する」（50.2%）が最も高く、「感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る」（42.0%）、「感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」（37.1%）が続いている。

なお、「わからない」（19.0%）が、2割弱となっている。



### 【性別】

男女ともに「H I V (病原ウイルス)やハンセン病等に関する正しい情報を提供する」(男性 50.6%、女性 49.6%) が最も高くなっている。

「感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る」は、女性 (45.0%) の方が男性 (36.5%) よりも 8 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「H I V (病原ウイルス) やハンセン病等に関する正しい情報を提供する」は各年代で高くなっているが、18～29 歳 (53.8%)、30 代 (56.9%)、40 代 (54.9%) で 5 割を超えている。

「感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る」は 50 代 (50.7%) で最も高く、「感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」は 50 代 (41.1%) で最も高い。

なお、「わからない」は年齢が上がるほど上昇する傾向が見られ、60 代 (20.3%)、70 代 (25.0%) で 2 割を超えている。

### 【地域別】

「H I V (病原ウイルス) やハンセン病等に関する正しい情報を提供する」は五泉地区 (54.8%)、村松地区 (46.2%) とともに最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区よりも 8 ポイントほど高くなっている。

「感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」は、五泉地区 (38.6%) の方が村松地区 (33.6%) よりも 5 ポイント高くなっている。

感染症患者の人権を守るために必要なこと①

		合計	感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る	HIVやハンセン病等に関する正しい情報を提供する	感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する	感染者・患者の生活支援を行う	感染者・患者の治療費を助成する	感染者・患者を支援する民間ボランティアを育成する	感染者・患者を支援するため、NPO等のネットワークを図る
全体		426	42.0	50.2	37.1	12.9	17.6	3.3	16.9
性別	男性	170	36.5	50.6	37.6	14.1	19.4	3.5	15.3
	女性	242	45.0	49.6	36.4	11.6	17.4	2.9	18.6
	無回答	14	57.1	57.1	42.9	21.4	0.0	7.1	7.1
年齢別	18～29歳	52	34.6	53.8	32.7	7.7	21.2	3.8	9.6
	30～39歳	58	37.9	56.9	36.2	17.2	20.7	5.2	17.2
	40～49歳	51	43.1	54.9	35.3	7.8	23.5	2.0	13.7
	50～59歳	73	50.7	49.3	41.1	15.1	12.3	4.1	19.2
	60～69歳	133	39.1	46.6	36.1	15.0	11.3	2.3	21.8
	70歳以上	56	44.6	48.2	39.3	8.9	26.8	3.6	12.5
	無回答	3	100.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	42.9	54.8	38.6	12.0	17.4	2.7	16.6
	村松地区	119	42.9	46.2	33.6	11.8	14.3	4.2	16.0
	無回答	48	35.4	35.4	37.5	20.8	27.1	4.2	20.8
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	60.9	30.4	13.0	13.0	8.7	13.0
	30～39歳	15	26.7	53.3	26.7	13.3	20.0	13.3	6.7
	40～49歳	19	21.1	42.1	21.1	10.5	15.8	10.5	5.3
	50～59歳	28	21.4	28.6	10.7	3.6	21.4	0.0	7.1
	60～69歳	58	22.4	24.1	25.9	8.6	8.6	0.0	10.3
	70歳以上	27	85.2	111.1	92.6	33.3	14.8	7.4	48.1
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	41.4	48.3	34.5	3.4	27.6	0.0	6.9
	30～39歳	43	41.9	58.1	39.5	18.6	20.9	2.3	20.9
	40～49歳	31	48.4	64.5	48.4	6.5	19.4	3.2	16.1
	50～59歳	44	52.3	47.7	34.1	13.6	9.1	6.8	18.2
	60～69歳	69	37.7	40.6	30.4	15.9	15.9	1.4	23.2
	70歳以上	25	56.0	48.0	40.0	0.0	12.0	4.0	20.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

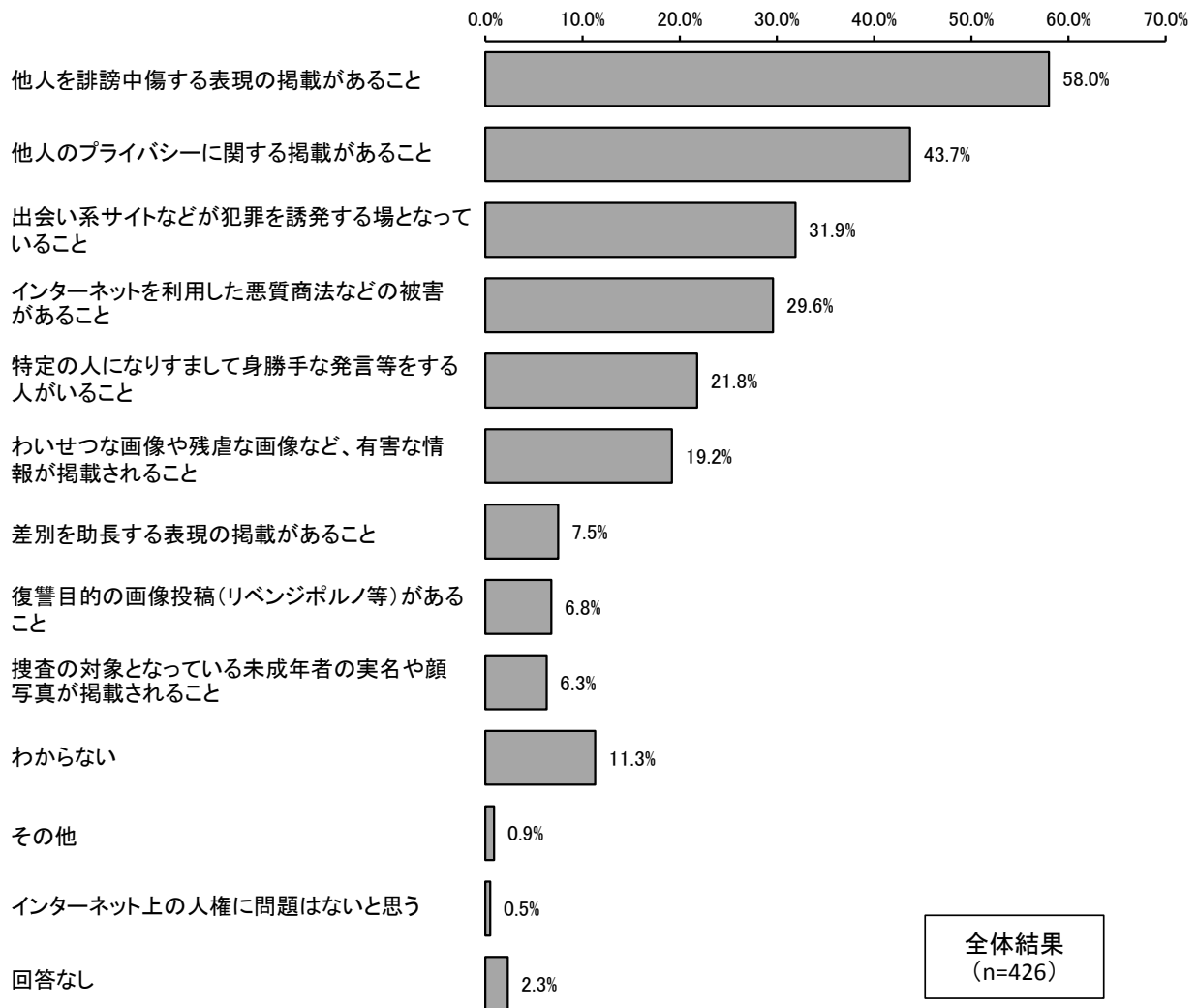
## 感染症患者の人権を守るために必要なこと②

		合 計	感 染 者 ・ 患 者 と の 交 流 を 促 進 す る	感 染 者 ・ 患 者 の 人 権 を 守 る た め の 広 報 ・ 啓 発 活 動 を 推 進 す る	わ か ら な い	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	2.1	8.7	19.0	0.2	2.8
性 別	男 性	170	2.9	10.0	18.8	0.6	3.5
	女 性	242	1.7	8.3	20.2	0.0	2.1
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
年 齢 別	18～29歳	52	1.9	13.5	13.5	0.0	5.8
	30～39歳	58	1.7	6.9	15.5	0.0	0.0
	40～49歳	51	3.9	9.8	19.6	2.0	2.0
	50～59歳	73	1.4	5.5	19.2	0.0	1.4
	60～69歳	133	1.5	9.8	20.3	0.0	4.5
	70歳以上	56	3.6	7.1	25.0	0.0	1.8
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	2.7	10.0	18.1	0.0	3.1
	村松地区	119	1.7	4.2	21.0	0.8	2.5
	無回答	48	0.0	12.5	18.8	0.0	2.1
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	0.0	13.0	13.0	0.0	8.7
	30～39歳	15	0.0	13.3	26.7	0.0	0.0
	40～49歳	19	0.0	10.5	21.1	0.0	0.0
	50～59歳	28	3.6	7.1	17.9	3.6	0.0
	60～69歳	58	0.0	3.4	6.9	0.0	1.7
	70歳以上	27	7.4	18.5	33.3	0.0	7.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	3.4	13.8	13.8	0.0	3.4
	30～39歳	43	2.3	4.7	11.6	0.0	0.0
	40～49歳	31	3.2	9.7	16.1	0.0	3.2
	50～59歳	44	2.3	4.5	22.7	0.0	0.0
	60～69歳	69	0.0	11.6	26.1	0.0	4.3
	70歳以上	25	0.0	4.0	28.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 8. インターネット上の人権について

### (1) インターネット上の人権に対する問題意識について

問 21. あなたが、インターネット上の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。(3つまで○)



#### 【全体結果】

「他人を誹謗中傷する表現の掲載があること」(58.0%)が最も高く、「他人のプライバシーに関する掲載があること」(43.7%)、「出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること」(31.9%)と続いている。

### 【性別】

男女ともに「他人を誹謗中傷する表現の掲載があること」（男性 52.4%、女性 61.6%）が最も高くなっているが、女性の方が男性よりも 9 ポイントほど高くなっている。

「わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報が掲載されること」では、女性（23.6%）の方が男性（12.4%）よりも 11 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「他人を誹謗中傷する表現の掲載があること」では 30 代（65.5%）、40 代（68.6%）、50 代（65.8%）で 6 割を超えている。

「他人のプライバシーに関する掲載があること」では 18～29 歳（61.5%）、30 代（60.3%）で 6 割を超えている。

「わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報が掲載されること」では、50 代（31.5%）で 3 割を超えており、他の年代が 1 割台である中で比較的高くなっている。

「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること」は、18～29 歳（13.5%）で 1 割を超えており、他の年代が 1 割にも満たない中で比較的高くなっている。

「復讐目的の画像投稿（リベンジポルノ等）があること」では 30 代（15.5%）が 1 割を超えており、他の年代が 1 割にも満たない中で比較的高くなっている。

なお、「わからない」では 70 歳以上（28.6%）で 3 割近くとなっている。

### 【地域別】

各地区ともに「他人を誹謗中傷する表現の掲載があること」（五泉地区 61.0%、村松地区 54.6%）が最も高くなっているが、五泉地区のほうが村松地区よりも 6 ポイントほど高くなっている。

「インターネットを利用した悪質商法などの被害があること」では五泉地区（30.5%）の方が村松地区（25.2%）よりも 5 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」は村松地区（15.1%）の方が五泉地区（8.5%）よりも 6 ポイントほど高くなっている。

インターネット上の人権に対する問題意識について①

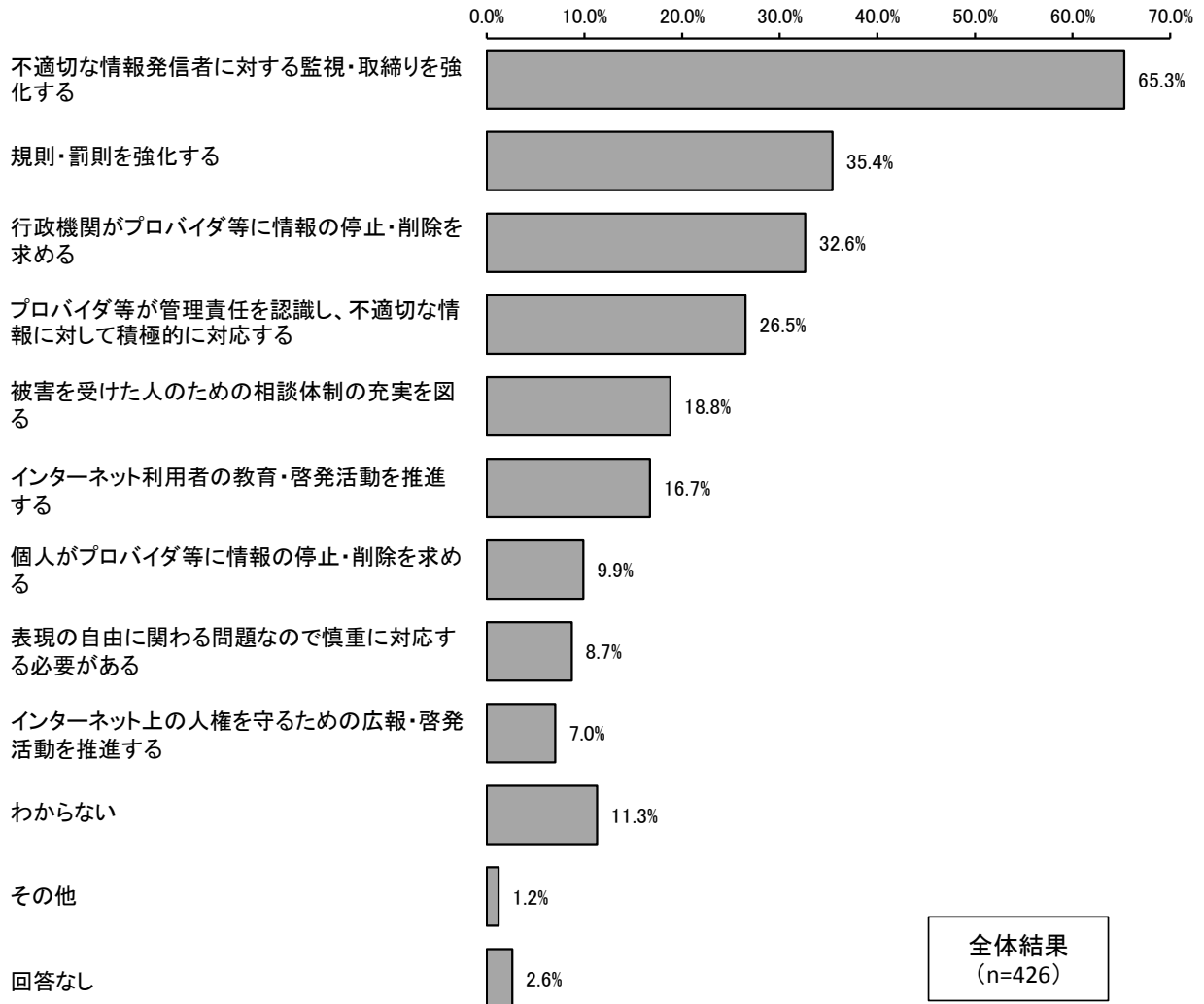
		合計	他人を誹謗中傷する表 現の掲載があること	他人のプライバシーに 関する掲載があること	出会い系サイトなどが 犯罪を誘発する場とな っていること	画像など、有害な情 報が掲載されること	わいせつな画像や残虐 画像など、有害な情 報が掲載されること	差別を助長する表現の 掲載があること	インターネットを利用 した悪質商法などの被 害があること	未成年者の実名や顔 写真が掲載されること	捜査の対象となつてい る未成年者の実名や顔
全体		426	58.0	43.7	31.9	19.2	7.5	29.6	6.3		
性別	男性	170	52.4	42.9	32.9	12.4	12.4	33.5	5.9		
	女性	242	61.6	45.9	30.2	23.6	4.1	27.3	7.0		
	無回答	14	64.3	14.3	50.0	28.6	7.1	21.4	0.0		
年齢別	18～29歳	52	48.1	61.5	19.2	11.5	9.6	25.0	13.5		
	30～39歳	58	65.5	60.3	15.5	15.5	5.2	25.9	6.9		
	40～49歳	51	68.6	41.2	29.4	17.6	5.9	41.2	2.0		
	50～59歳	73	65.8	43.8	34.2	31.5	11.0	24.7	2.7		
	60～69歳	133	55.6	36.1	40.6	19.5	7.5	30.1	8.3		
	70歳以上	56	44.6	32.1	37.5	14.3	5.4	28.6	3.6		
	無回答	3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	100.0	0.0		
地域別	五泉地区	259	61.0	45.2	32.8	19.3	7.3	30.5	7.7		
	村松地区	119	54.6	46.2	31.1	17.6	7.6	25.2	4.2		
	無回答	48	50.0	29.2	29.2	22.9	8.3	35.4	4.2		
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	52.2	69.6	21.7	4.3	13.0	21.7	13.0		
	30～39歳	15	53.3	53.3	13.3	0.0	6.7	20.0	0.0		
	40～49歳	19	52.6	31.6	26.3	15.8	5.3	52.6	0.0		
	50～59歳	28	60.7	46.4	28.6	14.3	17.9	28.6	3.6		
	60～69歳	58	51.7	34.5	41.4	17.2	15.5	36.2	6.9		
	70歳以上	27	44.4	37.0	44.4	11.1	7.4	37.0	7.4		
	無回答	0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0		
	女性 18～29歳	29	44.8	55.2	17.2	17.2	6.9	27.6	13.8		
	30～39歳	43	69.8	62.8	16.3	20.9	4.7	27.9	9.3		
	40～49歳	31	77.4	45.2	32.3	19.4	6.5	35.5	3.2		
	50～59歳	44	68.2	43.2	36.4	40.9	6.8	22.7	2.3		
	60～69歳	69	59.4	39.1	40.6	21.7	1.4	26.1	10.1		
	70歳以上	25	40.0	32.0	28.0	16.0	0.0	24.0	0.0		
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
新潟県（平成25年度調査）		262	77.9	52.3	40.8	29.0	16.8	-	11.1		

インターネット上の人権に対する問題意識について②

		合計	特定の人の身勝手な発言等をする人がいること	復讐目的の画像投稿（ヘリペンジボルノ等）があること	わからない	その他	インターネット上の人権に問題はないと思う人	回答なし
全体		426	21.8	6.8	11.3	0.9	0.5	2.3
性別	男性	170	24.7	5.3	7.6	0.6	1.2	2.9
	女性	242	20.2	7.9	13.2	1.2	0.0	1.7
	無回答	14	14.3	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	23.1	9.6	7.7	0.0	1.9	3.8
	30～39歳	58	31.0	15.5	6.9	3.4	0.0	0.0
	40～49歳	51	27.5	7.8	5.9	2.0	0.0	0.0
	50～59歳	73	23.3	6.8	6.8	0.0	1.4	1.4
	60～69歳	133	17.3	4.5	12.0	0.8	0.0	4.5
	70歳以上	56	16.1	0.0	28.6	0.0	0.0	1.8
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	22.8	5.0	8.5	0.8	0.4	2.7
	村松地区	119	21.0	10.9	15.1	1.7	0.0	1.7
	無回答	48	18.8	6.3	16.7	0.0	2.1	2.1
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	8.7	0.0	0.0	4.3	4.3
	30～39歳	15	53.3	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	28	32.1	3.6	3.6	0.0	3.6	3.6
	60～69歳	58	15.5	6.9	6.9	1.7	0.0	3.4
	70歳以上	27	14.8	0.0	18.5	0.0	0.0	3.7
	無回答	0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0
	女性 18～29歳	29	20.7	10.3	13.8	0.0	0.0	3.4
	30～39歳	43	23.3	16.3	4.7	4.7	0.0	0.0
	40～49歳	31	25.8	9.7	6.5	3.2	0.0	0.0
	50～59歳	44	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	69	18.8	2.9	14.5	0.0	0.0	4.3
	70歳以上	25	16.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		262	-	-	-	1.1	-	5.0

## (2) インターネット上の人権を守るために必要なこと

問 22. インターネット上の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。  
(3つまで○)



### 【全体結果】

「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(65.3%)が最も高く、「規則・罰則を強化する」(35.4%)、「行政機関がプロバイダ等に情報の停止・削除を求める」(32.6%)と続いている。



### 【性別】

男女ともに「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」（男性 66.5%、女性 66.1%）が最も高い。

「被害を受けた人のための相談体制の充実を図る」では男性（20.6%）の方が女性（16.1%）よりも 4 ポイントほど高くなっている。

「わからない」では女性（13.2%）の方が男性（8.2%）よりも 5 ポイント高くなっている。

### 【年齢別】

「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」では、30代（70.7%）、40代（72.5%）、50代（71.2%）で 7 割を超えている。

「規則・罰則を強化する」では、40代（41.2%）、50代（43.8%）で 4 割を超えており、「行政機関がプロバイダ等に情報の停止・削除を求める」では 40代（47.1%）で 4 割を超えている。

「インターネット利用者の教育・啓発活動を推進する」では 18～29 歳（32.7%）で 3 割を超えており、他の年代が 1 割台である中で比較的高くなっている。

「わからない」では 70 歳以上（30.4%）が 3 割を超えている。

### 【地域別】

各地区とも「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」（五泉地区 71.0%、村松地区 53.8%）が最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区よりも 17 ポイントほど高くなっている。

「規則・罰則を強化する」では、村松地区（41.2%）の方が五泉地区（32.8%）よりも 8 ポイントほど高くなっている。

「わからない」では、村松地区（16.0%）の方が五泉地区（8.9%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。

インターネット上の人権を守るために必要なこと①

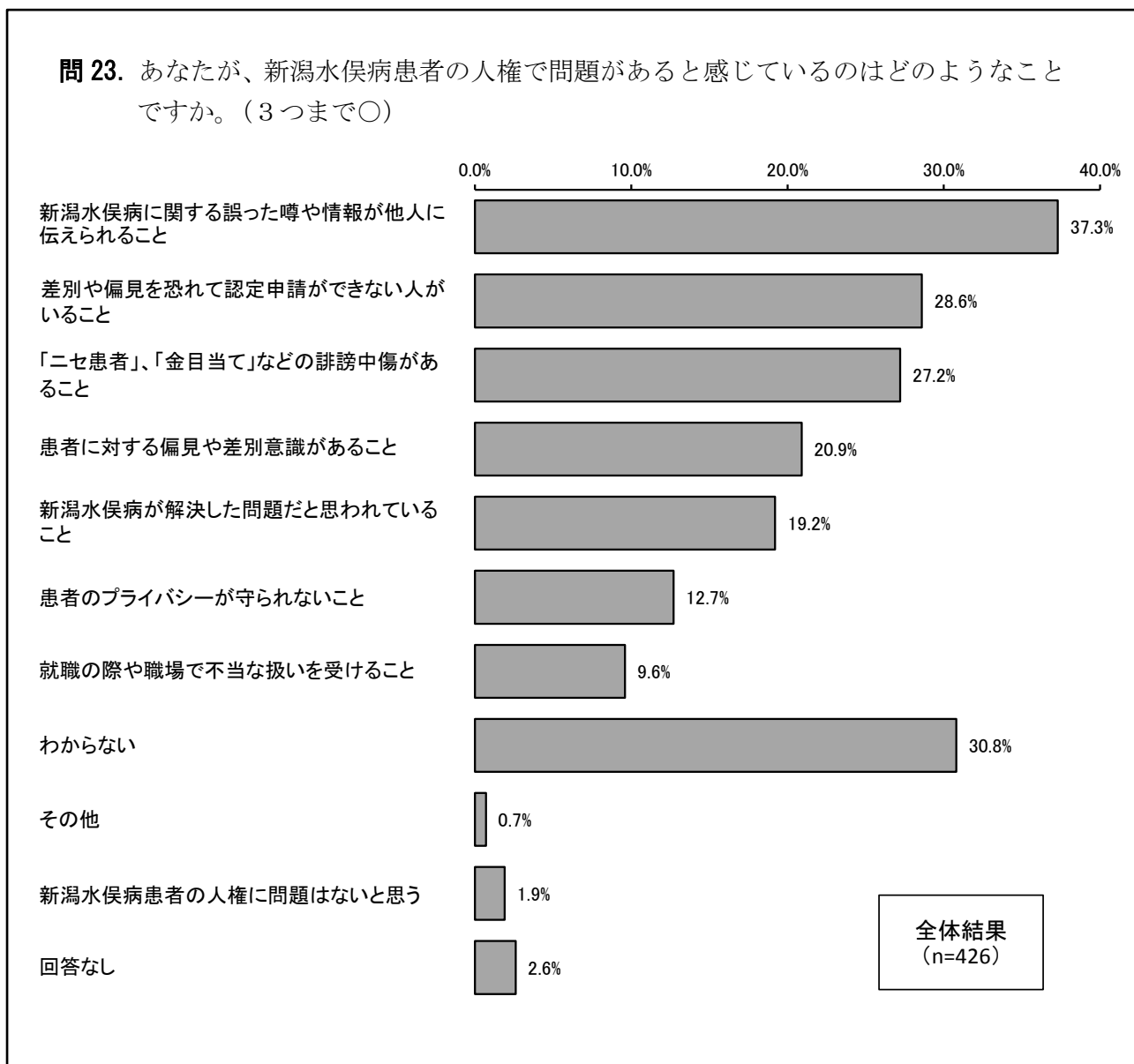
		合計	不適切な情報発信者に 対する監視・取締りを 強化する	行政機関の停止・削除 を求めめる	個人がプロバイダ等に 情報の停止・削除を求 める	情報に対して積極的に 対応する	プロバイダ等が管理責 任を認識し、不適切な 情報を認	規則・罰則を強化する	インターネット利用者 の教育・啓発活動を推 進する	表現の自由に関わる問 題があるので慎重に対 応する
全体		426	65.3	32.6	9.9	26.5	35.4	16.7	8.7	
性別	男性	170	66.5	32.9	10.0	28.2	37.6	16.5	10.0	
	女性	242	66.1	32.2	9.9	26.0	34.7	17.4	7.4	
	無回答	14	35.7	35.7	7.1	14.3	21.4	7.1	14.3	
年齢別	18～29歳	52	55.8	15.4	11.5	15.4	28.8	32.7	15.4	
	30～39歳	58	70.7	31.0	10.3	20.7	39.7	19.0	1.7	
	40～49歳	51	72.5	47.1	7.8	41.2	41.2	15.7	3.9	
	50～59歳	73	71.2	31.5	16.4	32.9	43.8	12.3	6.8	
	60～69歳	133	63.2	35.3	7.5	28.6	32.3	14.3	9.0	
	70歳以上	56	58.9	32.1	5.4	17.9	26.8	10.7	14.3	
	無回答	3	66.7	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	
地域別	五泉地区	259	71.0	34.0	11.6	28.6	32.8	16.6	7.7	
	村松地区	119	53.8	31.9	7.6	24.4	41.2	15.1	8.4	
	無回答	48	62.5	27.1	6.3	20.8	35.4	20.8	14.6	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	52.2	17.4	17.4	13.0	39.1	34.8	21.7	
	30～39歳	15	60.0	13.3	6.7	13.3	46.7	13.3	0.0	
	40～49歳	19	68.4	36.8	10.5	42.1	47.4	15.8	5.3	
	50～59歳	28	64.3	21.4	14.3	39.3	39.3	10.7	7.1	
	60～69歳	58	70.7	41.4	6.9	36.2	36.2	13.8	8.6	
	70歳以上	27	74.1	48.1	7.4	11.1	25.9	14.8	14.8	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	58.6	13.8	6.9	17.2	20.7	31.0	10.3	
	30～39歳	43	74.4	37.2	11.6	23.3	37.2	20.9	2.3	
	40～49歳	31	74.2	51.6	6.5	41.9	38.7	16.1	3.2	
	50～59歳	44	75.0	36.4	18.2	29.5	45.5	13.6	6.8	
	60～69歳	69	60.9	30.4	8.7	24.6	30.4	14.5	8.7	
	70歳以上	25	48.0	20.0	4.0	20.0	32.0	8.0	16.0	
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	

インターネット上の人権を守るために必要なこと②

		合計	被害を受けた人のために の相談体制の充実を図る	インターネット上の人権を守るための啓発活動を推進する	わからない	その他	回答なし
全体		426	18.8	7.0	11.3	1.2	2.6
性別	男性	170	20.6	6.5	8.2	0.6	2.4
	女性	242	16.1	7.4	13.2	1.7	2.1
	無回答	14	42.9	7.1	14.3	0.0	14.3
年齢別	18～29歳	52	21.2	9.6	5.8	1.9	3.8
	30～39歳	58	24.1	8.6	6.9	1.7	1.7
	40～49歳	51	9.8	3.9	3.9	2.0	0.0
	50～59歳	73	21.9	4.1	6.8	0.0	1.4
	60～69歳	133	15.8	9.0	12.8	0.8	5.3
	70歳以上	56	23.2	5.4	30.4	1.8	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	19.3	6.2	8.9	1.5	2.7
	村松地区	119	15.1	8.4	16.0	0.8	1.7
	無回答	48	25.0	8.3	12.5	0.0	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	26.1	8.7	0.0	0.0	4.3
	30～39歳	15	40.0	13.3	13.3	0.0	0.0
	40～49歳	19	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0
	50～59歳	28	17.9	3.6	7.1	0.0	3.6
	60～69歳	58	19.0	6.9	6.9	0.0	3.4
	70歳以上	27	22.2	7.4	18.5	3.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	17.2	10.3	10.3	3.4	3.4
	30～39歳	43	18.6	7.0	4.7	2.3	2.3
	40～49歳	31	9.7	6.5	3.2	3.2	0.0
	50～59歳	44	25.0	4.5	6.8	0.0	0.0
	60～69歳	69	11.6	10.1	17.4	1.4	4.3
	70歳以上	25	16.0	4.0	44.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 9. 新潟水俣病患者の人権について

### (1) 新潟水俣病患者の人権に対する問題意識について



#### 【全体結果】

「新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること」(37.3%)が最も高く、「差別や偏見を恐れて認定申請ができない人がいること」(28.6%)、「『ニセ患者』、『金目当て』などの誹謗中傷があること」(27.2%)が続いている。

なお、「わからない」が30.8%で、3割を超えている。

### 【性別】

男女ともに「新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること」（男性 37.6%、女性 37.6%）が最も高くなっている。

「患者に対する偏見や差別意識があること」では、男性（24.1%）の方が女性（18.2%）よりも 6 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」（男性 30.0%、女性 31.8%）は、男女ともに 3 割を超えている。

### 【年齢別】

「新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること」では 50 代（43.8%）、70 歳以上（41.1%）で 4 割を超えている。

「わからない」では、40 代（45.1%）で最も多く、4 割を超えている。

### 【地域別】

「新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること」では、五泉地区（40.5%）の方が村松地区（31.1%）の方が 9 ポイントほど高くなっている。

『ニセ患者』、『金目当て』などの誹謗中傷があること」では、五泉地区（29.7%）の方が村松地区（21.8%）の方が 8 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」では村松地区（37.0%）の方が五泉地区（28.2%）よりも 8 ポイントほど高くなっており、村松地区における問題意識の中で最も高い項目となっている。

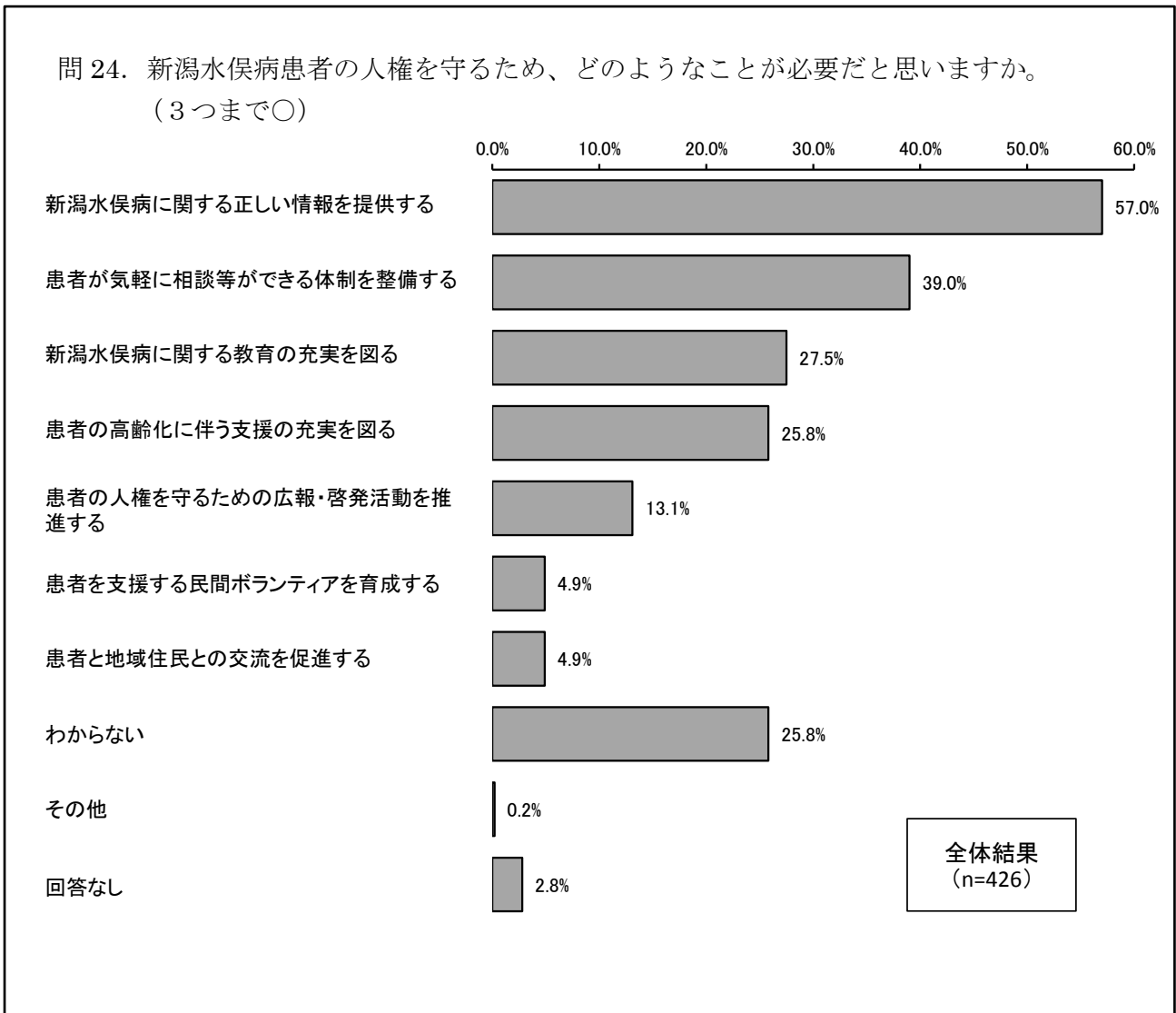
新潟水俣病患者の人権に対する問題意識について①

		合計	患者のプライバシーが守られないこと	新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること	就職の際や職場で不当な扱いをうけること	「ニセ患者」、「金目当て」などの誹謗中傷があること	新潟水俣病が解決した問題だと思われていること	患者に対する偏見や差別意識があること	差別や偏見を恐れていること
全体		426	12.7	37.3	9.6	27.2	19.2	20.9	28.6
性別	男性	170	13.5	37.6	7.6	28.8	19.4	24.1	26.5
	女性	242	11.6	37.6	11.2	26.0	19.8	18.2	29.8
	無回答	14	21.4	28.6	7.1	28.6	7.1	28.6	35.7
年齢別	18～29歳	52	15.4	36.5	13.5	28.8	15.4	21.2	17.3
	30～39歳	58	12.1	34.5	15.5	24.1	24.1	22.4	25.9
	40～49歳	51	5.9	23.5	5.9	19.6	17.6	9.8	31.4
	50～59歳	73	11.0	43.8	11.0	28.8	24.7	20.5	23.3
	60～69歳	133	11.3	39.8	7.5	28.6	13.5	25.6	33.1
	70歳以上	56	21.4	41.1	5.4	28.6	25.0	16.1	35.7
	無回答	3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3
地域別	五泉地区	259	13.9	40.5	9.3	29.7	21.6	18.9	30.9
	村松地区	119	10.1	31.1	6.7	21.8	20.2	19.3	28.6
	無回答	48	12.5	35.4	18.8	27.1	4.2	35.4	16.7
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	17.4	39.1	4.3	30.4	21.7	17.4	4.3
	30～39歳	15	13.3	33.3	13.3	13.3	20.0	20.0	26.7
	40～49歳	19	0.0	31.6	0.0	26.3	10.5	10.5	21.1
	50～59歳	28	7.1	42.9	14.3	32.1	32.1	25.0	17.9
	60～69歳	58	12.1	37.9	6.9	34.5	15.5	31.0	36.2
	70歳以上	27	29.6	37.0	7.4	22.2	18.5	25.9	37.0
	無回答	0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
	女性 18～29歳	29	13.8	34.5	20.7	27.6	10.3	24.1	27.6
	30～39歳	43	11.6	34.9	16.3	27.9	25.6	23.3	25.6
	40～49歳	31	9.7	19.4	9.7	16.1	22.6	9.7	38.7
	50～59歳	44	13.6	43.2	9.1	27.3	20.5	18.2	25.0
	60～69歳	69	8.7	42.0	8.7	24.6	13.0	20.3	30.4
	70歳以上	25	16.0	48.0	4.0	32.0	32.0	8.0	36.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

新潟水俣病患者の人権に対する問題意識について②

		合 計	わ か ら な い	そ の 他	に 新 潟 水 俣 病 患 者 の 人 権 問 題 は な い と 思 う	回 答 な し
全 体		426	30.8	0.7	1.9	2.6
性 別	男 性	170	30.0	0.6	3.5	1.8
	女 性	242	31.8	0.4	0.8	2.9
	無回答	14	21.4	7.1	0.0	7.1
年 齢 別	18～29歳	52	25.0	1.9	1.9	1.9
	30～39歳	58	37.9	1.7	0.0	0.0
	40～49歳	51	45.1	0.0	2.0	2.0
	50～59歳	73	26.0	0.0	4.1	2.7
	60～69歳	133	27.8	0.8	1.5	5.3
	70歳以上	56	30.4	0.0	1.8	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	28.2	0.8	1.5	1.5
	村松地区	119	37.0	0.8	1.7	2.5
	無回答	48	29.2	0.0	4.2	8.3
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	26.1	0.0	4.3	4.3
	30～39歳	15	40.0	6.7	0.0	0.0
	40～49歳	19	52.6	0.0	0.0	5.3
	50～59歳	28	21.4	0.0	10.7	0.0
	60～69歳	58	27.6	0.0	1.7	1.7
	70歳以上	27	25.9	0.0	3.7	0.0
	無回答	0	7.0	8.0	9.0	10.0
	女性 18～29歳	29	24.1	3.4	0.0	0.0
	30～39歳	43	37.2	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	38.7	0.0	3.2	0.0
	50～59歳	44	29.5	0.0	0.0	4.5
	60～69歳	69	29.0	0.0	1.4	7.2
	70歳以上	25	36.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 新潟水俣病患者の人権を守るために必要なこと



【全体結果】

「新潟水俣病に関する正しい情報を提供する」(57.0%)が最も高く、「患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」(39.0%)、「新潟水俣病に関する教育の充実を図る」(27.5%)が続いている。



### 【性別】

男女ともに「新潟水俣病に関する正しい情報を提供する」（男性 57.1%、女性 57.9%）が最も高くなっている。

「患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」（男性 36.5%、女性 40.5%）では女性の方が男性よりも 4 ポイント高くなっている。

「患者の高齢化に伴う支援の充実を図る」（男性 27.1%、女性 23.1%）では男性の方が女性よりも 4 ポイント高くなっている。

なお、「わからない」（男性 24.7%、女性 26.9%）では、男女ともに 2 割を超えている。

### 【年齢別】

「新潟水俣病に関する正しい情報を提供する」は各年代で 5 割を超え、特に 30 代（60.3%）では 6 割を超えている。

「患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」では 30 代（43.1%）、60 代（40.6%）、70 歳以上（48.2%）で 4 割を超えている。

なお、「わからない」は、各年代で 2 割を超えている。

### 【地域別】

各地区ともに「新潟水俣病に関する正しい情報を提供する」（五泉地区 61.4%、村松地区 54.6%）が最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区よりも 6 ポイントほど高くなっている。

「患者の高齢化に伴う支援の充実を図る」では五泉地区（28.2%）の方が村松地区（20.2%）よりも 8 ポイント高くなっている。

なお「わからない」では村松地区（31.1%）の方が五泉地区（22.8%）よりも 8 ポイントほど高くなっている。

新潟水俣病患者の人権を守るために必要なこと①

		合計	新潟水俣病に関する正しい情報を提供する	新潟水俣病に関する教育の充実を図る	患者が気軽に相談等ができる体制を整備する	患者の高齢化に伴う支援の充実を図る	患者を支援する民間ボランティアを育成する	患者と地域住民との交流を促進する	患者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
全体		426	57.0	27.5	39.0	25.8	4.9	4.9	13.1
性別	男性	170	57.1	28.8	36.5	27.1	5.3	4.7	12.4
	女性	242	57.9	27.7	40.5	23.1	5.0	5.4	13.6
	無回答	14	42.9	7.1	42.9	57.1	0.0	0.0	14.3
年齢別	18～29歳	52	59.6	30.8	28.8	13.5	5.8	7.7	15.4
	30～39歳	58	60.3	34.5	43.1	10.3	8.6	5.2	12.1
	40～49歳	51	58.8	25.5	31.4	25.5	0.0	2.0	11.8
	50～59歳	73	56.2	32.9	35.6	30.1	6.8	1.4	11.0
	60～69歳	133	54.9	22.6	40.6	30.8	3.0	4.5	15.0
	70歳以上	56	55.4	25.0	48.2	33.9	7.1	10.7	10.7
	無回答	3	66.7	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3
地域別	五泉地区	259	61.4	29.3	41.3	28.2	5.4	5.8	12.4
	村松地区	119	54.6	24.4	37.8	20.2	1.7	2.5	12.6
	無回答	48	39.6	25.0	29.2	27.1	10.4	6.3	18.8
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	52.2	26.1	21.7	17.4	4.3	4.3	4.3
	30～39歳	15	53.3	26.7	33.3	0.0	20.0	0.0	6.7
	40～49歳	19	52.6	26.3	15.8	15.8	0.0	0.0	15.8
	50～59歳	28	67.9	28.6	35.7	39.3	0.0	3.6	10.7
	60～69歳	58	58.6	27.6	46.6	34.5	3.4	6.9	13.8
	70歳以上	27	51.9	37.0	44.4	29.6	11.1	7.4	18.5
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	65.5	34.5	34.5	10.3	6.9	10.3	24.1
	30～39歳	43	62.8	37.2	46.5	14.0	4.7	7.0	14.0
	40～49歳	31	64.5	25.8	41.9	32.3	0.0	3.2	9.7
	50～59歳	44	47.7	34.1	36.4	25.0	11.4	0.0	11.4
	60～69歳	69	52.2	20.3	34.8	26.1	2.9	2.9	15.9
	70歳以上	25	64.0	16.0	56.0	32.0	4.0	16.0	4.0
	無回答	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

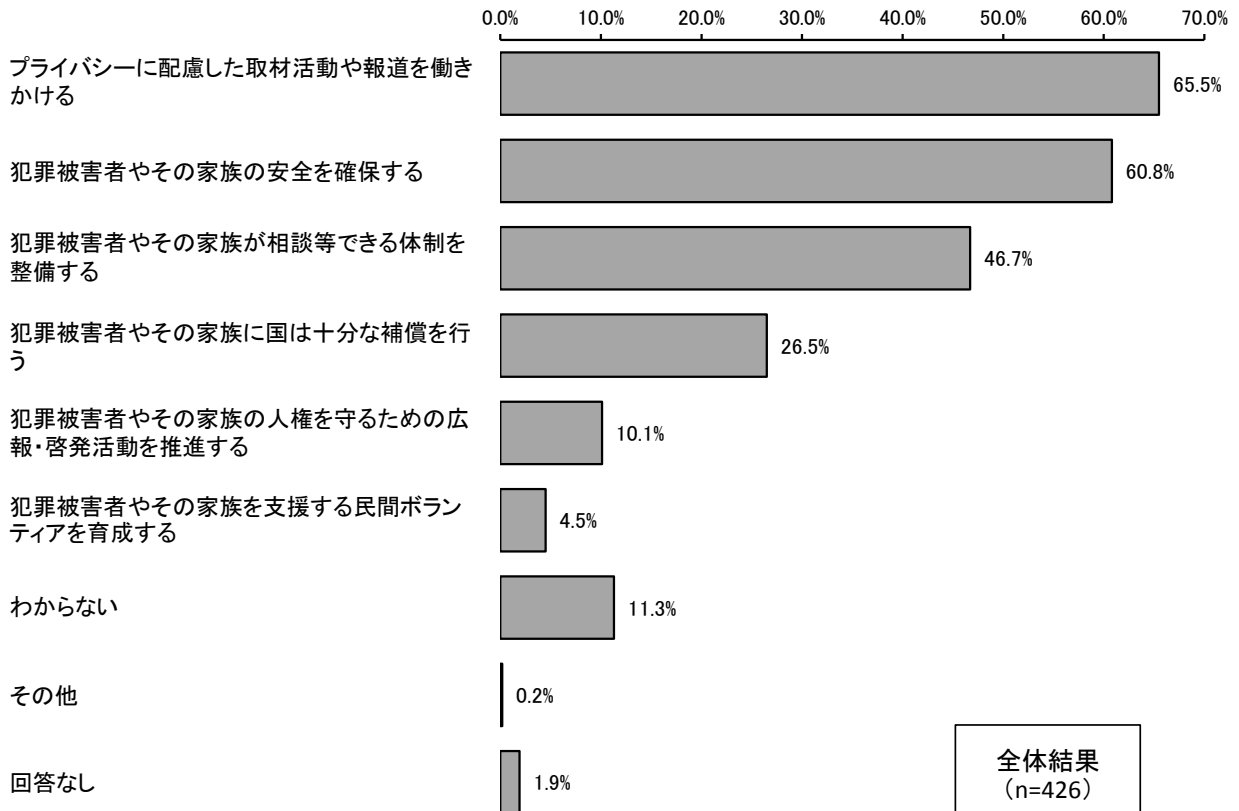
新潟水俣病患者の人権を守るために必要なこと②

		合 計	わ か ら な い	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	25.8	0.2	2.8
性 別	男 性	170	24.7	0.6	2.9
	女 性	242	26.9	0.0	2.5
	無回答	14	21.4	0.0	7.1
年 齢 別	18～29歳	52	25.0	0.0	1.9
	30～39歳	58	27.6	1.7	0.0
	40～49歳	51	31.4	0.0	2.0
	50～59歳	73	24.7	0.0	5.5
	60～69歳	133	24.1	0.0	4.5
	70歳以上	56	26.8	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	22.8	0.4	1.9
	村松地区	119	31.1	0.0	1.7
	無回答	48	29.2	0.0	10.4
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	34.8	0.0	4.3
	30～39歳	15	33.3	6.7	0.0
	40～49歳	19	42.1	0.0	5.3
	50～59歳	28	17.9	0.0	7.1
	60～69歳	58	17.2	0.0	1.7
	70歳以上	27	22.2	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	17.2	0.0	0.0
	30～39歳	43	25.6	0.0	0.0
	40～49歳	31	22.6	0.0	0.0
	50～59歳	44	29.5	0.0	4.5
	60～69歳	69	30.4	0.0	5.8
	70歳以上	25	32.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0

## 10. その他の人権について

### (1) 犯罪被害者やその家族を守るために必要なこと

問 25. あなたは、犯罪被害者やその家族の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)



#### 【全体結果】

「プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける」(65.5%)が最も高く、「犯罪被害者やその家族の安全を確保する」(60.8%)、「犯罪被害者やその家族が相談等できる体制を整備する」(46.7%)が続いている。

### 【性別】

男女とも「プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける」（男性 61.2%、女性 68.6%）が最も高くなっているが、女性の方が男性よりも 7 ポイントほど高くなっている。

「犯罪被害者やその家族の安全を確保する」では、女性（64.5%）の方が男性（55.3%）よりも 9 ポイントほど高くなっている。

「犯罪被害者やその家族が相談等できる体制を整備する」では、男性（55.3%）の方が女性（40.5%）よりも 14 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける」では、18～60 代で 6 割を超え、特に 18～29 歳（75.0%）では 7 割を超えている。

「犯罪被害者やその家族の安全を確保する」では、30 代（70.7%）、40 代（74.5%）で 7 割を超えている。

### 【地域別】

各地区ともに「プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける」（五泉地区 68.0%、村松地区 66.4%）が最も高くなっている。

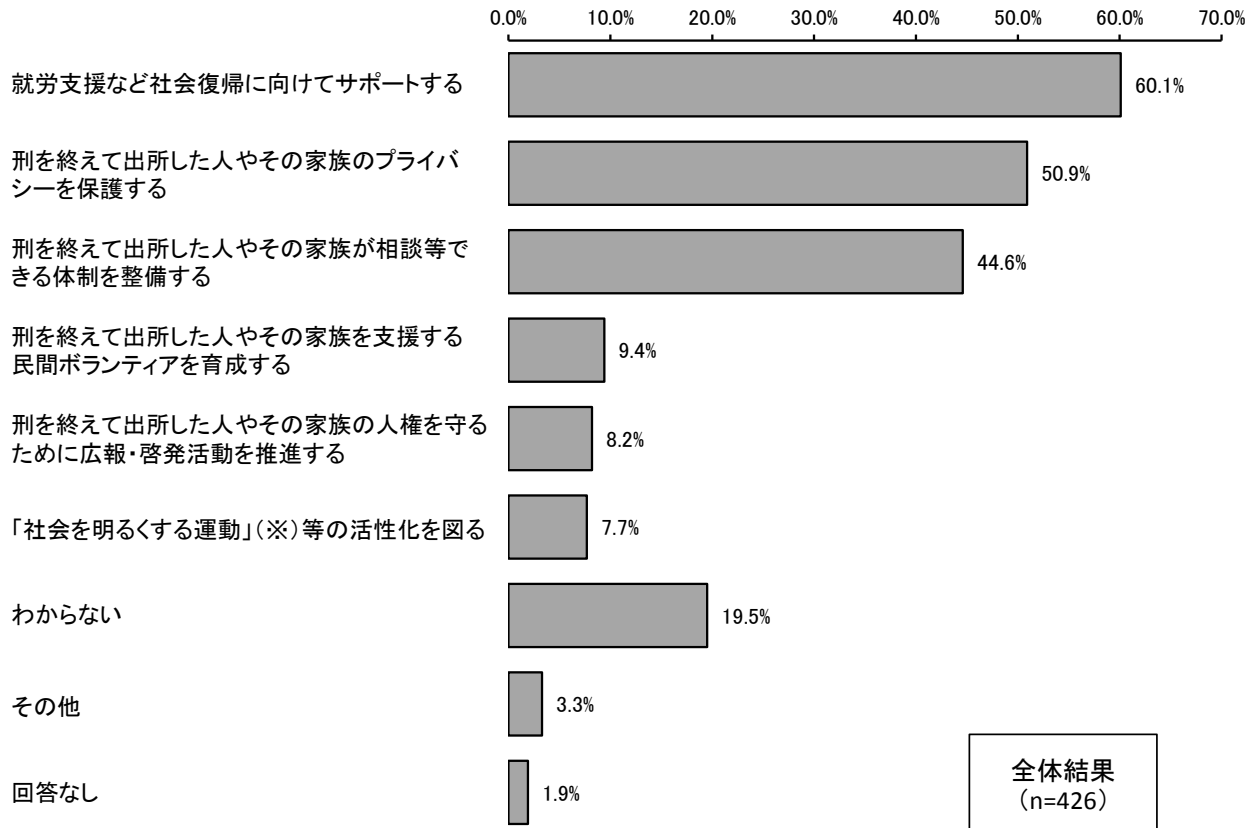
「犯罪被害者やその家族の安全を確保する」（五泉地区 63.3%、村松地区 58.8%）では、五泉地区の方が村松地区よりも 4 ポイントほど高くなっている。

## 犯罪被害者やその家族を守るために必要なこと

		合計	きか けた 取 材 活 動 や 報 道 を 働 し	の 犯 罪 被 害 者 や そ の 家 族	整 備 す る が 犯 罪 被 害 者 や そ の 家 族	を 支 援 す る 民 間 ボ ラ ン テ ィ ア を 育 成 す る	に 犯 罪 被 害 者 や そ の 家 族	る 報 ・ 啓 発 活 動 を 推 進 す	の 犯 罪 被 害 者 や そ の 家 族	わ か ら な い	そ の 他	回 答 な し
全体		426	65.5	60.8	46.7	4.5	26.5	10.1	11.3	0.2	1.9	
性別	男性	170	61.2	55.3	55.3	4.1	31.2	10.0	11.2	0.6	0.6	
	女性	242	68.6	64.5	40.5	4.5	23.6	10.3	12.0	0.0	2.5	
	無回答	14	64.3	64.3	50.0	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	
年齢別	18～29歳	52	75.0	63.5	30.8	5.8	25.0	13.5	9.6	0.0	0.0	
	30～39歳	58	67.2	70.7	48.3	5.2	34.5	5.2	10.3	1.7	0.0	
	40～49歳	51	60.8	74.5	35.3	0.0	29.4	3.9	13.7	0.0	2.0	
	50～59歳	73	65.8	57.5	41.1	6.8	28.8	6.8	15.1	0.0	2.7	
	60～69歳	133	65.4	52.6	51.9	5.3	21.1	15.8	8.3	0.0	3.8	
	70歳以上	56	58.9	57.1	64.3	1.8	26.8	8.9	14.3	0.0	0.0	
	無回答	3	66.7	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	五泉地区	259	68.0	63.3	48.3	3.5	26.3	9.3	9.7	0.4	1.5	
	村松地区	119	66.4	58.8	44.5	6.7	28.6	10.1	11.8	0.0	0.8	
	無回答	48	50.0	52.1	43.8	4.2	22.9	14.6	18.8	0.0	6.3	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	73.9	65.2	34.8	4.3	39.1	17.4	0.0	0.0	0.0	
	30～39歳	15	53.3	66.7	60.0	13.3	33.3	0.0	13.3	6.7	0.0	
	40～49歳	19	36.8	63.2	31.6	0.0	21.1	5.3	26.3	0.0	5.3	
	50～59歳	28	57.1	42.9	53.6	0.0	28.6	7.1	21.4	0.0	0.0	
	60～69歳	58	67.2	53.4	63.8	6.9	29.3	15.5	5.2	0.0	0.0	
	70歳以上	27	63.0	51.9	70.4	0.0	37.0	3.7	11.1	0.0	0.0	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	75.9	62.1	27.6	6.9	13.8	10.3	17.2	0.0	0.0	
	30～39歳	43	72.1	72.1	44.2	2.3	34.9	7.0	9.3	0.0	0.0	
	40～49歳	31	74.2	80.6	38.7	0.0	32.3	3.2	6.5	0.0	0.0	
	50～59歳	44	72.7	65.9	34.1	11.4	29.5	6.8	11.4	0.0	4.5	
	60～69歳	69	63.8	52.2	42.0	2.9	14.5	17.4	11.6	0.0	5.8	
	70歳以上	25	56.0	64.0	56.0	4.0	20.0	12.0	20.0	0.0	0.0	
	無回答	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(2) 刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るために必要なこと

問 26. あなたは、刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)



※社会を明るくする運動：犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深め、進んでこれらの活動に協力するように全国民に呼びかける啓発活動のこと。

【全体結果】

「就労支援など社会復帰にむけてサポートする」(60.1%)が最も高く、「刑を終えて出所した人やその家族のプライバシーを保護する」(50.9%)、「刑を終えて出所した人やその家族が相談等のできる体制を整備する」(44.6%)が続いている。

### 【性別】

男女とも「就労支援など社会復帰に向けてサポートする」（男性 59.4%、女性 59.5%）が最も高くなっている。

「刑を終えて出所した人やその家族のプライバシーを保護する」では、女性（52.9%）の方が男性（47.1%）よりも 5 ポイントほど高くなっている。

「刑を終えて出所した人やその家族が相談等できる体制を整備する」では、男性（48.8%）の方が女性（41.3%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。

### 【年齢別】

「就労支援など社会復帰に向けてサポートする」は全年代で 5 割を超えており、18～29 歳（61.5%）、30 代（63.8%）、50 代（63.0%）、70 歳以上（64.3%）で 6 割を超えている。

「刑を終えて出所した人やその家族のプライバシーを保護する」では、70 歳以上（73.2%）で 7 割を超えている。

### 【地域別】

各地区とも「就労支援など社会復帰に向けてサポートする」（五泉地区 60.6%、村松地区 62.2%）が最も高くなっている。

「刑を終えて出所した人やその家族が相談等できる体制を整備する」では、五泉地区（47.1%）の方が村松地区（39.5%）よりも 7 ポイントほど高くなっている。



刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るために必要なこと

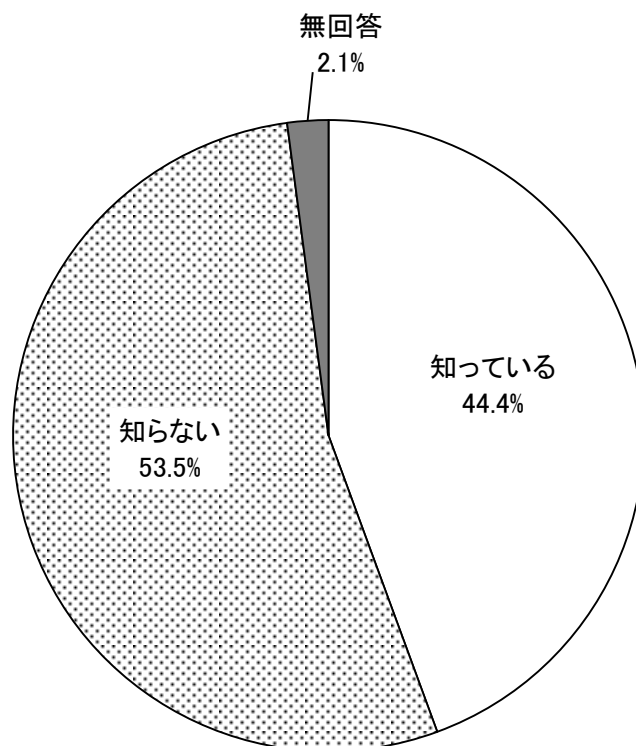
		合計	刑を終えて出所した人やその家族の人権を守る	就労支援など社会復帰に向けてサポートする	刑を終えて出所した人やその家族が相談する	刑を終えて出所した人やその家族を支援する	民間ボランティアを育成する	「社会を明るくする運動」(※1)等の活性化を図る	刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るための広報・啓発活動を進める	わからない	その他	回答なし
全体		426	50.9	60.1	44.6	9.4	7.7	8.2	19.5	3.3	1.9	
性別	男性	170	47.1	59.4	48.8	7.1	7.1	11.2	18.8	5.9	1.8	
	女性	242	52.9	59.5	41.3	10.7	7.9	6.2	20.7	1.7	2.1	
	無回答	14	64.3	78.6	50.0	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	
年齢別	18～29歳	52	46.2	61.5	44.2	9.6	3.8	5.8	17.3	3.8	0.0	
	30～39歳	58	41.4	63.8	46.6	13.8	3.4	5.2	19.0	6.9	0.0	
	40～49歳	51	29.4	58.8	33.3	2.0	5.9	2.0	31.4	5.9	2.0	
	50～59歳	73	53.4	63.0	49.3	13.7	5.5	5.5	17.8	5.5	1.4	
	60～69歳	133	54.1	54.9	42.9	9.8	11.3	11.3	18.0	0.8	3.8	
	70歳以上	56	73.2	64.3	51.8	5.4	12.5	16.1	17.9	0.0	1.8	
	無回答	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	五泉地区	259	51.7	60.6	47.1	9.3	8.1	10.0	18.1	2.7	1.9	
	村松地区	119	47.9	62.2	39.5	8.4	9.2	5.0	19.3	5.9	1.7	
	無回答	48	54.2	52.1	43.8	12.5	2.1	6.3	27.1	0.0	2.1	
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	39.1	65.2	52.2	8.7	4.3	13.0	8.7	8.7	0.0	
	30～39歳	15	33.3	60.0	53.3	20.0	6.7	6.7	20.0	20.0	0.0	
	40～49歳	19	15.8	47.4	26.3	0.0	5.3	5.3	42.1	5.3	5.3	
	50～59歳	28	46.4	64.3	42.9	10.7	7.1	3.6	17.9	10.7	0.0	
	60～69歳	58	55.2	58.6	56.9	5.2	6.9	15.5	13.8	1.7	1.7	
	70歳以上	27	66.7	59.3	48.1	3.7	11.1	14.8	22.2	0.0	3.7	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 18～29歳	29	51.7	58.6	37.9	10.3	3.4	0.0	24.1	0.0	0.0	
	30～39歳	43	44.2	65.1	44.2	11.6	2.3	4.7	18.6	2.3	0.0	
	40～49歳	31	35.5	64.5	35.5	3.2	6.5	0.0	25.8	6.5	0.0	
	50～59歳	44	56.8	61.4	54.5	15.9	4.5	6.8	18.2	2.3	2.3	
	60～69歳	69	53.6	50.7	30.4	13.0	13.0	8.7	21.7	0.0	5.8	
	70歳以上	25	84.0	64.0	56.0	4.0	16.0	16.0	16.0	0.0	0.0	
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## 11. 同和問題について

### (1) 同和地区（被差別部落）についての認知度

問 27. あなたは、同和地区（被差別部落）の存在や同和問題を知っていますか。  
(1つだけに○)

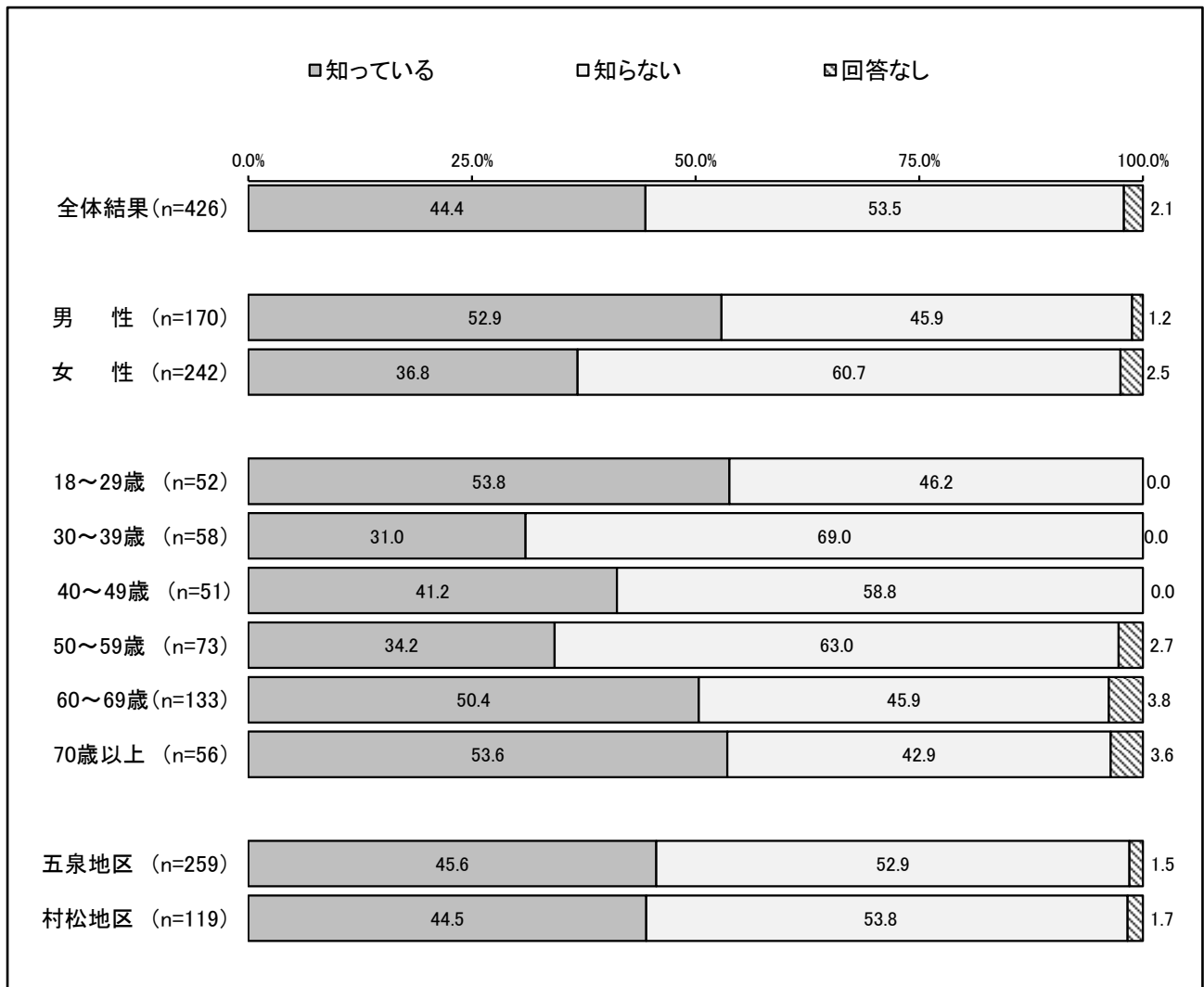
全体結果  
(n=426)



#### 【全体結果】

「知っている」が44.4%、「知らない」が53.5%となり、半数以上が「知らない」であった。

## 同和地区（被差別部落）についての認知度



### 【性別】

「知っている」（男性 52.9%、女性 36.8%）は、男性の方が高くなっている。

「知らない」（男性 45.9%、女性 60.7%）は、女性の方が高くなっている。

### 【年齢別】

「知っている」は、18～29歳（53.8%）、60代（50.4%）、70歳以上（53.6%）で5割を超えている。

「知らない」は、30代（69.0%）、50代（63.0%）で6割を超えている。

### 【地域別】

地区による顕著な差は見られない。

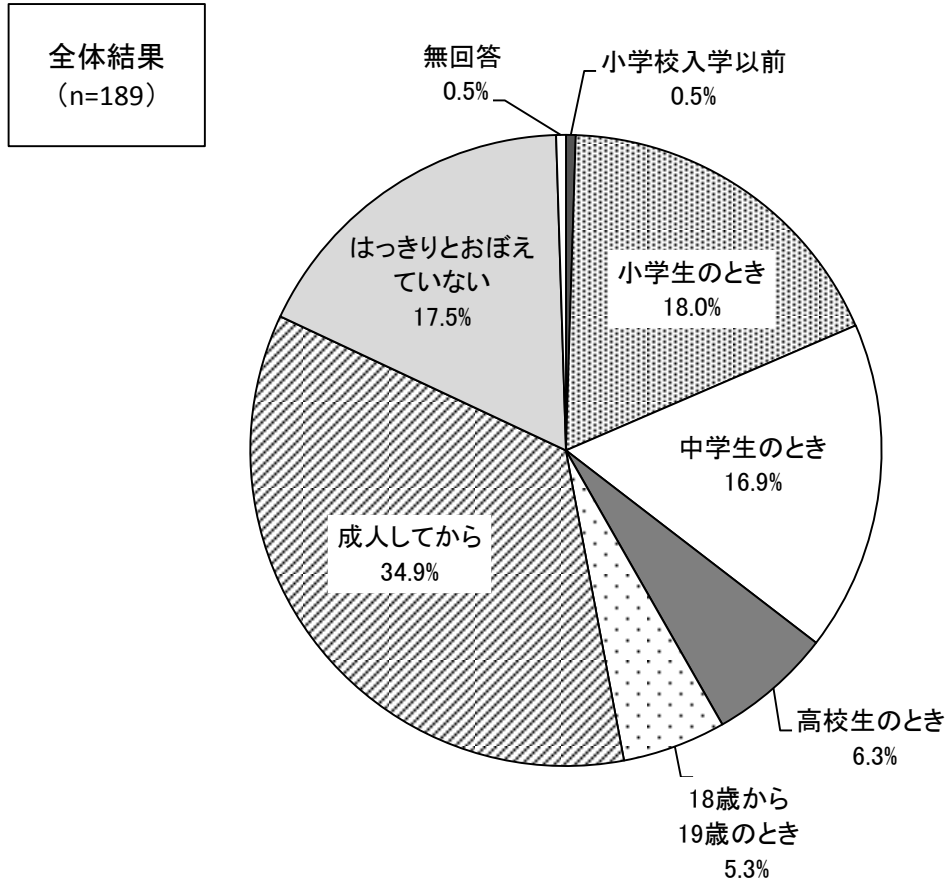
各地区とも「知らない」（五泉地区 52.9%、村松地区 53.8%）が5割を超えている。

## 同和地区（被差別部落）についての認知度

		合 計	知 っ て い る	知 ら な い	回 答 な し
全 体		426	44.4	53.5	2.1
性 別	男 性	170	52.9	45.9	1.2
	女 性	242	36.8	60.7	2.5
	無回答	14	71.4	21.4	7.1
年 齢 別	18～29歳	52	53.8	46.2	0.0
	30～39歳	58	31.0	69.0	0.0
	40～49歳	51	41.2	58.8	0.0
	50～59歳	73	34.2	63.0	2.7
	60～69歳	133	50.4	45.9	3.8
	70歳以上	56	53.6	42.9	3.6
	無回答	3	0.0	100.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	45.6	52.9	1.5
	村松地区	119	44.5	53.8	1.7
	無回答	48	37.5	56.3	6.3
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	56.5	43.5	0.0
	30～39歳	15	26.7	73.3	0.0
	40～49歳	19	42.1	57.9	0.0
	50～59歳	28	35.7	60.7	3.6
	60～69歳	58	67.2	31.0	1.7
	70歳以上	27	59.3	40.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	51.7	48.3	0.0
	30～39歳	43	32.6	67.4	0.0
	40～49歳	31	38.7	61.3	0.0
	50～59歳	44	34.1	63.6	2.3
	60～69歳	69	33.3	62.3	4.3
	70歳以上	25	40.0	52.0	8.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		378	56	41	3

## (2) 被差別部落や同和問題を知った時期について

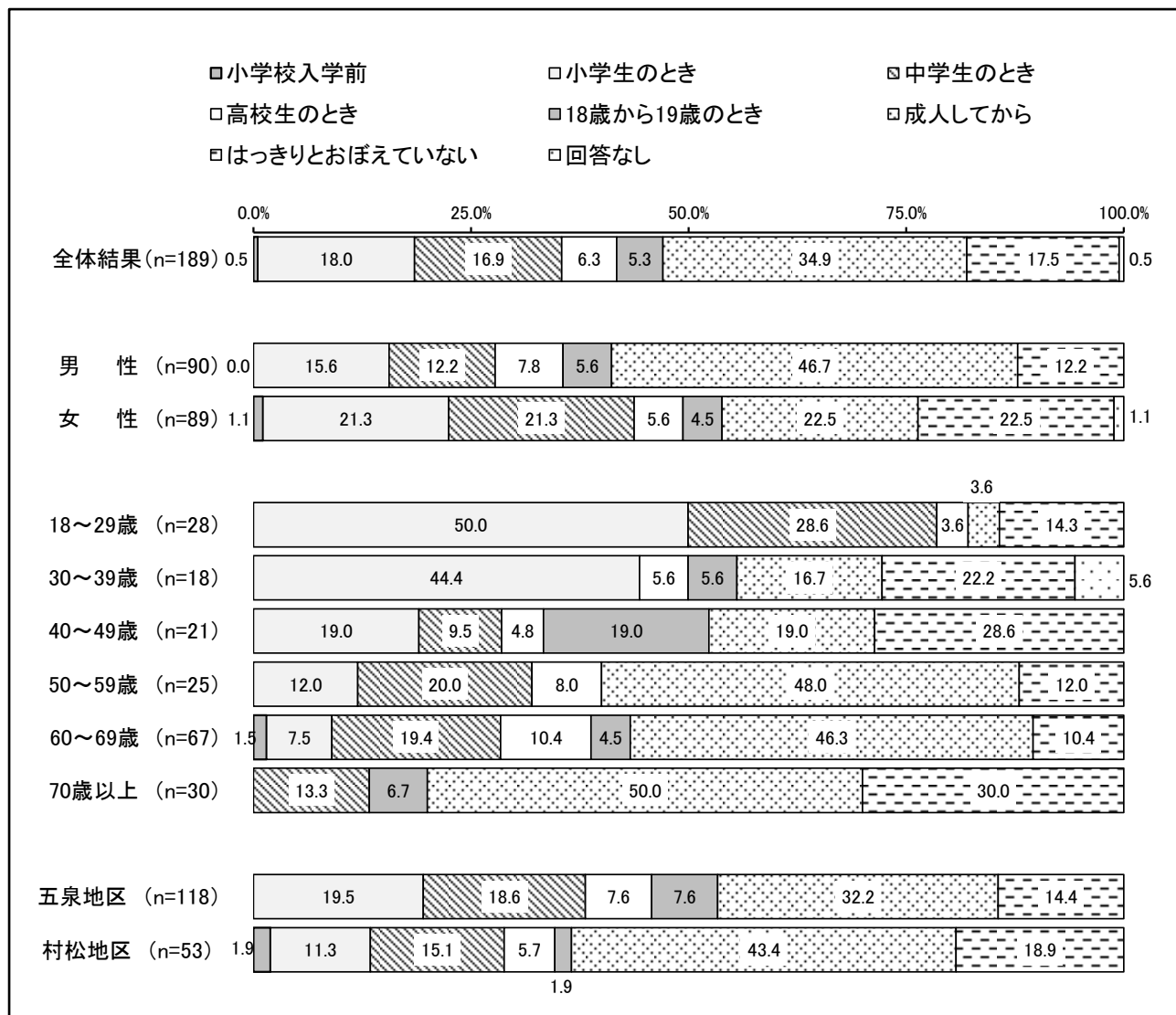
問 28. あなたが被差別部落や同和問題についてはじめて知ったのはいつ頃ですか。  
(1つだけに○)



### 【全体結果】

「成人してから」が 34.9%で最も多く、「小学生のとき」(18.0%)、「中学生のとき」(16.9%)と続いている。

## 被差別部落や同和問題を知った時期について



### 【性別】

男性は、「成人してから」（46.7%）が最も高く、「小学生のとき」（15.6%）が続いている。  
 女性は、「成人してから」、「はっきりとおぼえていない」（いずれも 22.5%）が最も高く、「小学生のとき」、「中学生のとき」（いずれも 21.3%）が続いている。

### 【年代別】

※該当者が少ないため、傾向記述は省略する。

### 【地域別】

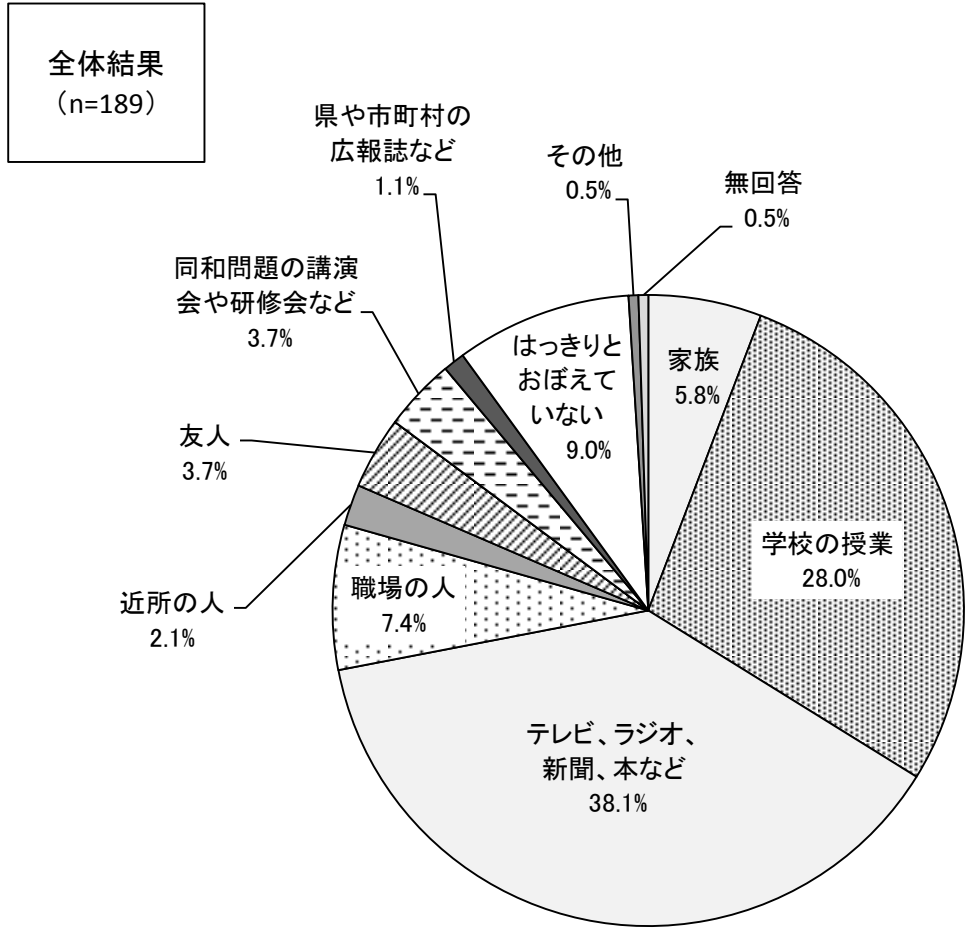
各地区とも「成人してから」（五泉地区 32.2%、村松地区 43.4%）が最も高くなっている。

被差別部落や同和問題を知った時期について

		合計	小学校入学以前	小学生のとき	中学生のとき	高校生のとき	18歳から19歳のとき	成人してから	はつきりとおぼえていない	回答なし
全体		189	0.5	18.0	16.9	6.3	5.3	34.9	17.5	0.5
性別	男性	90	0.0	15.6	12.2	7.8	5.6	46.7	12.2	0.0
	女性	89	1.1	21.3	21.3	5.6	4.5	22.5	22.5	1.1
	無回答	10	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	40.0	20.0	0.0
年齢別	18～29歳	28	0.0	50.0	28.6	3.6	0.0	3.6	14.3	0.0
	30～39歳	18	0.0	44.4	0.0	5.6	5.6	16.7	22.2	5.6
	40～49歳	21	0.0	19.0	9.5	4.8	19.0	19.0	28.6	0.0
	50～59歳	25	0.0	12.0	20.0	8.0	0.0	48.0	12.0	0.0
	60～69歳	67	1.5	7.5	19.4	10.4	4.5	46.3	10.4	0.0
	70歳以上	30	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	50.0	30.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	118	0.0	19.5	18.6	7.6	7.6	32.2	14.4	0.0
	村松地区	53	1.9	11.3	15.1	5.7	1.9	43.4	18.9	1.9
	無回答	18	0.0	27.8	11.1	0.0	0.0	27.8	33.3	0.0
性別・年齢別	男性 18～29歳	13	0.0	61.5	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0
	30～39歳	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	40～49歳	8	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	50.0	0.0
	50～59歳	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0
	60～69歳	39	0.0	10.3	12.8	10.3	7.7	53.8	5.1	0.0
	70歳以上	16	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	62.5	18.8	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	15	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	30～39歳	14	0.0	50.0	0.0	7.1	0.0	7.1	28.6	7.1
	40～49歳	12	0.0	16.7	8.3	8.3	25.0	25.0	16.7	0.0
	50～59歳	15	0.0	20.0	33.3	0.0	0.0	33.3	13.3	0.0
	60～69歳	23	4.3	4.3	26.1	13.0	0.0	34.8	17.4	0.0
	70歳以上	10	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	1.4	20.9	18.5	13.3	-	33.6	11.8	0.5

### (3) 被差別部落や同和問題を知ったきっかけ

問 29. あなたは、被差別部落の存在や同和問題を何（誰）から知りましたか。  
 (1つだけに○)



#### 【全体結果】

「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が 38.1%と最も高く、「学校の授業」が 28.0%と続いている。

#### 【性別】

男性では「テレビ、ラジオ、新聞、本など」(40.0%)が最も高く、女性では「学校の授業」(39.3%)が最も高くなっている。

#### 【年齢別】

※該当者が少ないため、傾向記述は省略する。

#### 【地域別】

五泉地区では「学校の授業」(35.6%)が最も高く、村松地区では「テレビ、ラジオ、新聞、本など」(56.6%)が最も高くなっている。



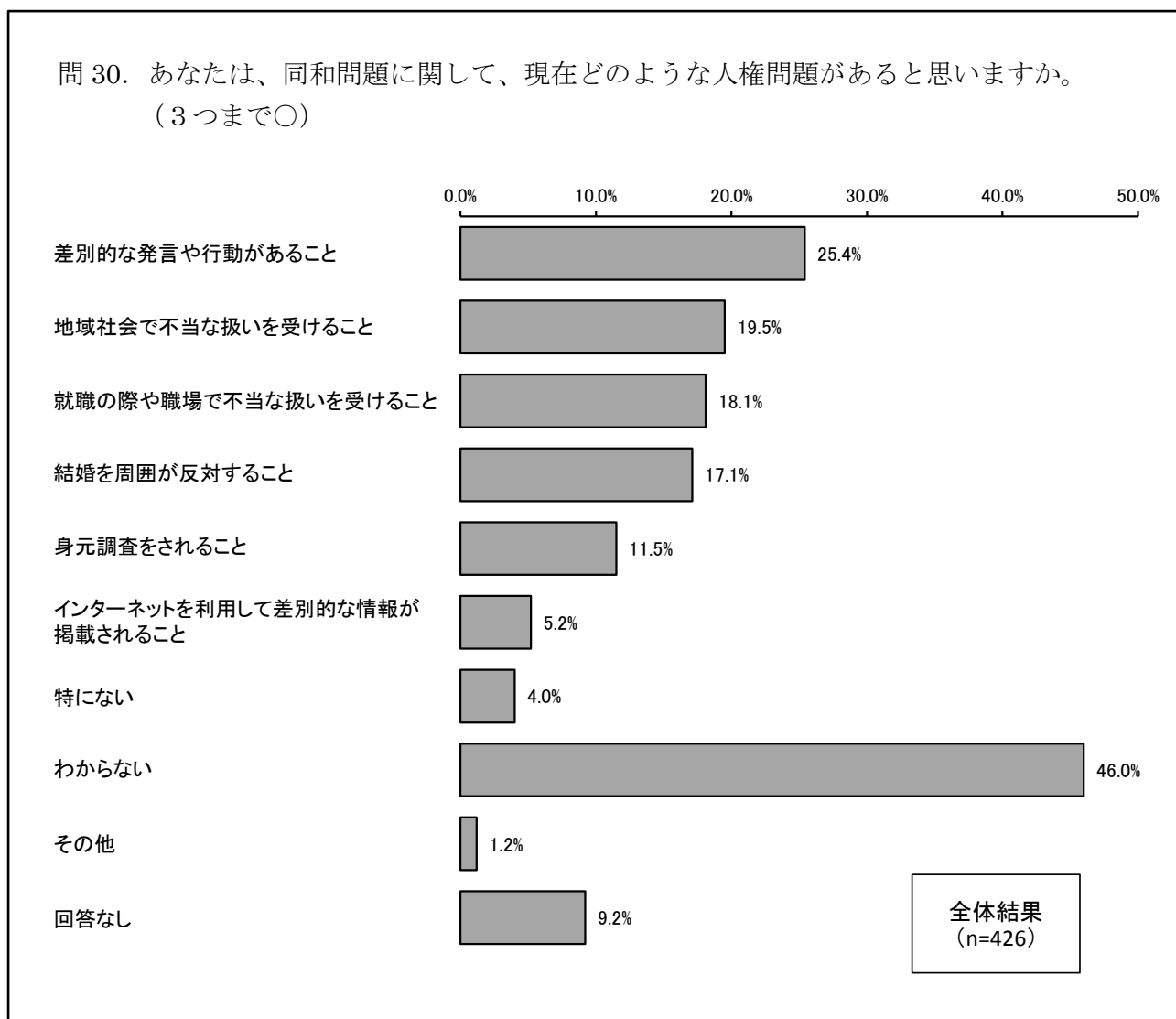
被差別部落や同和問題を知ったきっかけ①

		合計	家族から聞いた	学校の授業	テレビ、ラジオ、新聞、本など	職場の人から聞いた	近所の人から聞いた	友人から聞いた	親戚から聞いた
全体		189	5.8	28.0	38.1	7.4	2.1	3.7	0.0
性別	男性	90	5.6	17.8	40.0	8.9	2.2	4.4	0.0
	女性	89	6.7	39.3	36.0	4.5	1.1	3.4	0.0
	無回答	10	0.0	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳	28	3.6	78.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	18	22.2	44.4	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	21	4.8	23.8	28.6	14.3	0.0	4.8	0.0
	50～59歳	25	4.0	28.0	36.0	4.0	0.0	8.0	0.0
	60～69歳	67	6.0	14.9	46.3	9.0	1.5	4.5	0.0
	70歳以上	30	0.0	3.3	63.3	10.0	10.0	3.3	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	118	6.8	35.6	29.7	8.5	1.7	3.4	0.0
	村松地区	53	1.9	13.2	56.6	5.7	1.9	5.7	0.0
	無回答	18	11.1	22.2	38.9	5.6	5.6	0.0	0.0
性別・年齢別	男性 18～29歳	13	7.7	69.2	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	8	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	10	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	60～69歳	39	5.1	12.8	46.2	7.7	2.6	5.1	0.0
	70歳以上	16	0.0	0.0	62.5	12.5	6.3	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	15	0.0	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	14	21.4	50.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	12	0.0	33.3	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0
	50～59歳	15	6.7	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	23	8.7	17.4	47.8	8.7	0.0	4.3	0.0
	70歳以上	10	0.0	10.0	70.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	11.4	18.5	30.3	8.1	1.4	5.2	2.4

被差別部落や同和問題を知ったきっかけ②

		合計	同和問題の講演会や研修会など	県や市町村の広報誌など	はつきりとおぼえていない	その他	回答なし
全体		189	3.7	1.1	9.0	0.5	0.5
性別	男性	90	4.4	2.2	13.3	1.1	0.0
	女性	89	3.4	0.0	4.5	0.0	1.1
	無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳	28	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	18	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	40～49歳	21	4.8	0.0	19.0	0.0	0.0
	50～59歳	25	4.0	0.0	12.0	4.0	0.0
	60～69歳	67	4.5	3.0	10.4	0.0	0.0
	70歳以上	30	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	118	3.4	1.7	8.5	0.8	0.0
	村松地区	53	5.7	0.0	7.5	0.0	1.9
	無回答	18	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
性別・年齢別	男性 18～29歳	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	8	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
	50～59歳	10	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0
	60～69歳	39	5.1	5.1	10.3	0.0	0.0
	70歳以上	16	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	40～49歳	12	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
	50～59歳	15	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	60～69歳	23	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0
	70歳以上	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	5.2	1.4	9.5	3.8	2.8

#### (4) 同和問題に対する意識について



#### 【全体結果】

問題意識については、「差別的な発言や行動があること」(25.4%)が最も高く、「地域社会で不当な扱いを受けること」(19.5%)、「就職の際や職場で不当な扱いを受けること」(18.1%)が続いている。

なお、「わからない」が46.0%と項目の中では最も高く、4割を超えている。

### 【性別】

問題意識については、男女ともに「差別的な発言や行動があること」（男性 27.6%、女性 23.6%）が最も高く、男性の方が女性よりも 4 ポイント高くなっている。

なお、「わからない」では女性（53.5%）が 5 割以上となっている。

### 【年齢別】

「差別的な発言や行動があること」では 18～29 歳（30.8%）、50 代（32.9%）で 3 割を超えている。

「就職の際や職場で不当な扱いを受けること」は、18～29 歳（30.8%）で 3 割を超え、他の年代では 2 割前後となっている中で、比較的高くなっている。

「結婚を周囲が反対すること」についても、18～29 歳（32.7%）で 3 割を超え、他の年代で 1 割台となっている中で、比較的高くなっている。

なお、「わからない」では各年代で高くなっているが、特に 40 代（64.7%）では 6 割を超えている。

### 【地域別】

問題意識については各地区とも「差別的な発言や行動があること」（五泉地区 27.0%、村松地区 20.2%）が最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区よりも 6 ポイントほど高くなっている。

「結婚を周囲が反対すること」では、五泉地区（20.5%）の方が村松地区（9.2%）よりも 11 ポイントほど高くなっている。

なお、「わからない」（五泉地区 45.2%、村松地区 49.6%）は各地区とも 4 割を超えているが、村松地区の方が五泉地区よりも 4 ポイントほど高くなっている。

同和問題に関する問題意識について①

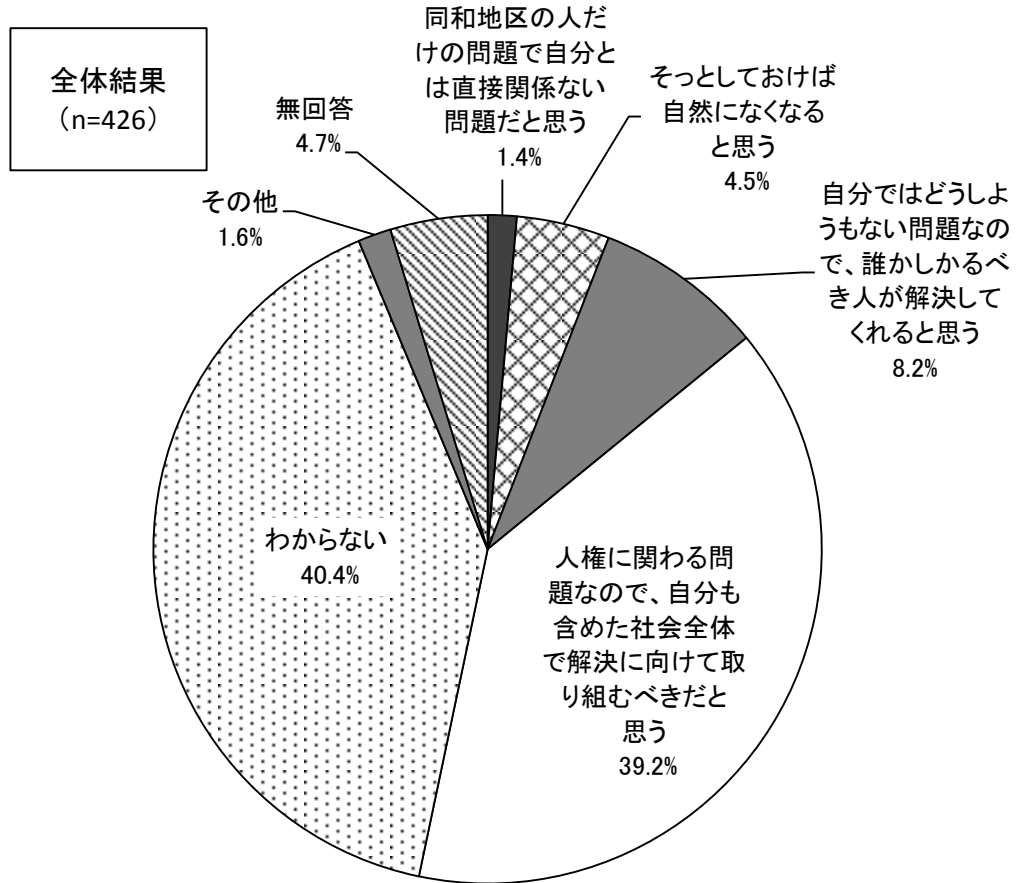
		合計	差別的な発言や行動があること	身元調査をされること	就職の際や職場で不当な扱いを受けること	結婚を周囲が反対すること	地域社会で不当な扱いを受けること	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	特にない
全体		426	25.4	11.5	18.1	17.1	19.5	5.2	4.0
性別	男性	170	27.6	15.3	19.4	19.4	20.0	5.9	5.9
	女性	242	23.6	7.4	16.1	15.7	18.6	5.0	2.5
	無回答	14	28.6	35.7	35.7	14.3	28.6	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	30.8	7.7	30.8	32.7	25.0	5.8	3.8
	30～39歳	58	25.9	6.9	15.5	13.8	27.6	3.4	10.3
	40～49歳	51	17.6	9.8	11.8	15.7	15.7	2.0	3.9
	50～59歳	73	32.9	11.0	20.5	12.3	15.1	6.8	1.4
	60～69歳	133	25.6	15.8	16.5	17.3	15.8	5.3	3.8
	70歳以上	56	16.1	12.5	16.1	12.5	21.4	7.1	1.8
	無回答	3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	27.0	11.6	18.9	20.5	19.3	4.6	2.7
	村松地区	119	20.2	13.4	17.6	9.2	19.3	6.7	4.2
	無回答	48	29.2	6.3	14.6	18.8	20.8	4.2	10.4
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	39.1	8.7	30.4	30.4	21.7	4.3	4.3
	30～39歳	15	20.0	13.3	26.7	6.7	33.3	6.7	20.0
	40～49歳	19	10.5	5.3	10.5	21.1	15.8	0.0	10.5
	50～59歳	28	35.7	14.3	17.9	10.7	10.7	3.6	3.6
	60～69歳	58	27.6	20.7	19.0	24.1	15.5	8.6	5.2
	70歳以上	27	25.9	18.5	14.8	14.8	33.3	7.4	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	24.1	6.9	31.0	34.5	27.6	6.9	3.4
	30～39歳	43	27.9	4.7	11.6	16.3	25.6	2.3	7.0
	40～49歳	31	19.4	9.7	9.7	12.9	16.1	3.2	0.0
	50～59歳	44	31.8	9.1	22.7	13.6	18.2	9.1	0.0
	60～69歳	69	23.2	8.7	11.6	13.0	15.9	2.9	1.4
	70歳以上	25	8.0	4.0	16.0	8.0	8.0	8.0	4.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	27.0	22.7	28.4	40.3	-	9.0	11.8

同和問題に関する問題意識について①

		合 計	わ か ら な い	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	46.0	1.2	9.2
性 別	男 性	170	37.6	1.8	9.4
	女 性	242	53.3	0.8	8.7
	無回答	14	21.4	0.0	14.3
年 齢 別	18～29歳	52	34.6	0.0	5.8
	30～39歳	58	46.6	0.0	3.4
	40～49歳	51	64.7	2.0	3.9
	50～59歳	73	43.8	1.4	12.3
	60～69歳	133	44.4	0.8	12.0
	70歳以上	56	46.4	3.6	12.5
	無回答	3	33.3	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	45.2	1.5	8.5
	村松地区	119	49.6	0.8	10.1
	無回答	48	41.7	0.0	10.4
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	30.4	0.0	8.7
	30～39歳	15	40.0	0.0	0.0
	40～49歳	19	52.6	0.0	10.5
	50～59歳	28	42.9	0.0	10.7
	60～69歳	58	36.2	1.7	8.6
	70歳以上	27	29.6	7.4	14.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	37.9	0.0	3.4
	30～39歳	43	48.8	0.0	4.7
	40～49歳	31	74.2	3.2	0.0
	50～59歳	44	43.2	2.3	13.6
	60～69歳	69	53.6	0.0	14.5
	70歳以上	25	68.0	0.0	8.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	24.6	3.3	2.8

(5) 被差別部落や同和問題に対する考え方

問 31. あなたは、被差別部落の存在や同和問題について、どのように考えますか。  
(1つだけに○)



【全体結果】

「人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う」が39.2%と4割弱となっており、「同和地区の人だけの問題で自分とは直接関係がない問題だと思う」(1.4%)、「そっとしておけば自然になくなる」(4.5%)、「自分ではどうしようもない問題なので、誰かしかるべき人が解決してくれると思う」(8.2%)は1割に満たない。

一方で、「わからない」との回答が40.4%と4割を超えている。

### 【性別】

男女ともに、「人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う」（男性 36.5%、女性 39.7%）と 4 割弱となっている。

なお、「わからない」は女性（43.8%）で 4 割を超え、男性（37.1%）よりも 6 ポイントほど高くなっている。

### 【年代】

「人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う」では 70 歳以上（55.4%）が最も高く、40 代（27.5%）が最も低い。

「わからない」は、40 代（52.9%）が最も高く、18～29 歳（42.3%）、30 代（48.3%）、50 代（42.5%）で 4 割を超えている。

### 【地域別】

地区による顕著な差は見られない。

各地区とも「人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う」（五泉地区 39.8%、村松地区 40.3%）、「わからない」（五泉地区 39.8%、村松地区 41.2%）で 4 割前後となっている。

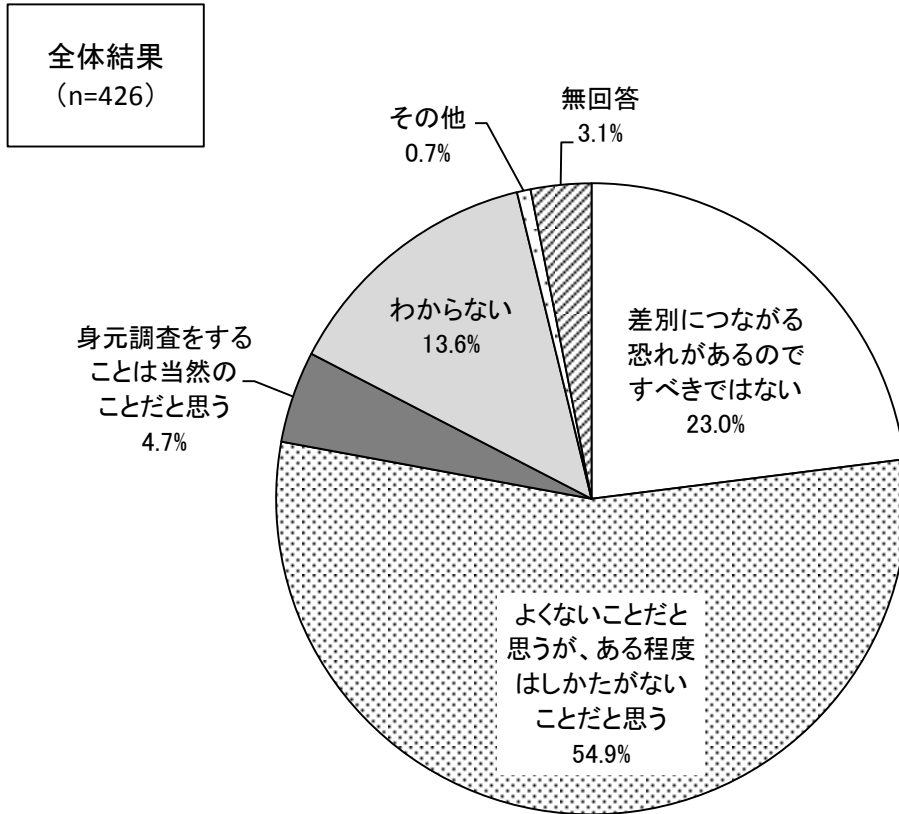


## 被差別部落や同和問題に対する考え方

		合計	同和地区の人だけの問題だと 思う	そつとしておけば自然になく なると思う	自分ではどうしようもない問 題なので、誰かしかるべき人 が解決してくれると思う	人権に関わる問題なので、自 分も含めた社会全体で解決に 取り組むべきだと思ふ	わからない	その他	回答なし
全体		426	1.4	4.5	8.2	39.2	40.4	1.6	4.7
性別	男性	170	2.4	7.6	10.0	36.5	37.1	1.8	4.7
	女性	242	0.8	2.5	7.0	39.7	43.8	1.7	4.5
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	64.3	21.4	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	1.9	5.8	9.6	38.5	42.3	1.9	0.0
	30～39歳	58	0.0	1.7	3.4	43.1	48.3	1.7	1.7
	40～49歳	51	2.0	5.9	7.8	27.5	52.9	2.0	2.0
	50～59歳	73	1.4	0.0	13.7	32.9	42.5	1.4	8.2
	60～69歳	133	1.5	6.8	6.8	39.1	36.8	2.3	6.8
	70歳以上	56	1.8	5.4	7.1	55.4	25.0	0.0	5.4
	無回答	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	1.5	3.9	8.5	39.8	39.8	2.3	4.2
	村松地区	119	0.8	6.7	6.7	40.3	41.2	0.8	3.4
	無回答	48	2.1	2.1	10.4	33.3	41.7	0.0	10.4
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	4.3	8.7	8.7	34.8	43.5	0.0	0.0
	30～39歳	15	0.0	0.0	6.7	26.7	66.7	0.0	0.0
	40～49歳	19	0.0	10.5	15.8	15.8	52.6	0.0	5.3
	50～59歳	28	3.6	0.0	14.3	28.6	35.7	3.6	14.3
	60～69歳	58	1.7	12.1	8.6	43.1	25.9	3.4	5.2
	70歳以上	27	3.7	7.4	7.4	51.9	29.6	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	0.0	3.4	10.3	41.4	41.4	3.4	0.0
	30～39歳	43	0.0	2.3	2.3	48.8	41.9	2.3	2.3
	40～49歳	31	3.2	3.2	3.2	32.3	54.8	3.2	0.0
	50～59歳	44	0.0	0.0	13.6	36.4	45.5	0.0	4.5
	60～69歳	69	1.4	2.9	5.8	33.3	47.8	1.4	7.2
	70歳以上	25	0.0	4.0	8.0	56.0	20.0	0.0	12.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	2.4	14.7	12.3	37.9	22.7	4.3	1.4

## (6) 身元調査に対する考え方

問 32. あなたは、身元調査（※）についてどのように考えますか。  
（1つだけに○）



※身元調査：他人の身元（本籍、経歴、家庭環境、思想、信条、資産など）を調べること。従業員の採用、結婚、金銭消費貸借などの際に行われることが多く、興信所（探偵）など民間の調査機関に調査を依頼して行うこともある。

### 【全体結果】

「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」が 54.9%と半数以上となり、「差別につながる恐れがあるのですべきではない」が 23.0%となっている。

### 【性別】

男女ともに「よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う」（男性 56.5%、女性 53.7%）が 5 割を超えている。

「差別につながる恐れがあるのですねべきではない」（男性 23.5%、女性 22.7%）は男女ともに 2 割程度となっている。

### 【年齢別】

「よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う」では、30 代以上で 5 割を超えている。

「差別につながる恐れがあるのですねべきではない」では、50 代（27.4%）で最も高く、18～29 歳（25.0%）、60 代（22.6%）、70 歳以上（26.8%）で 2 割を超えているが、30 代（19.0%）、40 代（17.6%）では 1 割台となっている。

### 【地域別】

地区による顕著な差は見られない。

各地区とも「よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う」（五泉地区 57.1%、村松地区 57.1%）が 5 割を超えている。

「差別につながる恐れがあるのですねべきではない」（五泉地区 22.4%、村松地区 23.5%）では 2 割となっている。

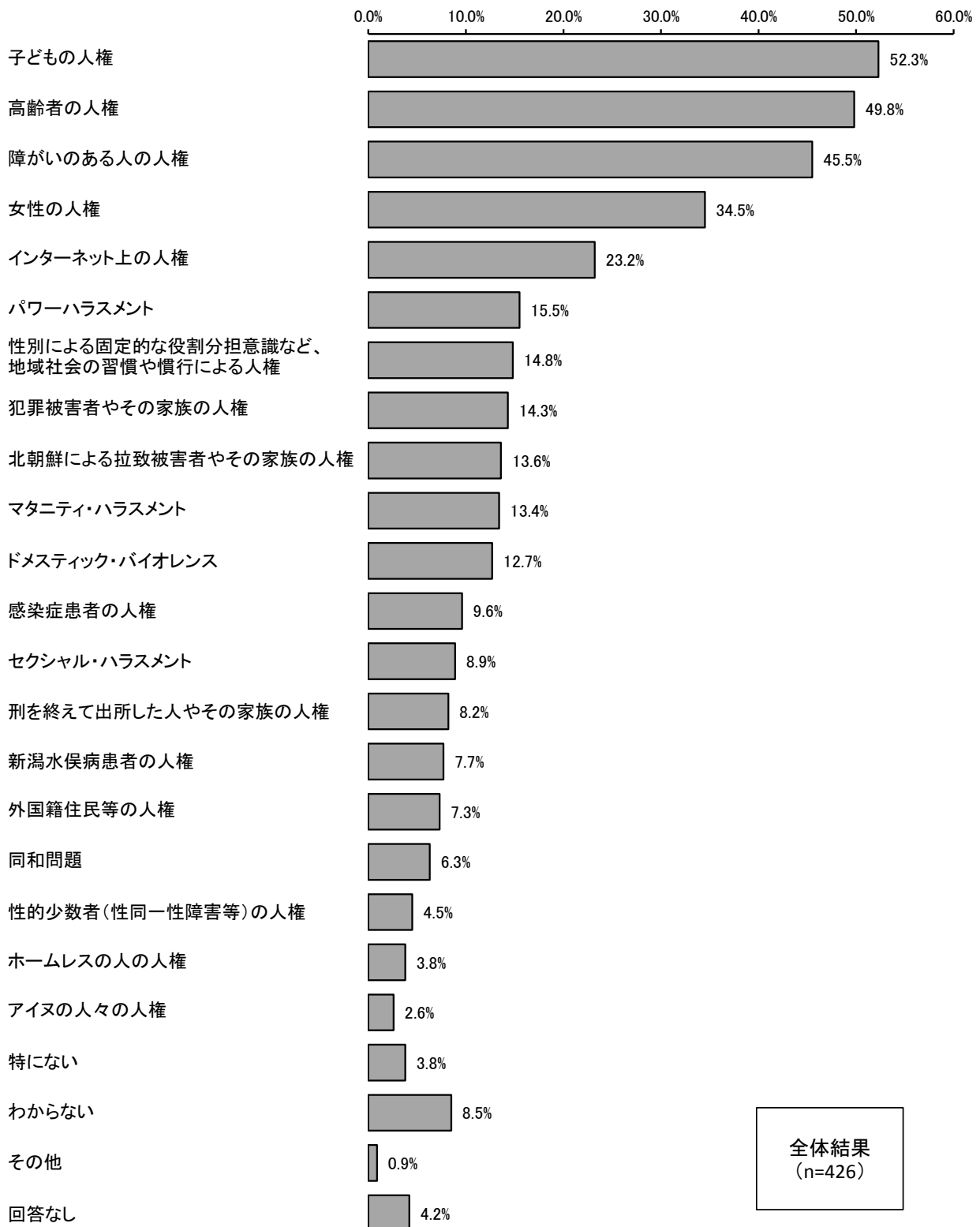
## 身元調査に対する考え方

		合計	いあるのですべきではな	が、ないことだと思	身元調査をすることは	わからない	その他	回答なし
全体		426	23.0	54.9	4.7	13.6	0.7	3.1
性別	男性	170	23.5	56.5	6.5	10.0	0.6	2.9
	女性	242	22.7	53.7	3.3	16.5	0.8	2.9
	無回答	14	21.4	57.1	7.1	7.1	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	25.0	48.1	7.7	17.3	1.9	0.0
	30～39歳	58	19.0	58.6	5.2	15.5	0.0	1.7
	40～49歳	51	17.6	58.8	5.9	17.6	0.0	0.0
	50～59歳	73	27.4	53.4	1.4	12.3	0.0	5.5
	60～69歳	133	22.6	54.9	3.8	12.8	1.5	4.5
	70歳以上	56	26.8	53.6	7.1	8.9	0.0	3.6
	無回答	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	22.4	57.1	4.6	12.7	0.8	2.3
	村松地区	119	23.5	57.1	3.4	13.4	0.0	2.5
	無回答	48	25.0	37.5	8.3	18.8	2.1	8.3
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	30.4	52.2	8.7	8.7	0.0	0.0
	30～39歳	15	33.3	46.7	6.7	13.3	0.0	0.0
	40～49歳	19	26.3	52.6	10.5	10.5	0.0	0.0
	50～59歳	28	17.9	53.6	0.0	17.9	0.0	10.7
	60～69歳	58	22.4	60.3	6.9	6.9	1.7	1.7
	70歳以上	27	18.5	63.0	7.4	7.4	0.0	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	20.7	44.8	6.9	24.1	3.4	0.0
	30～39歳	43	14.0	62.8	4.7	16.3	0.0	2.3
	40～49歳	31	12.9	64.5	3.2	19.4	0.0	0.0
	50～59歳	44	31.8	54.5	2.3	9.1	0.0	2.3
	60～69歳	69	23.2	49.3	1.4	18.8	1.4	5.8
	70歳以上	25	36.0	44.0	4.0	12.0	0.0	4.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新潟県（平成25年度調査）		211	19.8	55.3	10.1	8.2	2.9	3.7

## 12. 人権問題を解決する方策について

### (1) 市が積極的に取り組む必要がある人権課題について

問 33. あなたは、今後、五泉市が積極的に取り組む必要がある人権課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)



### 【全体結果】

「子どもの人権」(52.3%)が最も多く、「高齢者の人権」(49.8%)、「障がいのある人の人権」(45.5%)、「女性の人権」(34.5%)と続いている。

### 【性別】

男女ともに「子どもの人権」(男性 51.2%、女性 53.7%)が最も高くなっている。

「高齢者の人権」(男性 45.9%、女性 52.9%)、「女性の人権」(男性 30.0%、女性 38.8%)では、女性の方が男性よりも7ポイント以上高くなっている。

### 【年代別】

30代が、「女性の人権」(60.3%)、「子どもの人権」(79.3%)、「高齢者の人権」(51.7%)、「障がいのある人の人権」(55.2%)において各年齢の中で最も高くなっている。

特に、「子どもの人権」では、他の年代が4~5割であるのに対し、30代では8割近くとなっている。

### 【地域別】

五泉地区では、「子どもの人権」(56.8%)が最も多く、「高齢者の人権」(53.3%)、「障がいのある人の人権」(50.2%)、「女性の人権」(39.8%)と続いている。

村松地区では、「高齢者の人権」(41.2%)が最も多く、「子どもの人権」、「障がいのある人の人権」(いずれも 39.5%)、「女性の人権」(24.4%)と続いている。

「女性の人権」、「子どもの人権」、「高齢者の人権」、「障がいのある人の人権」において、いずれも五泉地区の方が村松地区よりも10ポイント以上高くなっている。

市が積極的に取り組む必要がある人権課題について①

		合 計	女 性 の 人 権	子 ど も の 人 権	高 齢 者 の 人 権	障 が い の あ る 人 の 人 権	同 和 問 題	外 国 籍 住 民 等 の 人 権	感 染 症 患 者 の 人 権	イ ン タ ー ネ ッ ト 上 の 人 権
全 体		426	34.5	52.3	49.8	45.5	6.3	7.3	9.6	23.2
性 別	男 性	170	30.0	51.2	45.9	45.9	7.6	7.6	12.4	22.9
	女 性	242	38.8	53.7	52.9	44.6	5.8	7.0	7.9	23.1
	無回答	14	14.3	42.9	42.9	57.1	0.0	7.1	7.1	28.6
年 齢 別	18～29歳	52	38.5	44.2	50.0	34.6	5.8	5.8	7.7	15.4
	30～39歳	58	60.3	79.3	51.7	55.2	5.2	8.6	6.9	19.0
	40～49歳	51	25.5	43.1	47.1	49.0	5.9	9.8	13.7	23.5
	50～59歳	73	35.6	49.3	50.7	37.0	9.6	4.1	6.8	26.0
	60～69歳	133	32.3	48.9	49.6	46.6	6.0	10.5	9.0	27.8
	70歳以上	56	17.9	51.8	48.2	50.0	5.4	1.8	14.3	21.4
	無回答	3	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
地 域 別	五泉地区	259	39.8	56.8	53.3	50.2	7.3	7.7	9.3	25.9
	村松地区	119	24.4	39.5	41.2	39.5	4.2	5.9	10.1	21.8
	無回答	48	31.3	60.4	52.1	35.4	6.3	8.3	10.4	12.5
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	39.1	34.8	52.2	21.7	4.3	4.3	13.0	17.4
	30～39歳	15	60.0	93.3	33.3	60.0	13.3	13.3	13.3	20.0
	40～49歳	19	21.1	42.1	36.8	52.6	5.3	15.8	21.1	15.8
	50～59歳	28	21.4	53.6	46.4	35.7	7.1	3.6	10.7	28.6
	60～69歳	58	32.8	50.0	51.7	53.4	8.6	10.3	8.6	24.1
	70歳以上	27	14.8	48.1	40.7	48.1	7.4	0.0	14.8	25.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	37.9	51.7	48.3	44.8	6.9	6.9	3.4	13.8
	30～39歳	43	60.5	74.4	58.1	53.5	2.3	7.0	4.7	18.6
	40～49歳	31	29.0	45.2	54.8	45.2	6.5	6.5	9.7	25.8
	50～59歳	44	45.5	47.7	54.5	38.6	11.4	4.5	4.5	25.0
	60～69歳	69	31.9	47.8	47.8	39.1	4.3	10.1	10.1	29.0
	70歳以上	25	24.0	56.0	56.0	52.0	4.0	4.0	12.0	20.0
	無回答	1	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

市が積極的に取り組む必要がある人権課題について②

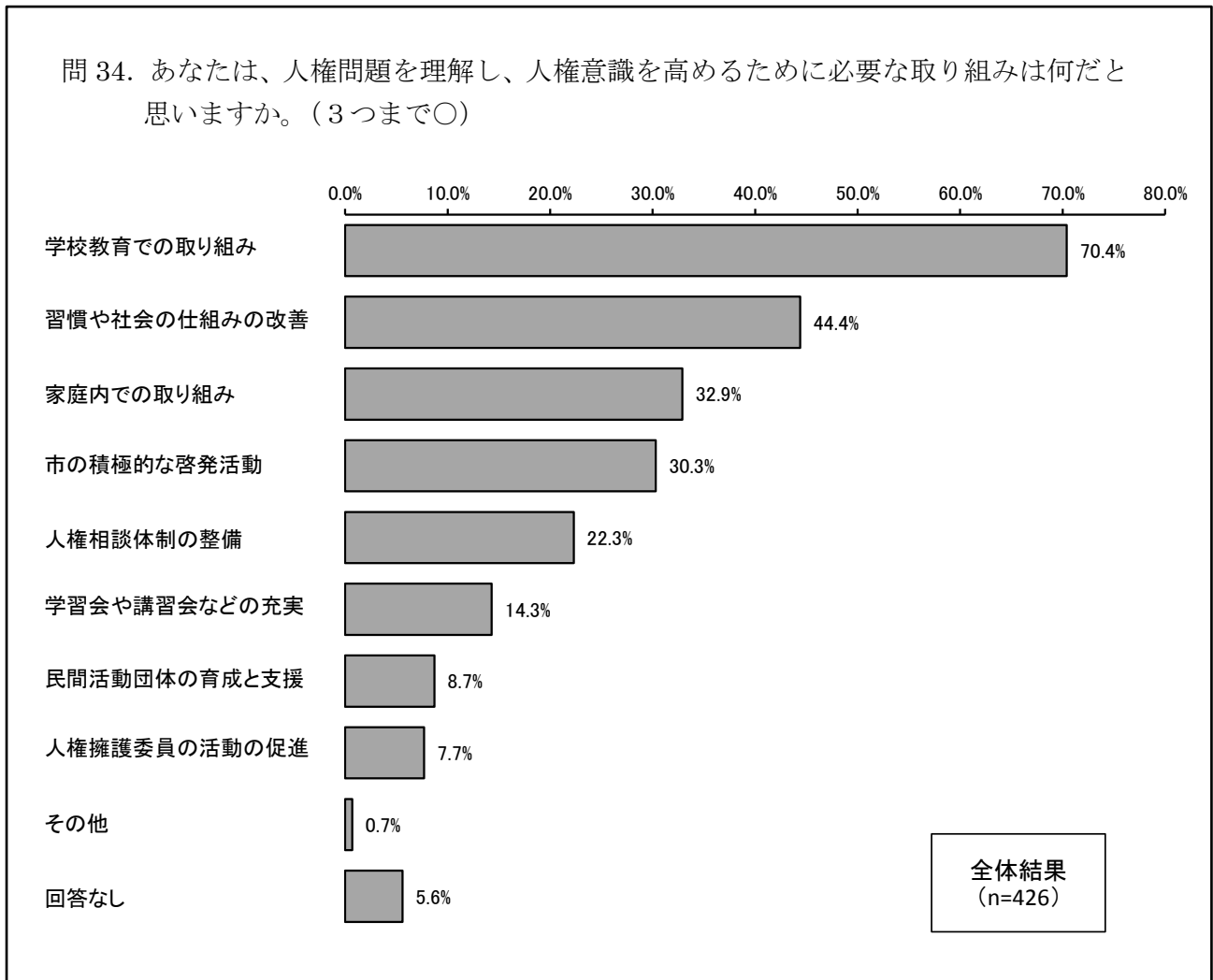
		合計	新潟水俣病患者の人権	北朝鮮による拉致被害者やその家族の人権	犯罪被害者やその家族の人権	刑を終えて出所した人やその家族の人権	性的少数者（性同一性障害等）の人権	ホームレスの人の人権	セクシャル・ハラスメント	パワーハラスメント
全体		426	7.7	13.6	14.3	8.2	4.5	3.8	8.9	15.5
性別	男性	170	10.6	15.3	19.4	8.8	4.7	4.7	6.5	14.1
	女性	242	6.2	12.4	11.6	7.4	4.5	3.3	11.2	16.9
	無回答	14	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
年齢別	18～29歳	52	9.6	1.9	3.8	3.8	3.8	1.9	7.7	17.3
	30～39歳	58	8.6	12.1	10.3	3.4	12.1	6.9	17.2	24.1
	40～49歳	51	3.9	7.8	5.9	5.9	7.8	3.9	3.9	21.6
	50～59歳	73	9.6	13.7	11.0	6.8	1.4	4.1	11.0	20.5
	60～69歳	133	6.8	15.8	21.8	11.3	3.8	3.8	9.0	12.0
	70歳以上	56	8.9	26.8	23.2	14.3	0.0	1.8	3.6	1.8
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	8.1	15.1	16.2	8.5	5.4	3.5	7.3	13.1
	村松地区	119	7.6	12.6	13.4	7.6	3.4	4.2	11.8	20.2
	無回答	48	6.3	8.3	6.3	8.3	2.1	4.2	10.4	16.7
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	17.4
	30～39歳	15	20.0	13.3	13.3	6.7	20.0	13.3	6.7	13.3
	40～49歳	19	5.3	21.1	5.3	5.3	15.8	5.3	0.0	31.6
	50～59歳	28	10.7	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	3.6	10.7
	60～69歳	58	10.3	13.8	27.6	12.1	3.4	5.2	12.1	15.5
	70歳以上	27	7.4	25.9	29.6	11.1	0.0	0.0	7.4	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	13.0	14.0	15.0
	女性 18～29歳	29	6.9	0.0	6.9	3.4	6.9	3.4	13.8	17.2
	30～39歳	43	4.7	11.6	9.3	2.3	9.3	4.7	20.9	27.9
	40～49歳	31	3.2	0.0	6.5	6.5	3.2	3.2	6.5	16.1
	50～59歳	44	9.1	13.6	4.5	6.8	2.3	2.3	15.9	27.3
	60～69歳	69	4.3	17.4	18.8	10.1	4.3	2.9	7.2	8.7
	70歳以上	25	12.0	28.0	20.0	16.0	0.0	4.0	0.0	4.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



市が積極的に取り組む必要がある人権課題について③

		合計	マタニティ・ハラスメント	ドメスティック・バイオレンス	性別による固定的な役割分担意識など、地域社会の習慣や慣行による人権	アイヌの人々の人権	特になし	わからない	その他	回答なし
全体		426	13.4	12.7	14.8	2.6	3.8	8.5	0.9	4.2
性別	男性	170	10.0	12.4	14.1	4.7	5.3	5.9	0.6	1.8
	女性	242	16.5	12.8	15.7	1.2	1.7	9.9	1.2	6.2
	無回答	14	0.0	14.3	7.1	0.0	21.4	14.3	0.0	0.0
年齢別	18～29歳	52	15.4	11.5	7.7	0.0	7.7	7.7	1.9	0.0
	30～39歳	58	27.6	17.2	19.0	1.7	1.7	10.3	1.7	0.0
	40～49歳	51	9.8	13.7	13.7	0.0	2.0	7.8	2.0	3.9
	50～59歳	73	16.4	13.7	16.4	1.4	2.7	9.6	0.0	5.5
	60～69歳	133	11.3	12.8	15.8	5.3	2.3	6.8	0.8	6.8
	70歳以上	56	1.8	7.1	14.3	3.6	8.9	8.9	0.0	5.4
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
地域別	五泉地区	259	13.5	13.9	13.1	2.7	3.1	8.5	1.2	3.1
	村松地区	119	10.9	10.9	19.3	2.5	3.4	8.4	0.8	6.7
	無回答	48	18.8	10.4	12.5	2.1	8.3	8.3	0.0	4.2
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	4.3	13.0	8.7	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0
	30～39歳	15	26.7	13.3	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
	40～49歳	19	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0
	50～59歳	28	7.1	10.7	10.7	3.6	3.6	7.1	0.0	3.6
	60～69歳	58	13.8	15.5	20.7	8.6	0.0	5.2	0.0	3.4
	70歳以上	27	0.0	3.7	11.1	7.4	14.8	7.4	0.0	0.0
	無回答	0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0
	女性 18～29歳	29	24.1	10.3	6.9	0.0	6.9	10.3	3.4	0.0
	30～39歳	43	27.9	18.6	18.6	2.3	0.0	14.0	0.0	0.0
	40～49歳	31	9.7	12.9	19.4	0.0	0.0	6.5	3.2	6.5
	50～59歳	44	22.7	15.9	20.5	0.0	0.0	11.4	0.0	6.8
	60～69歳	69	10.1	10.1	11.6	2.9	2.9	7.2	1.4	10.1
	70歳以上	25	4.0	8.0	20.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (2) 人権問題への理解、人権意識を高めるために必要な取り組みについて



### 【全体結果】

「学校教育での取り組み」(70.4%)が最も高く、「習慣や社会の仕組みの改善」(44.4%)、「家庭内での取り組み」(32.9%)、「市の積極的な啓発活動」(30.3%)が続いている。

### 【性別】

男女ともに「学校教育での取り組み」（男性 67.1%、女性 73.1%）が最も高くなっているが、女性の方が男性よりも 6 ポイント高くなっている。

「市の積極的な啓発活動」（男性 32.9%、女性 28.9%）は、男性の方が女性よりも 4 ポイント高くなっている。

### 【年齢別】

各年代において「学校教育での取り組み」が最も高くなり、18 歳～60 代において 7 割程度となっている。

「習慣や社会の仕組みの改善」では、30 代（58.6%）で最も高くなっており、18～29 歳（50.0%）5 割以上となっている。

「家庭内での取り組み」では、60 代（39.8%）、70 歳以上（39.3%）で高く、4 割弱となっている。

### 【地域別】

各地区ともに「学校教育での取り組み」（五泉地区 73.0%、村松地区 64.7%）が最も高くなっているが、五泉地区の方が村松地区よりも 8 ポイントほど高くなっている。

「人権相談体制の整備」（五泉地区 25.1%、村松地区 18.5%）では、五泉地区の方が村松地区よりも 6 ポイントほど高くなっている。

人権問題への理解、人権意識を高めるために必要な取り組みについて①

		合計	学校教育での取り組み	家庭内での取り組み	改善習慣や社会の仕組みの	市の積極的な啓発活動	充実学習会や講習会などの	支援民間活動団体の育成と	人権相談体制の整備
全体		426	70.4	32.9	44.4	30.3	14.3	8.7	22.3
性別	男性	170	67.1	31.2	43.5	32.9	12.4	8.8	23.5
	女性	242	73.1	33.5	46.3	28.9	15.7	8.3	20.2
	無回答	14	64.3	42.9	21.4	21.4	14.3	14.3	42.9
年齢別	18～29歳	52	76.9	19.2	50.0	32.7	21.2	3.8	17.3
	30～39歳	58	72.4	31.0	58.6	17.2	13.8	6.9	19.0
	40～49歳	51	70.6	31.4	49.0	35.3	11.8	11.8	15.7
	50～59歳	73	69.9	27.4	45.2	21.9	26.0	5.5	24.7
	60～69歳	133	70.7	39.8	36.8	36.8	9.0	8.3	23.3
	70歳以上	56	64.3	39.3	37.5	32.1	7.1	16.1	30.4
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
地域別	五泉地区	259	73.0	33.2	46.3	28.6	14.3	9.7	25.1
	村松地区	119	64.7	31.9	46.2	32.8	13.4	7.6	18.5
	無回答	48	70.8	33.3	29.2	33.3	16.7	6.3	16.7
性別・年齢別	男性 18～29歳	23	69.6	21.7	52.2	30.4	13.0	4.3	17.4
	30～39歳	15	60.0	33.3	66.7	6.7	20.0	6.7	13.3
	40～49歳	19	57.9	21.1	52.6	36.8	5.3	5.3	26.3
	50～59歳	28	67.9	25.0	32.1	14.3	21.4	14.3	32.1
	60～69歳	58	72.4	36.2	34.5	48.3	10.3	10.3	24.1
	70歳以上	27	63.0	40.7	48.1	33.3	7.4	7.4	22.2
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	82.8	17.2	48.3	34.5	27.6	3.4	17.2
	30～39歳	43	76.7	30.2	55.8	20.9	11.6	7.0	20.9
	40～49歳	31	80.6	38.7	45.2	35.5	16.1	16.1	9.7
	50～59歳	44	70.5	27.3	52.3	27.3	29.5	0.0	20.5
	60～69歳	69	69.6	43.5	40.6	27.5	7.2	5.8	21.7
	70歳以上	25	64.0	36.0	32.0	36.0	8.0	24.0	28.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0

人権問題への理解、人権意識を高めるために必要な取り組みについて②

		合 計	促 人 進 権 擁 護 委 員 の 活 動 の	そ の 他	回 答 な し
全 体		426	7.7	0.7	5.6
性 別	男 性	170	9.4	1.2	4.1
	女 性	242	6.6	0.4	6.6
	無回答	14	7.1	0.0	7.1
年 齢 別	18～29歳	52	3.8	0.0	0.0
	30～39歳	58	1.7	3.4	5.2
	40～49歳	51	7.8	0.0	0.0
	50～59歳	73	6.8	0.0	8.2
	60～69歳	133	9.8	0.8	8.3
	70歳以上	56	14.3	0.0	7.1
	無回答	3	0.0	0.0	0.0
地 域 別	五泉地区	259	9.3	0.4	4.6
	村松地区	119	4.2	0.8	5.9
	無回答	48	8.3	2.1	10.4
性 別 ・ 年 齢 別	男性 18～29歳	23	8.7	0.0	0.0
	30～39歳	15	0.0	6.7	0.0
	40～49歳	19	5.3	0.0	0.0
	50～59歳	28	10.7	0.0	10.7
	60～69歳	58	12.1	1.7	5.2
	70歳以上	27	11.1	0.0	3.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
	女性 18～29歳	29	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	43	2.3	2.3	7.0
	40～49歳	31	6.5	0.0	0.0
	50～59歳	44	4.5	0.0	6.8
	60～69歳	69	8.7	0.0	10.1
	70歳以上	25	20.0	0.0	12.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0

## 13. 意見・要望

差別の解消など人権問題解決に向けた意見や市の人権啓発事業(活動)についてご意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

### 【人権に関する意見】

- 日常的に平均レベルの生活を送る私達世代にとって人権問題はあまりにも漠然とした大きなことであり、常に考えていることでもありません。ただ、毎日のように流れるマスコミ(ニュース)等で得る情報は痛ましいことばかりです。女性として親として今一番悲しいのはやはり子供に対する虐待いじめの多い事です。やっぱり社会の問題なのか人格の問題なのかと頭をかしげます。
- 問題が起きた時、どこに連絡をすればよいのか、具其他的な事例があるとより相談しやすいと思う。
- すべての人間は平等だと言う事を家庭学校で教育する。
- 私は67歳です。この様なむずかしい質問はわかりません。部落民=同和でしょうか?昔本で読み映画にもなった”破戒”をみて根本的にむずかしい問題だと思いました。質問の中の1つをとってもとても何百年も続いてきた事をすぐに解決できるとは思いません。五泉市が取り組む必要があるかとの問33は回答できましたが他はできません。これが今の私の正直な気持ちです。
- 人権問題(差別)は、自分とは思想の違う人を遠ざけたり、自分を保守したいと思う気持ちから起こることのように思います。人権を尊重する世の中にする為に、第一に大切なのは、家庭教育(挨拶をする、相手の事を思いやる心を育てる)事だと思います。それと同時に小・中学校の道徳などで子供達がお互いの気付きを尊重し合い、共有しながら問題解決をしていくための、学校の取組が大事だと思います。市の人権啓発事業なのですが、今まであまり耳にしたことがありませんでした。地域の方々の参画や関心が持てるように人権に対する理解が深まる啓発セミナーの実施をお願いしたいと思います。
- 障がい児をもった家族の気持ちを教育者(保育園、幼稚園からすべての教育者)がもっと親の気持ちを受けとめて、国や学校での生活では、親の目がないからといって、普通の子どもたちのレベルに合わせて教育を進めるのではなく又は、できなくてあたり前と思わず、その子なりに合った声かけをしていってもらいたい。ねばり強くがんばってもらいたい。(北朝鮮と同じだと思うが口だけではなく実行していってもらいたいと思います)
- 女性が妊娠、出産することによって職場で働き続ける事が困難になったり、子育て世代の再就職が困難になる事は、行政の努力によって改善できる事だとは思えません。今でも、そういった事を理由に解雇されたりしても、企業側への罰則は無いと思います。こんな世の中で、女性はとても生きづらく、子供を産み育てる事は難しいです。一時金をほんの少しもらったところで根本は

何も変わらない。子供は欲しくてもそういった理由で子供を作れない人も沢山います。もちろん若者の低賃金も大きな理由ですが。

- 身近に人権問題をかかえている人が見当たらないから少し人ごとになっていました。人権はもちろん大事なことですが、義務の方もしっかりやれる人であり、自分であります。
- 人間、誰でも罪を背負って生まれてくる子供は一人もいません。生まれて日々成長する過程に於いて少しずつ変化が生まれ良き者、悪しき者となります。では変化が生まれる因果関係とは何か？第一に家庭環境と思われれます。幼少時での親の貧困、両親の冷戦、家庭内暴力など、無垢に生まれ純真に育むことができず、心に負の気持ちが生まれながら成長した結果他人の痛みが理解できず、自己中心的な人間が形成され、悪の道へと突き進む原因ではないでしょうか。では、どうすれば良いのか、悪へ染まる前に、又染まった後に於いても慈悲の気持ちを持ち拾い上げる行政又は民間機関の窓口を広げ、一人でも多くの悩める子羊たちに蜘蛛の糸を垂らし救いの手を差し伸べる普及啓発に是非努力して頂きたい。最近、子供、高齢者の虐待報道が多く、心痛む日が続きます。
- 同和問題など知らない事などがあつたが、学生時代に教えてもらった記憶があるような気もするが、忘れてる。今後、感心を持つきっかけとなるようなものがあればと思う。
- 人権とは、一人一人のもつ性格や個性であり、一人一人の意思を尊重する大事な事なので、年齢を問わず一人一人が真剣に考えて相手の立場を考慮した姿勢になることが必要だと思う。
- 啓発活動や講演会等は勤め人の方にも参加できるような時間、日が設定される事を望みます。(平日は参加できないから)
- 人それぞれの個性を尊重し、他人の考え方を理解しようとするのが大切だと思う。また、自分の考え方を正義としその他を悪とすることは良くないと思う、理解し合える社会が理想。
- 単なる調査で終わらせることなく、市として指針を示し、回答者にも結果をフィードバックして欲しい。
- 人権と違うかもしれませんが、受動喫煙から子どもを守るのも大事だと思います。吸いたくないのに煙を吸わされるのも人権無視と言えるかもしれません。(五泉市の図書館の入り口に灰皿があるのは良くないと思います。中学生の時、よく学習のために行きましたが、入口でタバコを吸っている人がいてイヤでした。)
- 就職の面接時に必ず聞かれます。結婚の予定はあるのか。結婚願望はあるのか。結婚してすぐ辞められても困るし、子供ができて産休育休とられても困るので・・・と言われます。経営者側の言っていることもわかるのですが、もう少し、女性に対しての働きたい意欲や環境を考えてほしいです。結婚の予定のある人、結婚願望のある人は働けませんと言われてるようで、かなり就職先に苦労します。結婚するかしないかよりも、働きたい意欲を優先させてくれる職場が増えてほしいです。

- 五泉特別支援学校は県立ですが、市内の小中学校や五泉市の事業所など、もっとまちぐるみで連携して学校の活動を支えるとよいと思います。ジョブコーチなど支援する人たちの活動を市がもっと支えるとよいと思います。
- 障がい者への意識をもっと高め、差別なく暮らせる社会づくりを目指してほしい。
- 五泉市内にも C 型肝炎治療を行っている方々がおり日々多大なる負担を強いられている。市として患者救済の拡充について考えてください。
- 私も家内も旧五泉市の生まれですが、私の勤務しました会社が同和地区問題発生地の、奈良県桜井市に約 32 年 10 か月住んでいました。同和地区問題で役に立つ事が有りましたら、協力したいと思います。
- 戦争、イジメ、犯罪、醜い人の争いが無くならない様にどんな改善策立てても差別は無くならないと思う。人間は弱い人や周りとは違う人を差別してしまう醜い生き物だから改善してもまた新たな問題になる。決して許される事では無いですが、少しでも改善される事を望んでいます。
- 広報などの市民がよく見るであろうものに正しい情報を載せる。さくら号などはよい取り組みだと思うので、高齢者などに知ってもらい活用してもらおう。
- DV 対応について、警察が受け付けて対応は不適切。女性が女性に相談する組織とするべきです。心の内面を相談するのに警察組織（警察官）では理解しての適切な対応はできないと考えます。
- ちゃんと人権に対して勉強をしている方がこの市にいるのか知りません。市で問題が起きているのかもわかりません。普通に生活をしていて気づかない事があります。
- このアンケート用紙をいただいて、初めて人権問題を考えました。良かったです。
- 学校の中で取るべき事。特に 10 番は「拉致とは」国相手が要るので。
- 法律の事は良く知らないのですが、日本の国は勝手にやって来て仕事さがして住む事が出来るのですか？問 17 の 1、日本国籍の外国人ならわかるけど外国籍の外国人の住む所や仕事の心配までなぜしなければならないのかわかりません。今日本で 100 万人前後の子供が生まれて 2%50 人に 1 人がハーフの子供だとかテレビで見ました。最近ふえている外国人観光客の中には日本の文化を見たいという外国人が多くなっているのに、このままハーフの日本人がふえると日本の文化、日本人らしさはどうなるのか。日本は移民にはきびしいようですが、それ以外の入国ルートは甘いような気がします。仕事も住むアパートも借りづらいのなら、さっさと生まれた国に帰ってもらいたい。外国籍住民の人権より、日本の子供の人権、虐待や学校でのいじめ、どうしていいかわからず、どんなに悩み、苦しみ、小さな胸を痛めているか、表に出て来ないいじめは学校にはあると前提にして、学校も行政も社会の大人達も自分の子や孫だと思って親身に対応していただきたいと思います。



- 問題となる事柄が複雑で、私には難しいです。
- そもそも、市の人権啓発事業がどのようなものなのかわかりません。
- 差別はよくない。だが、差別"されている"方の人達の姿勢もよくない。障がいがあるからあたりまえ、外国籍だから地域の慣習は守らない。人権をたてにいいように解釈している人たちがいるのも事実。アンケートをうけている人たちは果たして神？永遠終わることのない問題なので、こうすればよくなるなんてことは絶対はないと思う。あつたらとっくに解決してますよね？
- 1.北朝鮮による拉致被害者を早期に解決していただきたい。2.保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄することなど、子供に対して愛情を持って育てる必要があります。保護者の再教育の場をまた家庭内の人間関係を安定させる。悩み相談窓口を創設する。
- 今回のアンケート調査で初めて同和問題を知ることができました。今でも同和問題で苦しんでいる人々がいるのでしょうか・・・？
- 様々な人権問題がある中で、それぞれの人権に対する現状や課題を知ることから始まると思います。そして、その問題に関心を持ってもらえるような取り組みも市や社会全体で考えるために必要だと思います。人は生まれながらにして基本的人権を持っていますが、そもそも「人権」とは何なのか？学校教育の中で取り上げてよいと思います。五泉市をよくしていく為に、皆で力を合わせて行ける取り組みができればよいと思っています。
- 「女性の人権・こどもの人権・高齢者の人権」と分けていること自体差別しているのでは？男性の人権は？成人男性はどうでもよいの？災害弱者と呼ばれている、子ども、高齢者、妊婦。差別ではなく区別はしなくてはならないのだと思う。労働とは基本的には、働いた分だけお金・物がもらえる。その点でいくと、どうしても上記の三方は弱い。しかし、その三方がいないと社会が成り立たなくなる。という点をもっと理解しないといけないと思う。
- 行政トップによる積極的な取組姿勢と市議の皆さんの差別・特別意識が無意識的であっても市民に感じさせるような言動にならないよう意識して頂きたい。
- 学校教育で小さいうちから取組み、みんなが人権問題について考えていかなければ、世の中は良くなると思う。
- 大変奥の深い問題でものすごく時間が必要だと思います。途中で「どうなったんだろう」ということのないように皆で取り組む問題だと思います。その為にも、家庭、教育の場、地域、社会とあらゆる場面での温度差があってはならないと思います。自分も含め、それぞれの人がそれぞれの場で取り組んでいける良い案を教えて欲しいです。根本的に何をどうすれば良いのか、難しく考えてしまいがちですが…(人ごとではなく、いつ自分にも関わってくるかわからないと思っていますが)、日常においてどのように取り組んでいけば良いのか教えて欲しいです。

- 北朝鮮のことは国を挙げていくことしか思えません。
- 子どもの人権・高齢者の人権(人の命をもっと大切にしてもらいたい)、同和問題(長いこと心を痛めています)
- 差別の解消・人権問題の解決の基本は、意識改革だと思います。学習会や講演会などで学ぶ場を多く催して欲しいです。
- 人権問題については、学校で聞いたりほとんどだった気がするので、興味を持つかは個人差があるとしても知っておいて悪いことはないと思うから、学習会や講演会などで聞いて良かったと思う。「当時は何でこんなことを聞くんか」とか「面倒だ」と思っていたけど、学校でのそうゆう会や授業もあっていいと思う。
- 子供が虐待されて亡くなったというニュースを聞くたびにせつなくなります。なんの抵抗もできない子供が毎日どこかで「しつけ」と称して虐待されていると思うと周りの大人たちが何かしてあげられなかったのかと怒りさえ覚えます。子どもの虐待は、必ず近所の人気づくはずだと思います。今の時代はなかなか直接言える事もできないので警察や市に何度も何度も訴える必要があると思います。そして、警察や市は「お役所仕事」と言われないように、その子供の人権を守ってほしいと思います。私たちの税金が活かされるよう願います。
- 人権は不完全なので他の人の人権を知らずに傷付けてしまうことがあります。でも、思いやりの心で接したいと思います。

## 【その他意見等】

- お役所的な考えで仕事をしているつもりにならないで欲しい。こんなことをやる前に市民の生活基盤を安定させるなどすべきことがある。他の市から転入したが、どこも口だけで実際なんの役に立っているか全くもって不明瞭。「やってますよ」のアピールのみでねどう変わった、どう役に立った、便利になったかがわからん。給料ドロボーにならないようにしっかり考えて下さい。
- 関係ないことですが、積雪時の除雪が大変下手です。除雪の仕方を一回見直し改善してもらえないでしょうか。
- もっと解りやすい質問にしてほしい。こんなことするより、もっと五泉市の未来を考えてほしい。産婦人科をふやしてほしい(妻の意見)。
- 公共施設の窓口の対応が悪く、感じの悪い思いをしたことが多々あった。税金でもらって働いているという意識が薄い。一般企業であればイメージダウンだが、公共施設の方々は危機管理がな

っていない。そこで働く人材教育を充実させ、市民が気持ちよく利用、住める様に改善してほしい。特に、消防署、市役所。

○人権問題もさることながら全国的に少子高齢化で人口が年々減っている現状五泉市も人口減少対策がもっと必要だと思っています。

○広報、啓発活動を一方的に行っても何もかわらない。ただの行政の逃げる口実を作るだけ。

○栗島公園のシロサギの巣にてしらみ、ダニ等の被害を受けました。巣を撤去するとよそで同じ様な被害が出るという事で、何らの対策もしないまま、現在にいたりますが、地域住民に人権はないのでしょうか？この無能なこっぱ役人ども！！



## 附属資料) 調査票様式



# 人権問題に関する 『市民意識調査』のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

五泉市では、人権尊重の意識を高めるため、人権啓発をはじめ様々な施策に取り組んでいます。

このたび、人権が尊重された差別や偏見のない社会の実現に向けて、「(仮称)五泉市人権教育・啓発推進計画」の策定に取り組むことといたしました。

この調査は、市民の皆様の人権に関する意識などを把握し、計画策定の基礎資料として活用するものです。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 2 月 五泉市

## ご記入にあたってのお願い

1. アンケートにご協力いただく方は、平成 28 年 1 月 1 日現在、満 18 歳以上の市民の方から年代別に 1,000 人を無作為に選ばせていただきました。**封筒の宛名のご本人様**がご回答ください。また、ご自分で文章を読んだり書いたりすることが困難な方は、ご家族やご友人に代筆していただいても結構です。なお、代筆が困難な場合は、下記までご連絡ください。
2. 調査の結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。率直なご意見をお書きください。
3. 回答は、1 ページから順に、質問ごとに用意した選択肢の中からあなたのお考えにあてはまる番号を選び、直接この用紙に記載してください。「その他」にあてはまるときは、( ) 内にその内容を具体的に記載してください。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて **3 月 4 日 (金) まで**にご投函ください。(名前を記入する必要はありません。切手も不要です。)
5. この調査について不明な点、ご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

### ■お問い合わせ先

五泉市企画政策課 男女共同参画係  
〒959-1692 新潟県五泉市太田 1094 番地 1  
TEL : 0250-43-3911 内線 317 FAX : 0250-42-5151  
E-mail : kikaku@city.gosen.lg.jp

## 1. あなたご自身のことについておたずねします

---

※各設問それぞれ、あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

問1. 性別	1. 男性	2. 女性
問2. 年齢	1. 18～29歳	2. 30～39歳
	3. 40～49歳	4. 50～59歳
	5. 60～69歳	6. 70歳以上
問3. 居住地区	1. 五泉地区	2. 村松地区

## 2. 人権全般についておたずねします

---

問4. 日本国憲法では、人間が生まれながらにして持っている侵すことのできない永久の権利として基本的人権が保障されています。あなたは、現在の日本で、基本的人権が守られていると思いますか。

※1つだけに○

1. よく守られている	2. だいたい守られている
3. あまり守られていない	4. 守られていない
5. わからない	

問5. あなたは、人権や差別の問題に関心を持っていますか。

※1つだけに○

1. 関心がある	2. 少し関心がある
3. あまり関心がない	4. 関心がない



**問6. あなたは、誰について（何について）の人権や差別の問題に関心  
がありますか。 ※3つまで○**

1. 女性	2. 子ども
3. 高齢者	4. 障がいのある人
5. 同和問題	6. 外国籍住民等
7. 感染症患者（H I V感染者、ハンセン病患者・元患者等）	
8. インターネット上の人権問題	9. 新潟水俣病患者
10. 北朝鮮による拉致被害者やその家族	11. 犯罪被害者やその家族
12. 刑を終えて出所した人やその家族	13. 性的少数者（性同一性障害等）
14. ホームレスの人	15. その他（ ）

**問7. あなたは、これまでに次のような被害等によって「自己的人権が  
侵害された」と思ったことがありますか。 ※あてはまるものすべてに○**

1. 噂、悪口、かげ口	2. 仲間はずれ、嫌がらせ
3. 名誉・信用毀損、侮辱	4. 職場での不当な待遇
5. 結婚や就職における差別的な扱い	6. 性別による差別的な扱い
7. 国籍・人種・民族等による差別的な扱い	
8. プライバシーの侵害	9. セクシャル・ハラスメント （性的嫌がらせ）
10. パワーハラスメント （職場の権力を利用した嫌がらせ）	
11. 親や配偶者、恋人など身近な人からの暴力や虐待	
12. ストーカー行為	13. 悪臭・騒音等の公害被害
14. なんとなく感じた	15. 答えたくない
16. その他の人権侵害（ ）	
17. そのような被害を感じたことはない	

問8. もし、あなたの人権が侵害されたとしたら、どのような対応をしますか。※あてはまるものすべてに○

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 身近な人に相談する       | 2. 新潟県や五泉市に相談する |
| 3. 警察に相談する         | 4. 弁護士に相談する     |
| 5. 法務局や人権擁護委員に相談する | 6. NPO法人等に相談する  |
| 7. 相手に抗議する         | 8. 自分で対応について調べる |
| 9. だまって我慢する        |                 |
| 10. その他 (          | )               |

### 3. 女性の人権についておたずねします

問9. あなたが、女性の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

1. 「男は仕事、女は家庭」など男女の固定的な役割分担意識を押しつけること
  2. 就職時の採用条件、昇給・昇進の男女差など職場での待遇に違いがあること
  3. 社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること  
(育児、家事、高齢者介護などを男女が共同で担うことができる就労環境や社会制度の整備が不十分であること)
  4. ドメスティック・バイオレンス(夫や恋人による暴力や虐待)があること
  5. 職場や地域、学校等でセクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)があること
  6. 職場でマタニティ・ハラスメントがあること(妊娠や出産をしたことが業務上支障をきたすという理由による精神的・肉体的な嫌がらせ)
  7. 結婚、妊娠、出産等に関して干渉されること
  8. 女性のヌード写真や映像など性が商品化されること
  9. いわゆる「援助交際」を含む売春・買春があること
  10. わからない
  11. その他( )
- 
12. 女性の人権に問題はないと思う

問 10. 女性の人権を守るため、どのようなことが必要だと思えますか。  
※3つまで○

1. 女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する
2. 職場における男女の待遇差を改善する
3. 様々な意思決定や方針決定の場に女性の積極的な参加を促す
4. 低年齢からの継続した男女平等教育を充実させる
5. 女性に対する暴力等への対策を強化する
6. 女性の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
7. 男性の意識改革を促すための広報・啓発活動を推進する
8. 女性の人権相談窓口等の充実を図る
9. 新聞、テレビ、インターネット等における表現の配慮を働きかける
10. わからない
11. その他( )

## 4. 子どもの人権についておたずねします

問 11. あなたが、子どもの人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

1. 保護者が躰（しつけ）のつもりで体罰を与えること
  2. 保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること
  3. 大人が子どもの意見を無視したり、考えを強制すること
  4. 子ども同士の暴力、仲間はずれ、いじめなどがあること
  5. いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをすること
  6. 教師やスポーツの指導者などによる児童・生徒への体罰があること
  7. 経済的な理由で満足な教育が受けられない子どもがいること
  8. 暴力や性などの有害情報が氾濫していること
  9. 児童買春・児童ポルノ等があること
  10. わからない
  11. その他 ( )
- 
12. 子どもの人権に問題はないと思う

問 12. 子どもの人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

1. 子どもの個性や多様性を尊重する
2. 体罰や虐待への罰則を強化する
3. 子どもが独立した人格であることを大人が認識する
4. 家庭内の人間関係を安定させる
5. 家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む
6. 成績だけを重んじる風潮を改める
7. 教師や指導者の能力・資質の向上を図る
8. 子どもの人権を守るための広報・啓発活動を推進する
9. 児童買春・児童ポルノ等の取り締まりを強化する
10. わからない
11. その他 ( )

## 5. 高齢者の人権についておたずねします

問 13. あなたが、高齢者の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと</li><li>2. 悪徳商法や振り込め詐欺の被害が多いこと</li><li>3. 道路の段差解消など高齢者が暮らしやすい街づくりが進んでいないこと</li><li>4. 高齢者にとっては買い物が困難な状況であること</li><li>5. 高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見等を尊重しないこと</li><li>6. 病院や福祉施設での不十分な対応や虐待があること</li><li>7. 認知症高齢者に対する虐待など不当な扱いを受けること</li><li>8. 家庭内での虐待や介護放棄等があること</li><li>9. 生活情報などが一人暮らしの高齢者に充分伝わらないこと</li><li>10. わからない</li><li>11. その他 ( )</li></ol> |
| 12. 高齢者の人権に問題はないと思う  |

問 14. 高齢者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思えますか。 ※3つまで○

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 高齢者の社会参画や就業の機会を増やす</li><li>2. 地域で支え合う体制を整備する</li><li>3. バリアフリー化など高齢者が暮らしやすい街づくりを促進する</li><li>4. 高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実を図る</li><li>5. 高齢者が生活必需品などを購入しやすい環境を整備する</li><li>6. 病院や福祉施設での十分な対応と虐待の防止を徹底する</li><li>7. 成年後見制度※の周知及び拡充を図る</li><li>8. 世代間交流を促進する</li><li>9. 高齢者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する</li><li>10. わからない</li><li>11. その他 ( )</li></ol> |
|---|

※成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るため、援助者（「成年後見人」等）を選んで法律的に支援する制度のことです。

## 6. 障がいのある人の人権についておたずねします

問 15. あなたが、障がいのある人の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

1. 働ける場所や機会が少なく、低賃金の場合も多いこと
  2. 障がいのある人に対する偏見や差別意識があること
  3. 道路の段差解消など障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいないこと
  4. 学校や職場等での受け入れ体制に不備があること
  5. 好奇の目で見られたり、避けられたりすること
  6. スポーツ活動や文化活動などへ気軽に参加できないこと
  7. 意見や行動が尊重されないこと
  8. 手話通訳・字幕や音声案内などの対応が不十分であること
  9. アパート等の住宅への入居が困難であること
  10. わからない
  11. その他 ( )
- 
12. 障がいのある人の人権に問題はないと思う

問 16. 障がいのある人の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

1. 障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす
2. 地域で支え合う体制を整備する
3. バリアフリー化など障がいのある人が暮らしやすい街づくりを促進する
4. 障がいのある人に配慮した防犯・防災対策の充実を図る
5. 学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る
6. 障がいのある人と健常者との交流を促進する
7. 成年後見制度の周知及び拡充を図る
8. 障がいのある人の人権相談窓口等の充実を図る
9. 障がいのある人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
10. わからない
11. その他 ( )

## 7. 外国籍住民等の人権についておたずねします

問 17. あなたが、外国籍住民等の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

1. 働ける場所や機会が少なく、不利な条件の場合も多いこと
  2. 外国語で対応できる相談窓口や病院・施設が少ないこと
  3. 道路・公共交通機関の案内に外国語表記が少ないなど、外国籍住民等が暮らしやすい街づくりが進んでいないこと
  4. 外国籍住民等に対する偏見や差別意識があること
  5. 好奇の目で見られたり、避けられたりする
  6. 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと
  7. 意見や行動が尊重されないこと
  8. 国籍・人種・民族等を理由に結婚を反対されること
  9. アパート等の住宅への入居が困難であること
  10. わからない
  11. その他 ( )
- 
12. 外国籍住民等の人権に問題はないと思う

問 18. 外国籍住民等の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

1. 地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する
2. 外国籍住民等や国際理解に関する教育の充実を図る
3. 外国語による情報提供を充実させる
4. 外国語に対応できる相談窓口等を増設する
5. 地域社会を支える一員として行政や地域活動へ参画できる体制を整備する
6. 福祉や教育など外国籍住民等のニーズに対応した行政サービスの充実を図る
7. 外国籍住民等を支援する民間ボランティアを育成する
8. 外国籍住民等のための日本語教室を充実させる
9. 外国籍住民等の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
10. わからない
11. その他 ( )

## 8. 感染症患者の人権についておたずねします

---

問 19. あなたが、感染症患者（HIV感染者、ハンセン病患者・元患者等）の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。  
※3つまで○

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染者・患者のプライバシーが守られないこと</li><li>2. 誤った噂や感染情報が他人に伝えられること</li><li>3. 就職の際や職場で不当な扱いを受けること</li><li>4. 入学の際や学校で不当な扱いを受けること</li><li>5. 治療や入院を拒否されること</li><li>6. 感染者・患者に対する偏見や差別意識があること</li><li>7. 結婚を断ることや周囲が結婚に反対すること</li><li>8. 本人の断りなく検査されること</li><li>9. 公共施設の利用などでの不当な扱いを受けること</li><li>10. わからない</li><li>11. その他 ( )</li></ol> |
| 12. 感染症患者の人権に問題はないと思う   |

問 20. 感染症患者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る</li><li>2. HIV（病原ウイルス）やハンセン病等に関する正しい情報を提供する</li><li>3. 感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する</li><li>4. 感染者・患者の生活支援を行う</li><li>5. 感染者・患者の治療費を助成する</li><li>6. 感染者・患者を支援する民間ボランティアを育成する</li><li>7. 感染者・患者を支援するため、行政や医療機関、NPO等のネットワーク化を図る</li><li>8. 感染者・患者との交流を促進する</li><li>9. 感染者・患者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する</li><li>10. わからない</li><li>11. その他 ( )</li></ol> |
|--|



## 9. インターネット上の人権についておたずねします

---

問21. あなたが、インターネット上の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

- |   |
|---|
| 1. 他人を誹謗中傷する表現の掲載があること                        |
| 2. 他人のプライバシーに関する掲載があること                       |
| 3. 出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること                 |
| 4. わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報が掲載されること              |
| 5. 差別を助長する表現の掲載があること                          |
| 6. インターネットを利用した悪質商法などの被害があること                 |
| 7. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること             |
| 8. 特定の人になりすまして身勝手な発言等をする人がいること                |
| 9. 復讐目的の画像投稿（リベンジポルノ等）があること                   |
| 10. わからない                                     |
| 11. その他（ <span style="float: right;">)</span> |
- 
12. インターネット上の人権に問題はないと思う

問22. インターネット上の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

- |   |
|---|
| 1. 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する                   |
| 2. 行政機関がプロバイダ等に情報の停止・削除を求める                   |
| 3. 個人がプロバイダ等に情報の停止・削除を求める                     |
| 4. プロバイダ等が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する         |
| 5. 規則・罰則を強化する                                 |
| 6. インターネット利用者の教育・啓発活動を推進する                    |
| 7. 表現の自由に関わる問題なので慎重に対応する必要がある                 |
| 8. 被害を受けた人のための相談体制の充実を図る                      |
| 9. インターネット上の人権を守るための広報・啓発活動を推進する              |
| 10. わからない                                     |
| 11. その他（ <span style="float: right;">)</span> |

## 10. 新潟水俣病患者の人権についておたずねします

---

問 23. あなたが、新潟水俣病患者の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。 ※3つまで○

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 患者のプライバシーが守られないこと</li><li>2. 新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること</li><li>3. 就職の際や職場で不当な扱いを受けること</li><li>4. 「ニセ患者」、「金目当て」などの誹謗中傷があること</li><li>5. 新潟水俣病が解決した問題だと思われていること</li><li>6. 患者に対する偏見や差別意識があること</li><li>7. 差別や偏見を恐れて認定申請ができない人がいること</li><li>8. わからない</li><li>9. その他 ( )</li></ol> |
| 10. 新潟水俣病患者の人権に問題はないと思う   |

問 24. 新潟水俣病患者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 新潟水俣病に関する正しい情報を提供する</li><li>2. 新潟水俣病に関する教育の充実を図る</li><li>3. 患者が気軽に相談等ができる体制を整備する</li><li>4. 患者の高齢化に伴う支援の充実を図る</li><li>5. 患者を支援する民間ボランティアを育成する</li><li>6. 患者と地域住民との交流を促進する</li><li>7. 患者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する</li><li>8. わからない</li><li>9. その他 ( )</li></ol> |
|---|

## 11. 犯罪被害者やその家族の人権についておたずねします

---

問 25. あなたは、犯罪被害者やその家族の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

1. プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける
2. 犯罪被害者やその家族の安全を確保する
3. 犯罪被害者やその家族が相談等できる体制を整備する
4. 犯罪被害者やその家族を支援する民間ボランティアを育成する
5. 犯罪被害者やその家族に国は十分な補償を行う
6. 犯罪被害者やその家族の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
7. わからない
8. その他 ( )

## 12. 刑を終えて出所した人やその家族の人権についておたずねします

---

問 26. あなたは、刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。 ※3つまで○

1. 刑を終えて出所した人やその家族のプライバシーを保護する
2. 就労支援など社会復帰に向けてサポートする
3. 刑を終えて出所した人やその家族が相談等できる体制を整備する
4. 刑を終えて出所した人やその家族を支援する民間ボランティアを育成する
5. 「社会を明るくする運動」※等の活性化を図る
6. 刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
7. わからない
8. その他 ( )

※「社会を明るくする運動」とは、犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深め、進んでこれらの活動に協力するように全国民に呼びかける啓発活動のことです。

### 13. 同和問題についておたずねします

---

問 27. あなたは、同和地区（被差別部落）の存在や同和問題を知っていますか。 ※1つだけに○

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 知っている（問 28・29 へ） | 2. 知らない（問 30 へ） |
|---------------------|-----------------|

問 28. あなたが被差別部落や同和問題についてはじめて知ったのはいつ頃ですか。 ※1つだけに○

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 小学校入学以前      | 2. 小学生のとき |
| 3. 中学生のとき       | 4. 高校生のとき |
| 5. 18歳から19歳のとき  | 6. 成人してから |
| 7. はっきりとおぼえていない |           |

問 29. あなたは、被差別部落の存在や同和問題を何（誰）から知りましたか。 ※1つだけに○

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族から聞いた        | 2. 学校の授業          |
| 3. テレビ、ラジオ、新聞、本など | 4. 職場の人から聞いた      |
| 5. 近所の人から聞いた      | 6. 友人から聞いた        |
| 7. 親戚から聞いた        | 8. 同和問題の講演会や研修会など |
| 9. 県や市町村の広報誌など    | 10. はっきりとおぼえていない  |
| 11. その他（          | ）                 |

**問 30. あなたは、同和問題に関して、現在どのような人権問題があると思いますか。 ※3つまで○**

1. 差別的な発言や行動があること
2. 身元調査をされること
3. 就職の際や職場で不当な扱いを受けること
4. 結婚を周囲が反対すること
5. 地域社会で不当な扱いを受けること
6. インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
7. 特にない
8. わからない
9. その他 ( )

**問 31. あなたは、被差別部落の存在や同和問題について、どのように考えますか。 ※1つだけに○**

1. 同和地区の人だけの問題で自分とは直接関係がない問題だと思う
2. そっとしておけば自然になくなると思う
3. 自分ではどうしようもない問題なので、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
4. 人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う
5. わからない
6. その他 ( )

**問 32. あなたは、身元調査についてどのように考えますか。 ※1つだけに○**

※身元調査とは、他人の身元（本籍、経歴、家庭環境、思想、信条、資産など）を調べることです。従業員の採用、結婚、金銭消費貸借などの際に行われることが多く、興信所（探偵）など民間の調査機関に調査を依頼して行うこともあります。

1. 差別につながる恐れがあるのではありません
2. よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
3. 身元調査をすることは当然のことだと思う
4. わからない
5. その他 ( )

## 14.人権問題を解決する方策についておたずねします

問 33. あなたは、今後、五泉市が積極的に取り組む必要がある人権課題は何だと思えますか。 ※あてはまるものすべてに○

- |                                       |                  |
|---------------------------------------|------------------|
| 1. 女性の人権                              | 2. 子どもの人権        |
| 3. 高齢者の人権                             | 4. 障がいのある人の人権    |
| 5. 同和問題                               | 6. 外国籍住民等の人権     |
| 7. 感染症患者の人権                           | 8. インターネット上の人権   |
| 9. 新潟水俣病患者の人権                         |                  |
| 10. 北朝鮮による拉致被害者やその家族の人権               |                  |
| 11. 犯罪被害者やその家族の人権                     |                  |
| 12. 刑を終えて出所した人やその家族の人権                |                  |
| 13. 性的少数者（性同一性障害等）の人権                 |                  |
| 14. ホームレスの人の人権                        | 15. セクシャル・ハラスメント |
| 16. パワーハラスメント                         | 17. マタニティ・ハラスメント |
| 18. ドメスティック・バイオレンス                    |                  |
| 19. 性別による固定的な役割分担意識など、地域社会の習慣や慣行による人権 |                  |
| 20. アイヌの人々の人権                         | 21. 特にない         |
| 22. わからない                             |                  |
| 23. その他（                              | ）                |

問 34. あなたは、人権問題を理解し、人権意識を高めるために必要な取り組みは何だと思えますか。 ※3つまで○

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 学校教育での取り組み   | 2. 家庭内での取り組み    |
| 3. 習慣や社会の仕組みの改善 | 4. 市の積極的な啓発活動   |
| 5. 学習会や講演会などの充実 | 6. 民間活動団体の育成と支援 |
| 7. 人権相談体制の整備    | 8. 人権擁護委員の活動の促進 |
| 9. その他（         | ）               |



人権に関する市民意識調査 結果報告書

平成 28 年 10 月 / 五泉市企画政策課  
〒959-1692 五泉市太田 1094 番地 1  
TEL : 0250-43-3911 / FAX : 0250-42-5151